

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

（令和 2 年度～令和 11 年度）

令和元年 10 月

西濃環境整備組合

西濃環境整備組合ごみ処理基本計画 目次

第1章	計画改定の主旨	1
1.	計画の位置づけ	1
2.	計画の対象区域	2
3.	計画で扱う廃棄物の範囲	3
4.	計画の期間	3
第2章	前計画の総括	4
1.	前計画の目標達成状況	4
2.	施策実施状況	6
第3章	ごみ処理の現状	8
1.	ごみ処理の体制	8
2.	ごみ処理の実績	17
3.	ごみ処理の評価	21
第4章	ごみ処理計画	22
1.	基本の方針	22
2.	数値目標	23
3.	ごみの発生量及び処理量の見込み	25
4.	目標達成のための施策	31
5.	ごみ処理に関する基本的事項	35
6.	ごみ処理施設の整備に関する事項	36
7.	ごみ処理に関するその他の事項	36
第5章	計画の推進	39
1.	計画の推進と公表	39
資料編		
資料1	地域の概況	41
資料2	ごみ量の実績及び将来予測	55

第 1 章 計画改定の主旨

西濃環境整備組合（以下、「本組合」という。）を構成している大垣市、瑞穂市、本巣市、安八郡（神戸町、輪之内町、安八町）、揖斐郡（揖斐川町、大野町、池田町）及び本巣郡（北方町）（以下、「構成市町」という。）は、豊かな自然環境に恵まれている地域です。これら地域住民の生活環境を保全するためには、廃棄物の適正な処理を推進し、快適な町づくりの実現に努めなければなりません。

本組合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）第 6 条第 1 項の規定に基づき、平成 13 年度から一般廃棄物（ごみ）処理基本計画により、主にごみの適正処理と有効利用の観点から循環型社会の構築を目指してきました。この基本計画は、社会経済の状況やごみ量・質の変化、ごみ処理・資源化の技術革新等に適切に対応するため、概ね 5 年で改定を行ってきました。

平成 27 年 3 月に策定した第 4 次一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（以下、「前計画」という。）が本年度で終了することから、第 5 次一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（以下、「本計画」という。）に改定します。

1. 計画の位置づけ

本計画は、国が示す循環型社会形成推進基本法や廃棄物処理の方針の趣旨に則り、国及び岐阜県の計画と、構成市町が策定する一般廃棄物（ごみ）処理基本計画との整合を図りながら策定するものであり、主に可燃ごみの中間処理・最終処分に関して、長期的並びに総合的な方向性を示した計画です。構成市町におけるごみ処理基本計画策定状況は、図 1-1 に示すとおりです。

年度	和暦 西暦	H22 '10	H23 '11	H24 '12	H25 '13	H26 '14	H27 '15	H28 '16	H29 '17	H30 '18	H31 '19	R2 '20	R3 '21	R4 '22	R5 '23	R6 '24	R7 '25	R8 '26	R9 '27	R10 '28	R11 '29	
大垣市																						
瑞穂市																						
本巣市																						
神戸町																						
輪之内町																						
安八町		未策定																				
揖斐川町																						
大野町																						
池田町																						
北方町																						

※矢印は計画の期間を示す

図 1-1 構成市町におけるごみ処理基本計画策定状況

2. 計画の対象区域

本計画の対象区域は図 1-2 に示すとおり、本組合の計画収集区域全域とします。

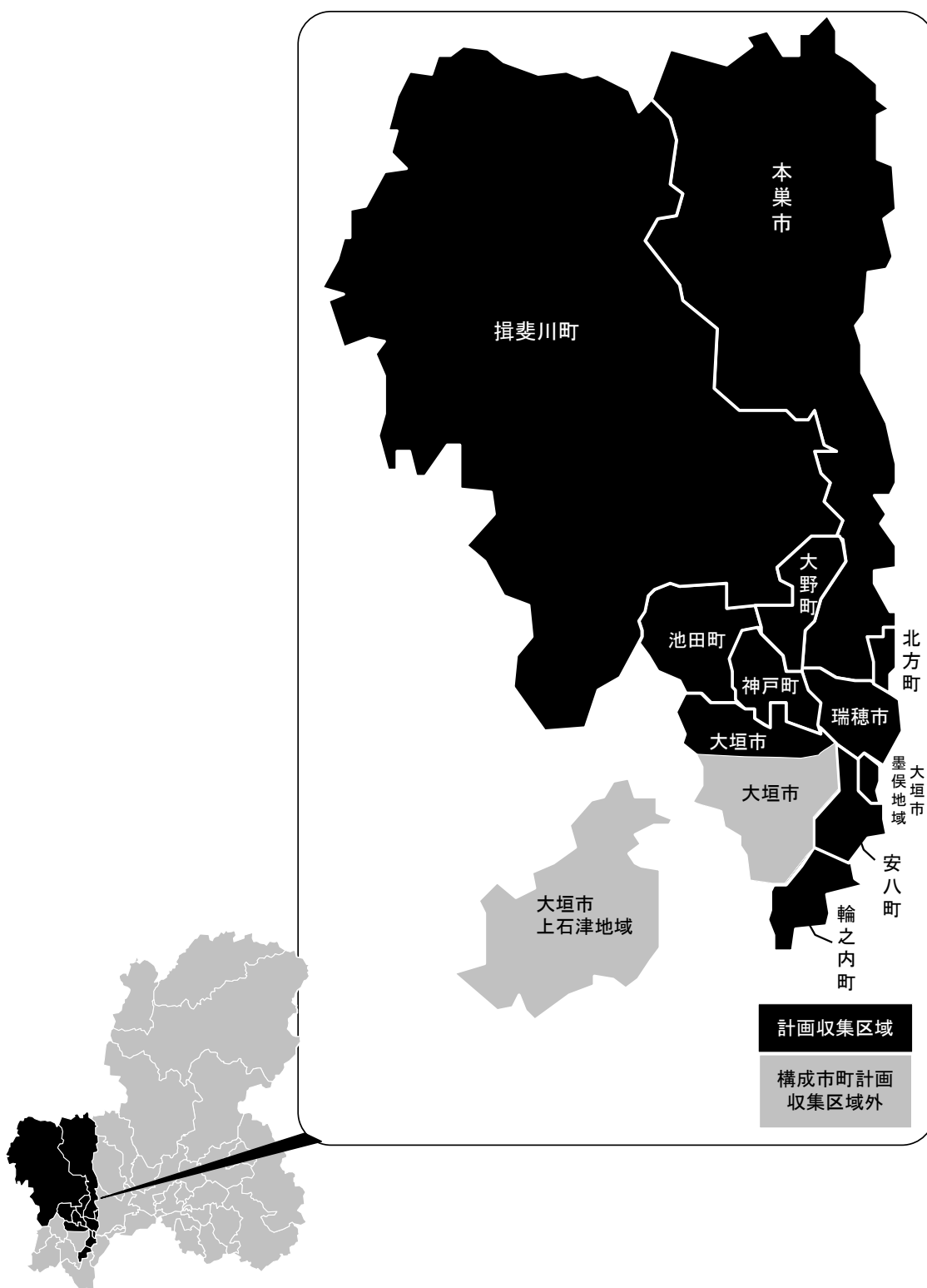


図 1-2 対象区域図

3. 計画で扱う廃棄物の範囲

廃棄物の種類と本計画の範囲は、図 1-3 に示すとおりです。

廃棄物は、一般廃棄物と産業廃棄物に区分され、処理において構成市町が統括的な責任を有する一般廃棄物のうち、本組合で処理を行う可燃ごみを中心に本計画を策定します。

なお、し尿及び本計画に記載のない廃棄物の取り扱いについては、構成市町で個別に計画します。

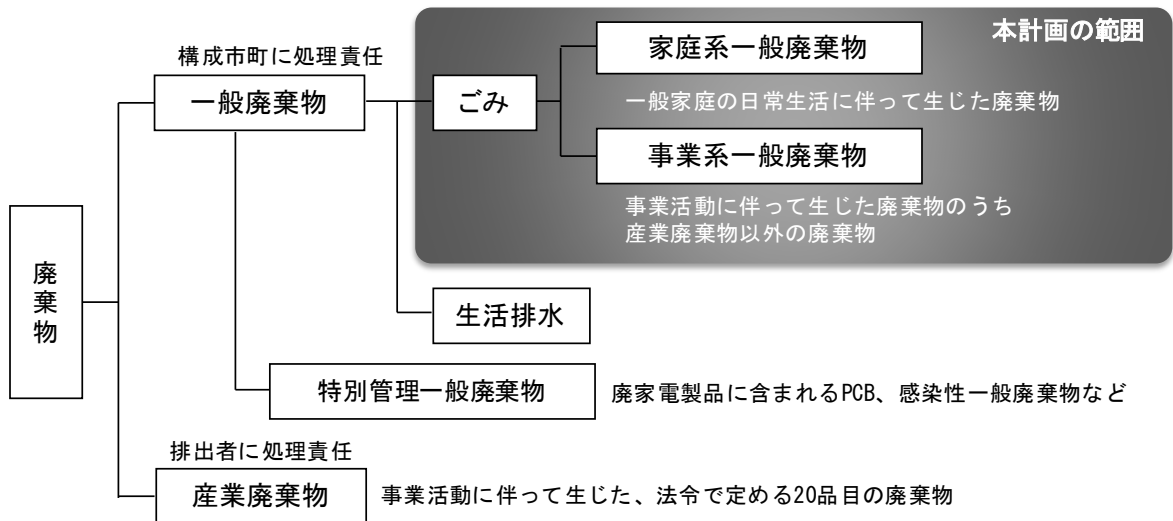


図 1-3 廃棄物の種類と本計画の範囲

4. 計画の期間

本計画の計画期間は、令和 2 年度から令和 11 年度までの 10 年間とします。

なお、社会経済情勢の変動があった場合や、国や岐阜県における方針の変更等、本計画の前提となる諸条件に大きな変更が生じた場合には、その都度見直しを行います。計画の期間については、図 1-4 に示すとおりです。

年度	和暦 西暦	H13 '01	H17 '05	H18 '06	H21 '09	H22 '10	H26 '14	H27 '15	H31 '19	R2 '20	R11 '29			
一般廃棄物（ごみ） 処理基本計画		→												
第2次	〃		→											
第3次	〃			→										
第4次	〃				→									
第5次	〃									→				

図 1-4 計画の期間

第2章 前計画の総括

前計画の総括は、以下に示すとおりです。

1. 前計画の目標達成状況

前計画で数値目標を定めた、可燃ごみ1人1日排出量^{注1)}、再生利用率^{注2)}及び1日あたり最終処分量^{注3)}の目標達成状況は、表2-1、図2-1～図2-3に示すとおりです。

最終処分量は、平成28年度の時点ですでに平成31年度の目標値を達成しています。一方、可燃ごみ1人1日あたり排出量は、平成26年度から横ばいで推移しており、目標達成には至っておりません。また、再生利用率については、民間ルートによる資源回収の拡大に伴う集団回収量の減少等の影響から、目標値を大きく下回っています。

表2-1 目標達成状況

項目	基準値 (平成9年度)	実績値 (平成30年度)	目標値 (平成31年度)
可燃ごみ 1人1日排出量	519 g	602 g (約16%増加)	529 g (2%増加)
再生利用率	19.6 %	18.8% (約4%削減)	26.8 % (37%増加)
1日あたり 最終処分量	21.9 t/日	8.2 t/日 (約63%減少)	9 t/日 (約59%減少)

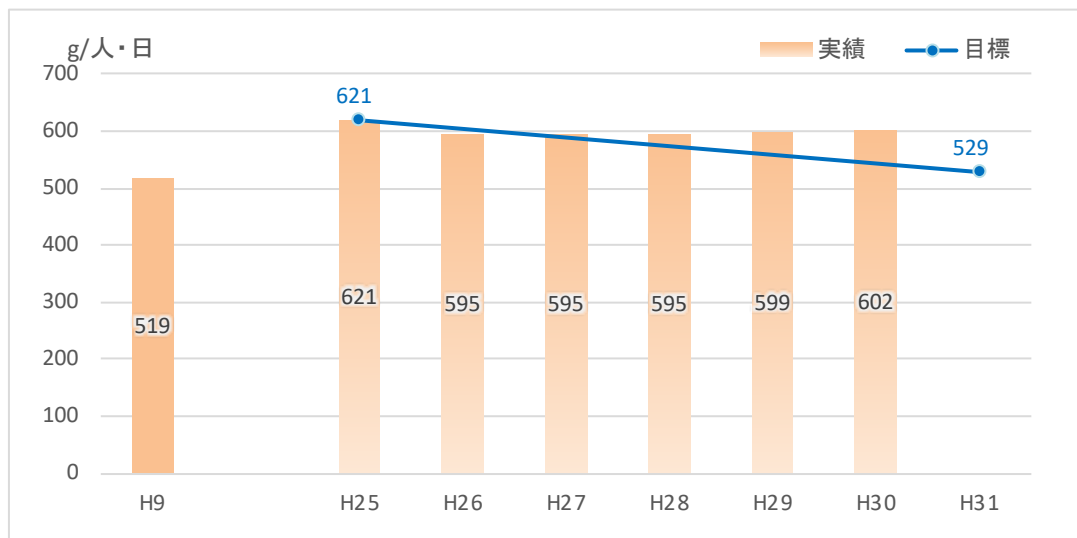


図2-1 可燃ごみ1人1日排出量の目標達成状況

注1) 可燃ごみ1人1日排出量=可燃ごみ排出量÷人口÷年間日数

注2) 再生利用率=総資源化量(資源ごみ量+集団回収量+中間処理後資源化量+焼却処理によるスラグ・メタル量)÷ごみ総排出量

注3) 1日あたり最終処分量=最終処分量÷年間日数

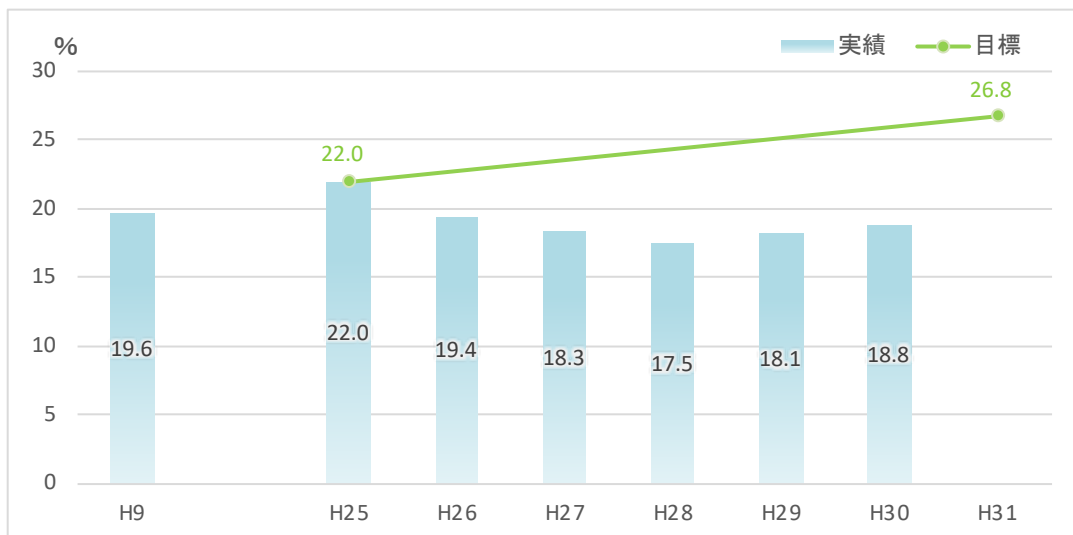


図 2-2 再生利用率の目標達成状況

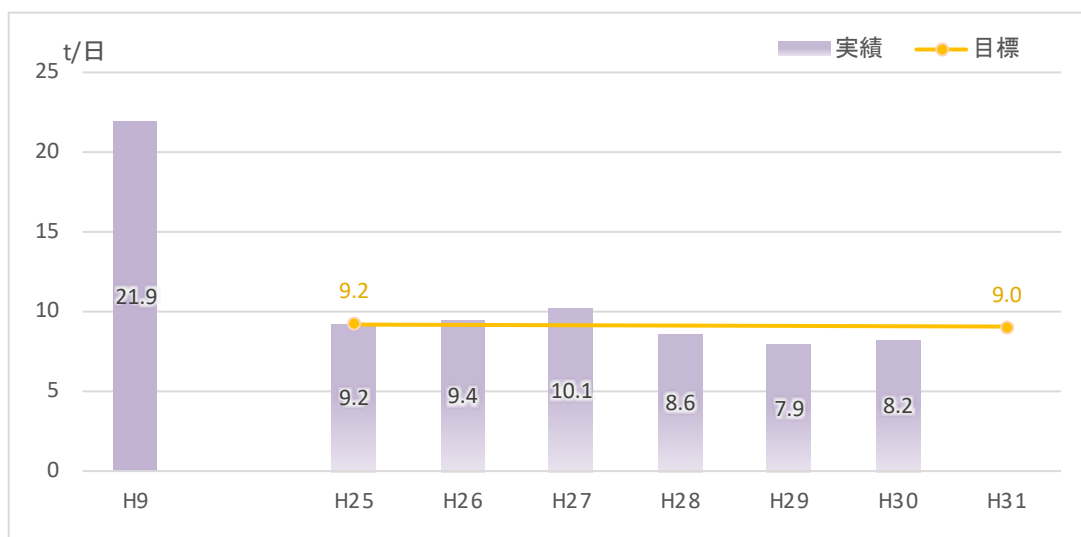


図 2-3 1日あたり最終処分量の目標達成状況

2. 施策実施状況

前計画の期間に本組合が行った主な施策の実施状況は、以下のとおりです。

(1) 施設見学者等に対する啓蒙・啓発

本組合では、焼却施設の見学を通じて、ごみやリサイクルの啓蒙・啓発活動を行っています。平成 26 年度から平成 30 年度にかけての施設見学者の推移は、図 2-4 のとおりです。

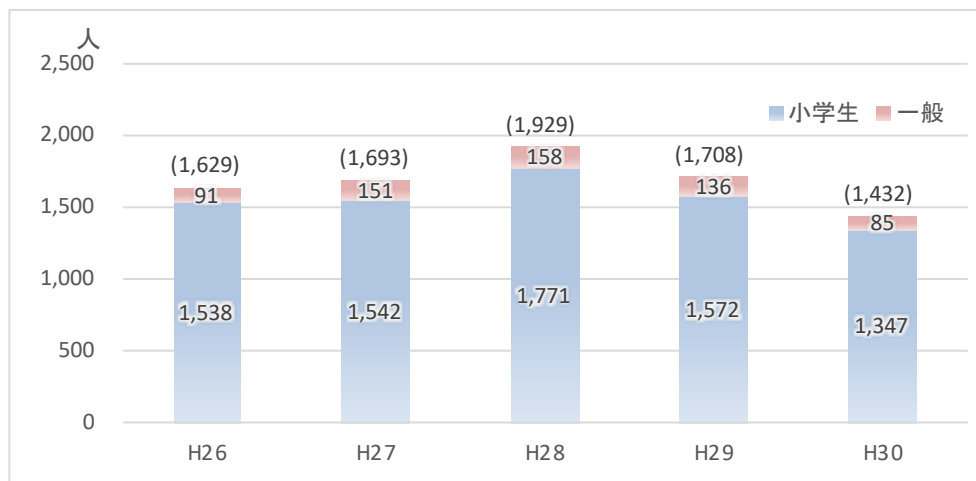


図 2-4 施設見学者の推移

(2) 産業廃棄物の不適正搬入防止

構成市町の事業所から本組合に搬入された可燃ごみについて、平成 26 年度に産業廃棄物の不適正搬入が発覚しました。

これを受けて本組合では、産業廃棄物の不適正搬入を防止するため、搬入量が過大と認められる排出事業者や収集運搬事業者への確認や、施設における搬入検査を実施しています。

搬入検査は月 1 回行っており、不適正搬入物については排出者を特定し収集運搬業者に持ち帰りさせた上で、市町村担当者に連絡し排出事業者への指導を依頼しています。

これらの対策により、産業廃棄物不適正搬入防止に取り組んでいます。

(3) スラグの利用推進及び普及啓発等

平成 23 年度に溶融スラグの JIS 認証を取得し品質を保証するとともに、平成 30 年度には岐阜県リサイクル認定製品として、県内では唯一の単品溶融スラグとして認定を受け、スラグの利用率向上に努めています。

現状、生産したスラグは全量を再資源化しており、コンクリート製品などの原料のみならず、下水道の管巻材や芝の目土などのようにスラグ単体としても販売しています。

なお、平成 28 年 3 月に完成した一般廃棄物最終処分場の建設においても、本組合のスラグをリサイクルしたコンクリート製品やアスファルトなどを使用しました。

(4) 最終処分場建設工事の実施

ごみ焼却炉から発生する飛灰の自己処理を実現するため、一般廃棄物最終処分場の建設工事を行い平成 28 年 3 月に竣工しました。



一般廃棄物最終処分場 完成写真

(5) 基幹的設備改良工事の実施

温室効果ガス排出量（二酸化炭素排出量）の削減及び省エネルギー化を目的として、平成 27 年度から平成 29 年度に流動床炉及び熔融炉の基幹的設備改良工事を実施し、ごみ処理施設の延命化を行いました。

第3章 ごみ処理の現状

1. ごみ処理の体制

(1) ごみ処理の役割

本計画対象区域内の可燃ごみ処理体制は表 3-1 及び図 3-1 のように、構成市町は主にごみを収集してごみ処理施設に持ち込むまでを担当し、本組合はごみ処理施設に持ち込まれて以降の中間処理及び最終処分を担当しています。

表 3-1 構成市町及び本組合の役割分担

分類	実施内容	役割分担	
		構成市町	本組合
排出抑制	排出抑制施策（助成・啓発等）の実施	○	○
収集運搬	ごみステーションの設置・運営	○	—
	ごみの収集・運搬		
資源化	資源化推進施策（助成・啓発等）の実施	○	○
	リサイクル施設・資源回収拠点等の設置・運営	○	—
	民間資源化業者への処理委託		
	中間処理における資源化・エネルギー化	—	○
中間処理	ごみ焼却施設の管理・運営	—	○
	民間業者への資源物売却	○	○
	中間処理施設の管理・運営	○	—
	民間中間処理業者への処理委託		
最終処分	最終処分場の建設	○	○
	民間業者への最終処分委託		

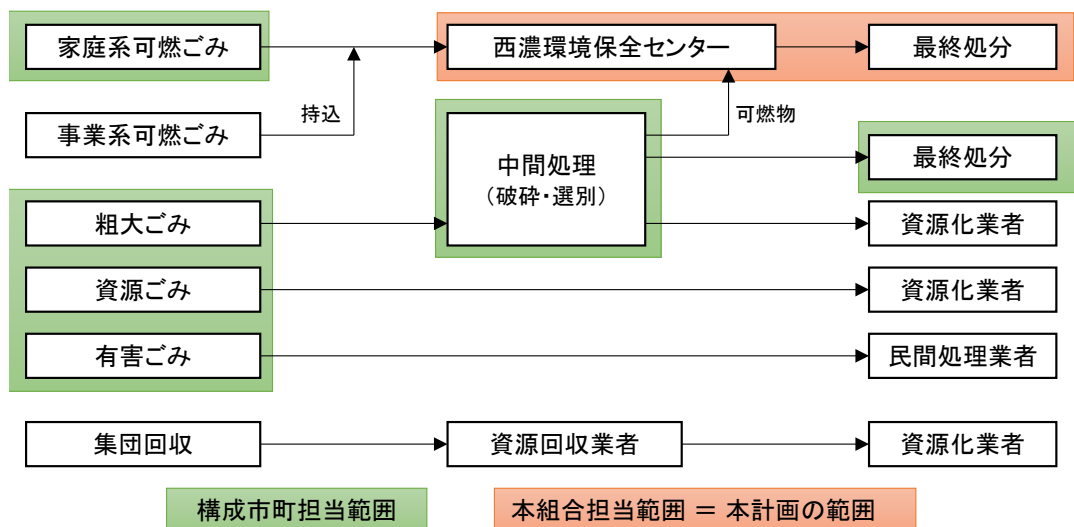


図 3-1 構成市町及び本組合の担当範囲

(2) ごみの分別区分と処理方法

構成市町のごみの分別区分と処理方法は、表 3-2 に示すとおりです。

なお、どの構成市町においても、計画期間中（令和 2 年度～令和 11 年度）にごみの分別区分と処理方法の予定はありません。

表 3-2-1 ごみの分別区分と処理方法の現状と今後（大垣市）

分別区分		処理方法	処理施設等
もえるごみ [可燃ごみ]		焼却	大垣市クリーンセンター 西濃環境保全センター
もえないごみ [不燃ごみ]		破碎・資源化	西南濃粗大廃棄物処理センター
大型ごみ [粗大ごみ]		破碎・資源化	西南濃粗大廃棄物処理センター
有害ごみ		資源化	委託
資源ごみ	ビン [びん]	資源化	委託
	カン [缶]	資源化	委託
	ペットボトル	資源化	委託
	ボトル・カップ・トレイ(パック)類 [プラスチック製容器包装]	資源化	大垣市リサイクルセンター
	古紙類等	資源化	委託
	小型家電	資源化	拠点回収
	廃食油	資源化	委託

表 3-2-2 ごみの分別区分と処理方法の現状と今後（瑞穂市）

分別区分		処理方法	処理施設等
可燃ごみ		焼却	西濃環境保全センター
粗大ごみ		破碎・資源化	委託
有害ごみ		資源化	委託
資源ごみ	あきびん [びん]	資源化	委託
	かん類 [缶]	資源化	委託
	ペットボトル	資源化	委託
	ブラマークの容器包装 [プラスチック製容器包装]	資源化	委託
	ガラス・陶磁器類	資源化	委託
	衣類	資源化	委託
	古紙類	資源化	委託
	小型家電	資源化	委託
	剪定木	資源化	美来の森

表 3-2-3 ごみの分別区分と処理方法の現状と今後（本巢市）

分別区分		処理方法	処理施設等
可燃ごみ		焼却	西濃環境保全センター
粗大ごみ		破碎・資源化	委託
有害ごみ		資源化	委託
資源ごみ	あきびん [びん]	資源化	委託
	缶	資源化	委託
	ペットボトル	資源化	委託
	プラスチック製容器包装	資源化	委託
	金物類	資源化	委託
	紙製容器包装 [紙類]	資源化	委託
	白色トレイ	資源化	委託

表 3-2-4 ごみの分別区分と処理方法の現状と今後（神戸町）

分別区分		処理方法	処理施設等
燃えるごみ [可燃ごみ]		焼却	西濃環境保全センター
燃えないごみ [不燃ごみ]	金属(缶)類 [缶]	資源化	委託
	小型雑類ごみ	破碎・資源化	西南濃粗大廃棄物処理センター
大型ごみ [粗大ごみ]		破碎・資源化	西南濃粗大廃棄物処理センター
有害ごみ		資源化	委託
資源ごみ	びん	資源化	委託
	ペットボトル	資源化	委託
	プラスチックボトル	資源化	委託
せともの(陶磁器ごみ)、土砂		埋立処分	町最終処分場

表 3-2-5 ごみの分別区分と処理方法の現状と今後（輪之内町）

分別区分		処理方法	処理施設等
可燃ごみ		焼却	西濃環境保全センター
不燃ごみ		破碎・資源化	西南濃粗大廃棄物処理センター
粗大ごみ		破碎・資源化	西南濃粗大廃棄物処理センター
有害ごみ		資源化	委託
資源ごみ	びん類 [びん]	資源化	委託
	かん類 [缶]	資源化	委託
	ペットボトル	資源化	委託
	プラスチック製容器包装	資源化	委託
	プラスチック類	資源化	委託
	小型金物類 [金物類]	資源化	委託
	紙類	資源化	委託
	布類	資源化	委託
	ふとん類	資源化	委託
	小型家電	資源化	委託
	生ごみ	資源化	町エコドーム
廃食油	資源化	委託	
がれき類		埋立処分	町最終処分場

表 3-2-6 ごみの分別区分と処理方法の現状と今後（安八町）

分別区分		処理方法	処理施設等
可燃物 [可燃ごみ]		焼却	西濃環境保全センター
不燃物・粗大 [不燃ごみ・粗大ごみ]		破碎・資源化	西南濃粗大廃棄物処理センター
処理困難ゴミ [有害ごみ]		資源化	委託
資源ごみ	ビン類 [びん]	資源化	委託
	缶・金物	資源化	委託
	ペットボトル	資源化	委託
	プラスチックボトル	資源化	委託
	小型家電	資源化	委託
剪定木		資源化	委託
がれき類		埋立処分	町最終処分場

表 3-2-7 ごみの分別区分と処理方法の現状と今後（揖斐川町）

分別区分		処理方法	処理施設等
燃やすごみ [可燃ごみ]		焼却	西濃環境保全センター
粗大ごみ		破碎・資源化	委託
不燃ごみ		資源化・埋立処分	委託
有害ごみ		資源化	委託
資源ごみ	ビン類 [びん]	資源化	委託
	缶類 [缶]	資源化	町リサイクルセンター 委託
	ペットボトル	資源化	エコドーム 委託
	プラスチック製容器包装	資源化	エコドーム 委託
	その他プラスチック	資源化	委託
	紙類	資源化	委託
	白色トレイ	資源化	委託
	金属類	資源化	委託

表 3-2-8 ごみの分別区分と処理方法の現状と今後（大野町）

分別区分		処理方法	処理施設等
燃えるゴミ [可燃ごみ]		焼却	西濃環境保全センター
粗大ごみ		破碎・資源化	委託
有害物 [有害ごみ]		資源化	委託
資源ごみ	ガラスびん [びん]	資源化	委託
	缶類 [缶]	資源化	委託
	ペットボトル	資源化	委託
	プラスチック製容器包装	資源化	委託
	金属類	資源化	委託
	古紙回収 [古紙]	資源化	委託
	使用済小型家電	資源化	委託

表 3-2-9 ごみの分別区分と処理方法の現状と今後（池田町）

分別区分	処理方法	処理施設等
可燃物 [可燃ごみ]	焼却	西濃環境保全センター
不燃ごみ	破碎・資源化	委託
その他可燃物	破碎・焼却	西濃環境保全センター
その他不燃物	資源化・最終処分	委託
粗大ごみ	破碎・資源化	南部リサイクルセンター 委託
資源ごみ	ガラスびん [びん]	資源化 委託
	缶	資源化 委託
	ペットボトル	資源化 北部リサイクルセンター 南部リサイクルセンター
	プラマーク [プラスチック製容器包装]	資源化
	金属類	資源化 委託
	古紙・繊維類	資源化 委託
	小型家電リサイクル	資源化 委託

表 3-2-10 ごみの分別区分と処理方法の現状と今後（北方町）

分別区分	処理方法	処理施設等
可燃物(生ごみ) [可燃ごみ]	焼却	西濃環境保全センター
不燃性廃棄物 [不燃ごみ]	最終処分	委託
粗大ごみ	破碎・資源化	北方町リサイクルセンター
有害ごみ	資源化	委託
資源ごみ	ガラスびん [びん]	資源化 委託
	空きカン [缶]	資源化 北方町リサイクルセンター
	ペットボトル	資源化 北方町リサイクルセンター 委託
	プラ容器包装 [プラスチック製容器包装]	資源化 北方町リサイクルセンター 委託
	衣類	資源化 委託
	古紙類 [紙類]	資源化 委託
	乾電池	資源化 委託
	小型充電式電池	資源化 委託
	小型家電リサイクル	資源化 委託

(3) 収集・運搬

構成市町における家庭系可燃ごみの収集・運搬体制は、表 3-3 に示すとおりです。

表 3-3 収集・運搬体制（平成 30 年度）

構成市町	収集形態	収集方法	収集頻度	手数料徴収方法
大垣市	直営・委託	ステーション	週 2 回	可燃ごみ処理券
瑞穂市	委託	ステーション	週 3 回	指定袋
本巣市	委託	ステーション	週 2 回	指定袋
神戸町	委託	ステーション	週 2 回	指定袋
輪之内町	委託	ステーション	週 2 回	指定袋
安八町	委託	ステーション	週 2 回	指定袋
揖斐川町	委託	ステーション	週 2 回	指定袋
大野町	委託	ステーション	週 2 回	指定袋
池田町	委託	ステーション	週 2 回	指定袋
北方町	委託	ステーション	週 2 回	指定袋

(4) 中間処理施設

① 焼却施設・熱回収施設

本計画対象区域内で収集された可燃ごみは、すべて本組合の西濃環境保全センターで焼却処理を行っています。

西濃環境保全センターの概要は、表 3-4 に示すとおりです。

表 3-4 西濃環境保全センターの概要

項 目	内 容
名 称	西濃環境保全センター
所在地	岐阜県揖斐郡大野町大字下座倉 1375-1
敷地面積	44,645m ²
処理能力	270t/日(90t/24h×3 炉)
処理対象物	可燃ごみ
処理方式	① 流動床式焼却炉 (90t/日×2 炉) ② ガス化高温溶融一体型直接溶融炉 (90t/日×1 炉)
運転管理	直営 (西濃環境整備組合)
設計・施工	① 株式会社 荏原製作所、② 新日本製鐵 株式会社
竣工年月	① 平成 3 年 3 月、② 平成 15 年 12 月

また、本組合が処理する可燃ごみ以外のごみを焼却するために、独自に焼却施設を保有し管理する構成市町があります。

構成市町が保有する熱回収施設及び焼却施設の概要は、表 3-5 に示すとおりです。

表 3-5 構成市町が保有する熱回収施設・焼却施設の概要

市町名	現 有 施 設 名	処理対象物	炉形式	処理能力 (t/日)	使用開始年	備考
大垣市	大垣市クリーンセンター	可燃ごみ	流動床式	240t/24h (80t×3炉)	1996年	
本巣市	真正一般廃棄物焼却施設	可燃性粗大ごみ プラスチック類	半ガス化 燃焼式	2.4	1995年	休止中
	根尾一般廃棄物焼却施設	可燃性粗大ごみ プラスチック類	ガス化方式	0.8	1998年	休止中

② マテリアルリサイクル推進施設

構成市町が粗大ごみ及び資源ごみの資源化を推進するために保有しているマテリアル推進施設の概要は、表 3-6 に示すとおりです。

表 3-6 構成市町が保有するマテリアルリサイクル推進施設の概要

市町名	現 有 施 設 名	処理対象物	処理方式	処理能力	使用開始年
大垣市	大垣市リサイクルセンター	資源	圧縮・梱包	3.7t/日	2012年
揖斐川町	いびがわエコドーム	資源	圧縮	2t/日	2002年
	春日リサイクルセンター	資源・粗大	圧縮	1t/日	1980年
	久瀬リサイクルセンター	資源・粗大	圧縮	1t/日	1990年
	藤橋リサイクルセンター	資源・粗大	圧縮	1t/日	1985年
	坂内リサイクルセンター	資源・粗大	圧縮	1t/日	1996年
大野町	大野町不燃物処理場	資源・粗大	破碎・ 選別・圧縮	3t/日	1991年
池田町	池田町北部リサイクルセンター	資源	圧縮・梱包	300kg/h	2000年
	池田町南部リサイクルセンター	資源・粗大	圧縮・梱包	400kg/5h	2019年
北方町	北方町リサイクルセンター	資源・粗大	破碎・ 選別・圧縮	3.36t/5h	2005年

(5) 最終処分場

本組合が建設した最終処分場の概要は、表 3-7 に示すとおりです。

また、本組合が処理する可燃ごみ以外のごみを埋め立てるため、独自に最終処分場を保有し管理する構成市町があります。構成市町が保有する最終処分場の概要は、表 3-8

に示すとおりです。

表 3-7 西濃環境整備組合一般廃棄物最終処分場の概要

項目	内容
名称	一般廃棄物最終処分場
形式	被覆型最終処分場（クローズド型）
埋立面積	2,400m ² （30m×80m）
埋立容積	19,200m ³ （2,400m ² ×8m）
埋立対象物	焼却飛灰、不燃物
埋立期間	平成28年4月～平成43年3月（15年間）
貯留構造物	S構造（1階）＋RC構造（地下1階）
遮水工	遮水シート
水処理	凝集沈殿＋砂ろ過（既設焼却炉の水処理設備を利用して炉内噴霧）

表 3-8 構成市町が保有する最終処分場の概要

区分	現有施設名	埋立面積 m ²	埋立容量 m ³	残余容量 m ³	埋立期間	埋立対象物	しゃ水工 の有無	浸出水処 理施設の 有無	処理方式
大垣市	大垣市一般廃棄物最終処分場	20,600	87,000	8,103	平成4年12月～ 令和4年3月	焼却灰	有	有	接触ばっ気方式＋高度処理
	大垣市草道島一般廃棄物最終処分場	2,350	8,400	700	昭和62年3月～ 令和7年3月	残土	無	無	－
	大垣市上石津一般廃棄物最終処分場	17,500	104,000	47,671	平成15年2月～ 令和3年1月	コンクリート、ブロック、 石、瓦、レンガ等	無	無	－
	大垣市墨俣一般廃棄物最終処分場	2,273	8,210	7,985	平成6年4月～ 令和4年3月	ブロック、コンクリート破 片、レンガ、瓦、壁 土	無	無	－
本巣市	本巣廃棄物最終処分場	5,500	27,600	20,931	1990年～	瓦、コンクリート片、 ブロック、ガレキ	無	無	－
	根尾廃棄物最終処分場	2,276	4,600	480	1972年～	瓦、コンクリート片、 ブロック、ガレキ	無	無	－
神戸町	瀬古最終処分場	4,277	28,287	11,958	平成17年4月～	瓦、コンクリート、土 砂、レンガ	無	無	－
輪之内町	輪之内町一般廃棄物最終処分場	6,548	31,193	10,800	平成6年8月～ 平成34年3月	瓦、レンガ、壁 土、コンクリート片	無	無	－
安八町	一般廃棄物最終処分場	6,835	12,357	2,435	平成8年8月～ 平成37年	レンガ、コンクリート 片、瓦	無	無	－
揖斐川町	坂内一般廃棄物最終処分場	1,100	1,500	129	昭和48年～	不燃物（陶磁 器・ガラス類 等）	無	無	－

2. ごみ処理の実績

(1) ごみ排出区分の定義

本計画におけるごみに関する用語の定義は、図 3-2 に示すとおりとします。

本計画では、住民及び事業者等によって排出される全ての不要物の量を「ごみ発生量」とします。

しかし、潜在ごみである排出事業者による資源化や資源化業者独自の資源回収、住民による自家処理（生ごみの減量化等）によって資源等が回収がされているものについては、実数として捉えることが困難なことから、これを除いたものを「ごみ総排出量」とします。

「ごみ総排出量」のうち、構成市町の家庭から排出されたものを「生活系ごみ」、事業所や公共施設から排出されたごみを「事業系ごみ」とし、生活系ごみのうち資源ごみと集団回収で集められた資源を除いた処理・処分が必要な可燃ごみ・粗大ごみ及び有害ごみを「家庭系ごみ」とします。

また、「家庭系ごみ」については、可燃ごみまたは粗大ごみ・有害ごみに分けて分類します。

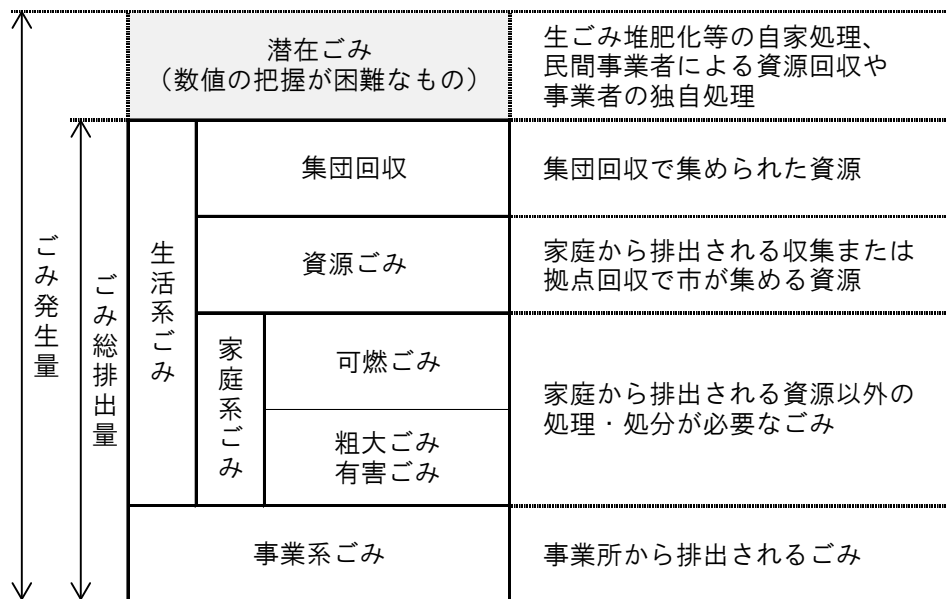


図 3-2 ごみ排出区分の定義

(2) ごみ総排出量の推移

本計画対象区域内における過去5年間のごみ総排出量及び1人1日あたりごみ総排出量^{注4)}の推移は、表3-9及び図3-5に示すとおりです。

表3-9 ごみ総排出量の推移

項目	単位	実績				
		H26	H27	H28	H29	H30
		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
処理区域内人口	人	275,426	274,674	273,737	272,608	271,703
ごみ総排出量	t/年	77,662.16	77,199.14	75,124.22	74,890.94	75,460.60
生活系ごみ(収集+直接搬入)	t/年	49,138.16	49,676.48	48,014.90	48,092.69	48,418.37
可燃ごみ	t/年	36,661.27	36,948.40	36,348.35	36,240.46	35,992.25
不燃+粗大+有害・危険ごみ	t/年	5,858.55	6,293.14	5,424.56	5,886.55	6,431.23
資源ごみ	t/年	6,618.34	6,434.94	6,241.99	5,965.68	5,994.89
事業系ごみ	t/年	23,215.61	22,885.83	23,190.90	23,436.98	23,731.63
集団回収量	t/年	5,308.39	4,636.83	3,918.41	3,361.28	3,310.60
1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	768	768	752	753	761
可燃ごみ1人1日排出量	g/人・日	595	595	595	599	602
1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g/人・日	423	430	418	423	428

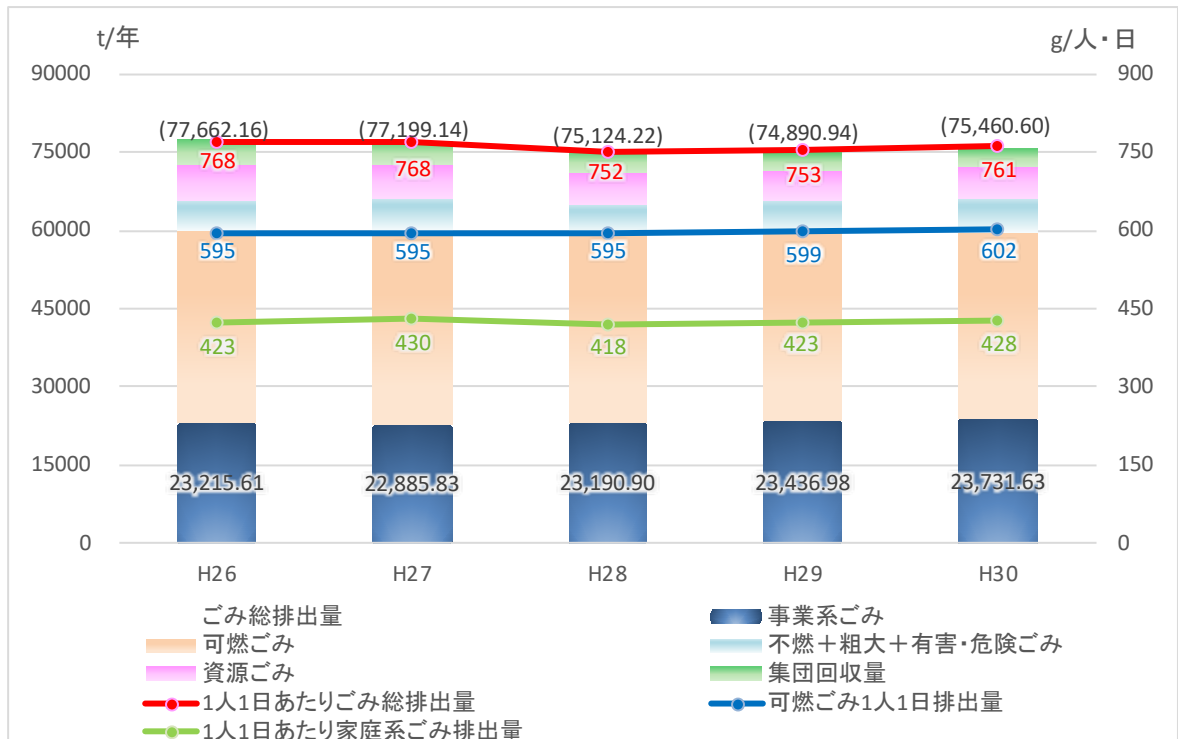


図3-3 ごみ総排出量の推移

注4) 1人1日あたりごみ総排出量=ごみ総排出量÷人口÷年間日数
 ※本計画において、端数処理のため合計が合わない場合があります。

(3)再生利用率の推移

本計画対象区域内における過去5年間の資源化量及び再生利用率の推移は、表3-10及び図3-4に示すとおりです。

表 3-10 資源化量及び再生利用率の推移

項目	単位	実績				
		H26	H27	H28	H29	H30
		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
ごみ総排出量	t/年	77,662.16	76,955.18	74,887.01	74,635.03	75,236.99
総資源化量	t/年	15,289.67	14,354.41	13,352.88	13,773.01	14,396.40
資源ごみ量(生活系+事業系)	t/年	6,618.34	6,434.94	6,241.99	5,965.68	5,994.89
集団回収量	t/年	5,308.39	4,636.83	3,918.41	3,361.28	3,310.60
不燃・粗大ごみの資源化量	t/年	706.66	739.74	720.02	742.27	837.49
焼却処理によるスラグ・メタル	t/年	2,656.28	2,542.90	2,472.45	3,703.78	4,253.42
再生利用率	%	19.7	18.6	17.8	18.4	19.1

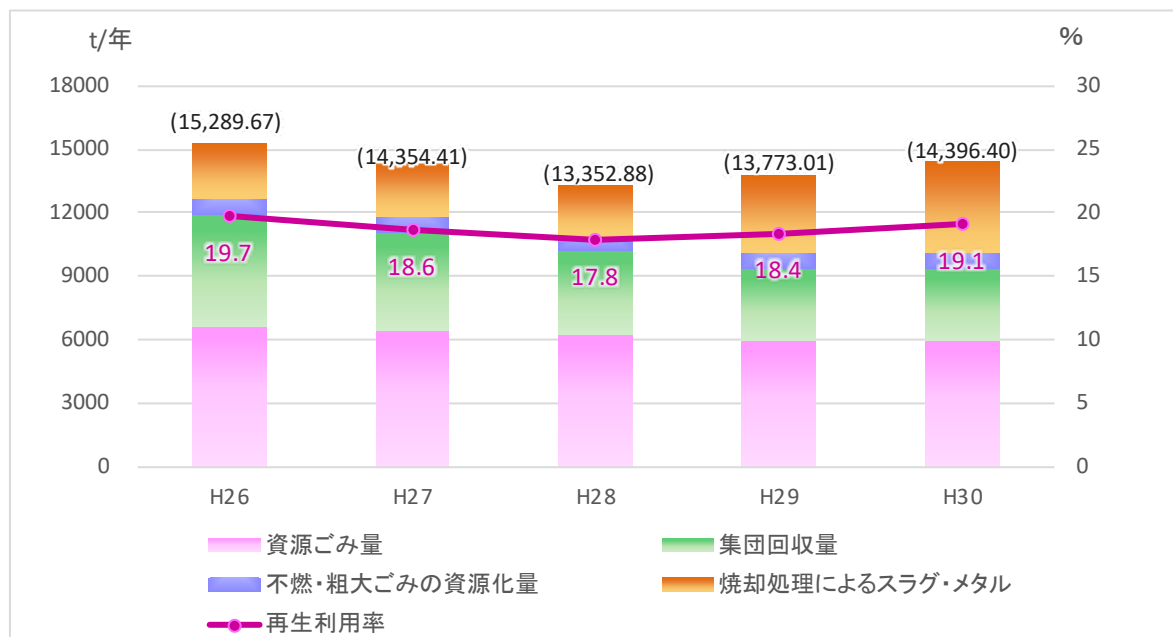


図 3-4 資源化量及び再生利用率の推移

(4) 最終処分量の推移

本計画対象区域内における過去5年間の最終処分量および最終処分率^{注5)}の推移は、表3-11及び図3-5に示すとおりです。

表3-11 最終処分量の推移

項目	単位	実績				
		H26	H27	H28	H29	H30
		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
ごみ総排出量	t/年	77,662.16	77,199.14	75,124.22	74,890.94	75,460.60
最終処分量	t/年	3,430.90	3,702.47	3,121.46	2,875.26	2,995.84
不燃・粗大ごみの最終処分量	t/年	128.99	135.01	96.84	156.43	210.16
焼却処理による最終処分量	t/年	1,686.8	1,831.5	2,097.8	1,719.4	1,737.3
直接最終処分量	t/年	1,615.1	1,735.9	926.8	999.4	1,048.4
最終処分率	%	4.7	5.1	4.4	4.0	4.2
1日あたり最終処分量	t/日	9.4	10.1	8.6	7.9	8.2

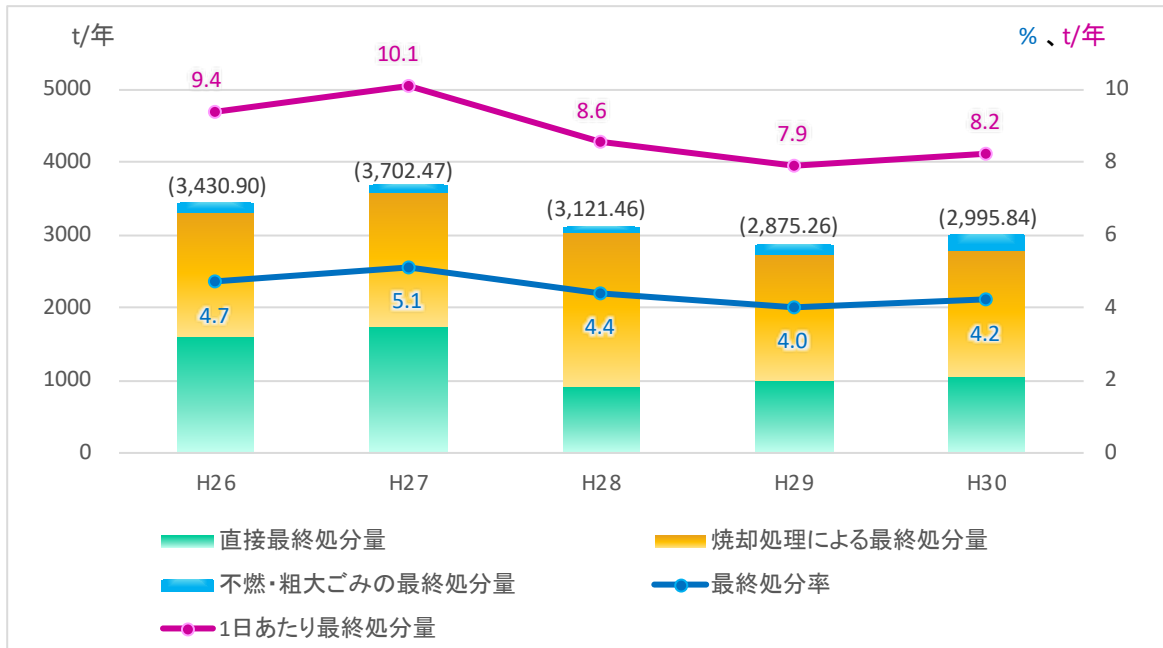


図3-5 最終処分率の推移

注5) 最終処分率=最終処分量÷ごみ総排出量

3. ごみ処理の評価

本組合及び構成市町における一般廃棄物処理システムを都道府県及び類似団体と比較分析を行うことで、優れている点、不十分な点を把握し、その理由を分析し、情報共有することによって、一般廃棄物処理システムを改善することが可能となります。

本計画では、環境負荷を出来るだけ低減する「循環型社会づくり」の視点を客観的に評価するため、「1人1日あたりごみ総排出量」、「可燃ごみ1人1日排出量」、「1人1日あたり家庭系ごみ排出量」、「再生利用率」、「最終処分率」の5項目について、岐阜県平均値との比較により評価を行いました。

なお、基準値の算出は、環境省が実施した「一般廃棄物処理事業実態調査(平成29年度)」からデータを抽出しています。

本組合の評価値は、評価項目の基準値を100としたときの指標値の比率(指数)でレーダーチャートに表しており、基準値100よりも大きな値であると高い評価になることから、レーダーチャートの五角形が大きいほど、ごみ処理が優れていると言えます。

図3-6に示した岐阜県平均との比較を見ると、全ての項目においてレーダーチャートの五角形が大きいので、岐阜県の平均値よりも優れていると考えられます。

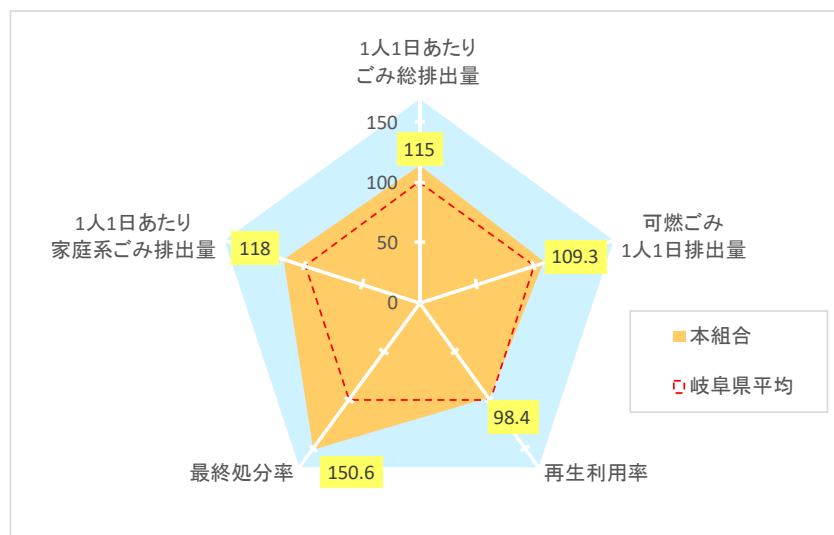


図3-6 一般廃棄物処理システムの評価(岐阜県平均との比較)

【備考】各項目の評価の算出方法については、以下のとおりです。

- ・1人1日あたりごみ総排出量(ごみ総排出量÷人口÷年間日数)
- ・可燃ごみ1人1日総排出量(可燃ごみ排出量÷人口÷年間日数)
- ・1人1日あたり家庭系ごみ排出量((生活系ごみ総排出量-資源ごみ量)÷人口÷年間日数)
- ・再生利用率
(総資源化量(資源ごみ量+集団回収量+中間処理後資源化量+焼却処理によるスラグ・メタル量)÷ごみ総排出量)
- ・最終処分率(最終処分量÷ごみ総排出量)

第4章 ごみ処理計画

1. 基本の方針

これまで我が国が進めてきた循環型社会の形成に向けた取り組み等によって、資源生産性、入口側の循環利用率が大幅に向上し、最終処分量が大幅に減少しました。しかし、近年は横ばいとなっており、3Rなどの資源生産性を高める取り組みを一層強化していく必要があります。

一方、地球温暖化対策の取り組みとして、低炭素社会や自然共生社会へ配慮した取り組みを進めていくこと、エネルギー源としての活用も含めた循環資源の種類に応じて、適正な規模で資源循環させることができる仕組みづくりを進めることも必要とされています。

また、近年は新たな廃棄物処理の対策として、今後発生が懸念されている大規模災害での万全な災害廃棄物処理体制を構築していくこと、食品廃棄物（食品ロス）の資源化及び発生抑制についての取り組みも求められています。その他、社会情勢や関連する上位計画の更新又は国際的視点により、今後新たな廃棄物に関する価値観が生まれる事も十分考えられます。

本組合においては、廃棄物の適正処理、リサイクル、3R及びエネルギー回収の他、災害廃棄物に対する最適な処理を考慮し、計画を策定します。また、廃棄物において今後新たな価値観が生まれた場合は、見直しの際に取り入れ、図4-1のように将来における廃棄物の価値づくりを図ることにより、限りある自然・資源、環境と共存できる将来を構築していきます。

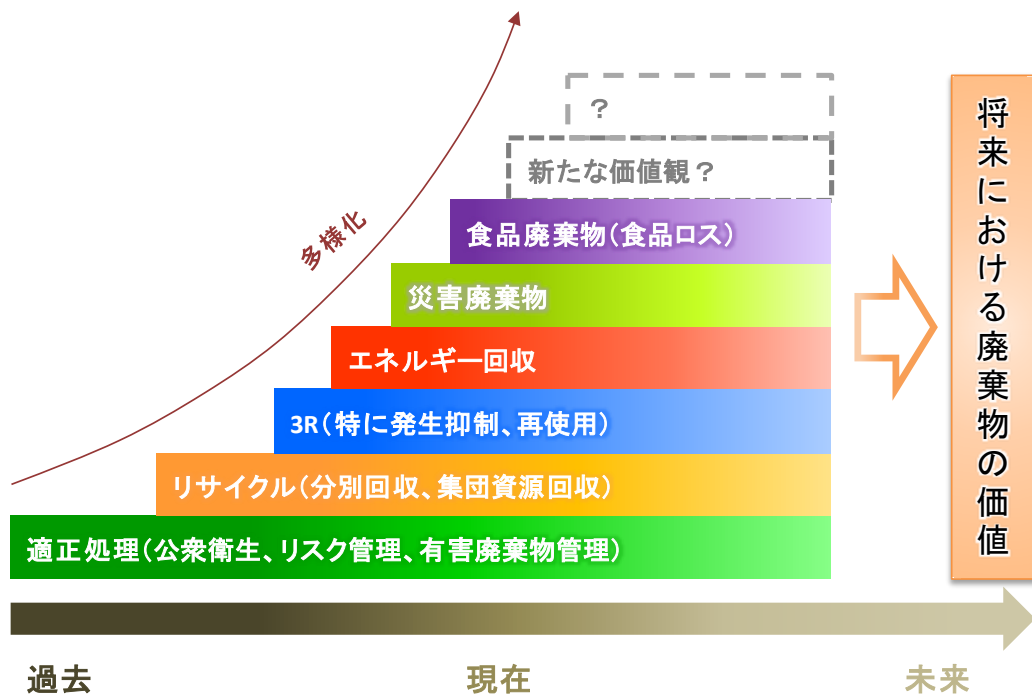


図 4-1 廃棄物処理の価値と変化

2. 数値目標

令和 11 年度における数値目標は、前計画で目標として掲げた「可燃ごみ 1 人 1 日排出量」及び「1 日あたり最終処分量」に、家庭から出る処理・処分を必要とするごみの目標として「1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量」と事業所から出るごみの総量である「事業系ごみ排出量」を加えた 4 項目とします。

(1) 可燃ごみ 1 人 1 日排出量

平成 30 年度における可燃ごみ 1 人 1 日排出量は、602g/人・日であり、基準年度である平成 9 年度から増加し、前計画で定めた平成 31 年度(目標年度)における目標値 529g/人・日の達成が厳しい状況です。

このことから、令和 11 年度の可燃ごみ 1 人 1 日排出量の目標値は推計値に基づいて見直し、560g/人・日(平成 30 年度比 7%減)にします。

令和 11 年度の可燃ごみ 1 人 1 日排出量を 560g にします。

(2) 1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量

国は「第四次循環型社会形成推進基本計画」において、2025(令和 7)年度の 1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量を 440g にする目標を掲げています。一方で本組合の平成 30 年度における 1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量は 428g であり、すでに国の目標値を達成している状況です。

このことから、1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量は現状維持を目的とし、令和 11 年度に 420g を目指すこととします。

令和 11 年度の 1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量は 420g を目指します。

(3) 事業系ごみ排出量

過去 5 年間に本組合に搬入された事業系ごみの排出量は、横ばいで推移しています。

国は「第四次循環型社会形成推進基本計画」において、事業系ごみの排出量を 2025 年に 1,100 万 t にすると目標に掲げました。これは、2017 年度の実績値 1,300 万 t から 1 年につき約 1.7%削減した値となります。

このため、令和 11 年度の事業系ごみ排出量の目標値は国の増減率を参考に、平成 30 年度の事業系ごみ排出量実績値 23,732t から 1 年につき約 1.7%ずつ削減することとし、令和 11 年度には 19,300t にします。

令和 11 年度の事業系ごみ排出量を 19,300t にします。

(4) 1 日あたり最終処分量

平成 30 年度における最終処分量は 8.2t/日であり、前計画で定めた平成 31 年度の目標値 9t/日をすでに達成しています。

このことから、令和 11 年度 of 最終処分量の目標値は、現状を維持し 8.0t/日にします。

令和 11 年度の 1 日あたり最終処分量を 8.0t にします。

3. ごみの発生量及び処理量の見込み

将来ごみ量の予測は、人口推計結果及び過去5年間のごみ排出量の実績に基づいて、トレンド推計式により将来数値を推計する手法を用いました。この手法は、『ごみ処理施設構造指針解説』に示された方法で、図4-2にごみ量予測のフローを示します。

生活系ごみ及び集団回収については、ごみ種別の発生原単位推計結果×人口推計の予測値×年間日数で算出し、事業系ごみについては、ごみ種別の発生原単位×年間日数で算出しました。

なお、複数の排出方法があるごみについては、ごみの種別で合算して推計し、過去5年間の平均割合で按分しました。

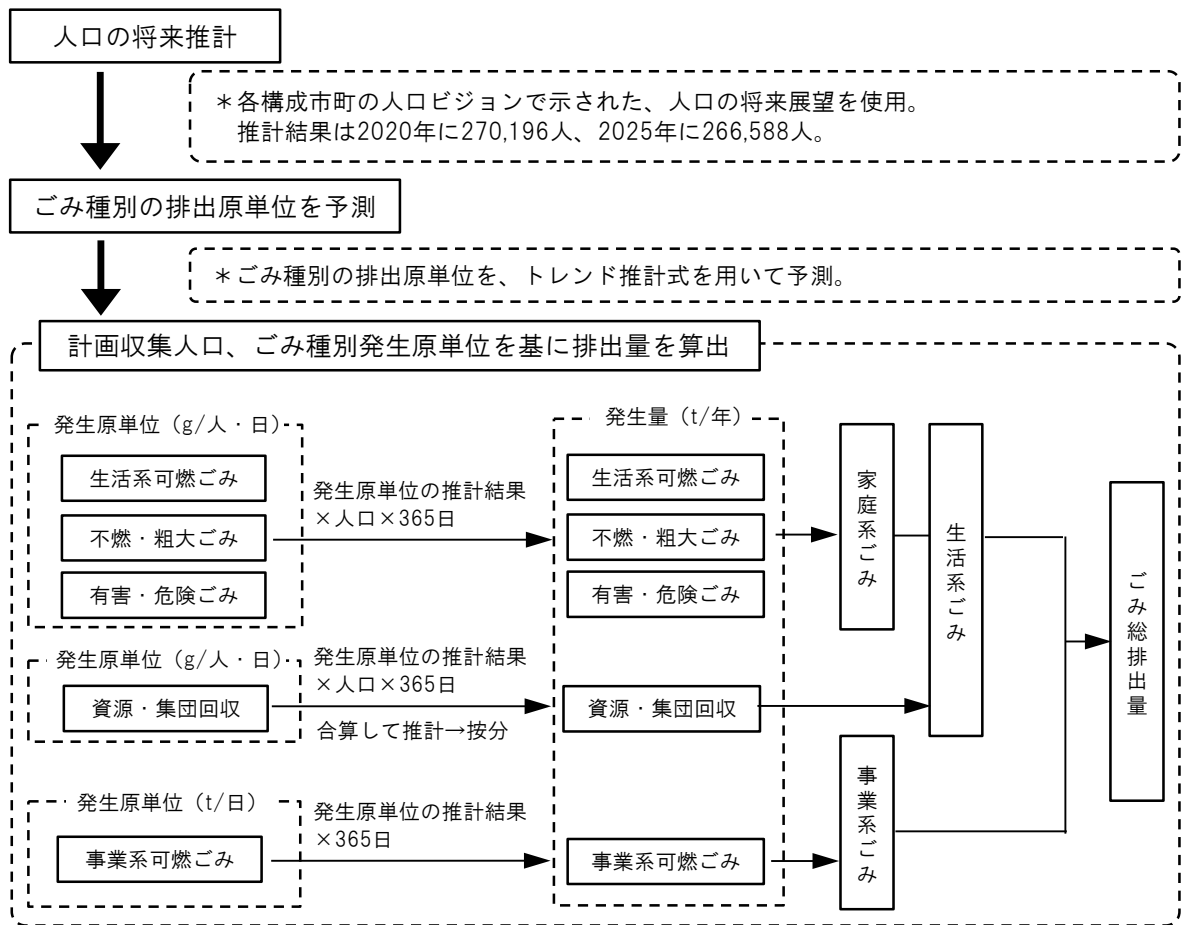


図 4-2 ごみ量の予測フロー

(1)人口の将来予測

人口の将来予測は、表 4-1 及び図 4-3 に示すとおりです。なお、人口の将来予測については、構成市町の人口ビジョンに示された人口の将来展望を採用しました。

表 4-1 人口の将来予測

和暦	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	R4 (H34)	R5 (H35)	R6 (H36)	R7 (H37)	R8 (H38)	R9 (H39)	R10 (H40)	R11 ^{※2} (H41)
西暦	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
組合	271,468	270,196	269,471	268,741	268,012	267,295	266,588	265,774	264,975	264,174	263,374
大垣市 ^{※1}	51,714	51,611	51,556	51,501	51,446	51,391	51,336	51,295	51,254	51,213	51,172
瑞穂市	53,923	53,789	53,917	54,045	54,173	54,301	54,430	54,511	54,592	54,673	54,754
本巣市	34,379	34,263	34,145	34,024	33,903	33,783	33,666	33,532	33,411	33,290	33,168
神戸町	18,765	18,621	18,476	18,331	18,186	18,041	17,902	17,759	17,617	17,474	17,331
輪之内町	10,083	10,086	10,089	10,093	10,096	10,100	10,103	10,113	10,124	10,134	10,145
安八町	15,207	15,200	15,166	15,132	15,098	15,064	15,030	14,990	14,950	14,909	14,869
揖斐川町	21,138	20,654	20,396	20,137	19,879	19,620	19,362	19,103	18,843	18,584	18,324
大野町	23,969	23,933	23,898	23,862	23,826	23,801	23,776	23,751	23,726	23,702	23,678
池田町	23,848	23,656	23,467	23,277	23,087	22,898	22,708	22,496	22,284	22,072	21,860
北方町	18,442	18,383	18,361	18,339	18,318	18,296	18,275	18,224	18,174	18,123	18,073
大垣市全域	159,886	159,568	159,398	159,228	159,058	158,888	158,718	158,591	158,464	158,338	158,211

※1：大垣市の人口は、宇留生・中川・和合・赤坂・青墓・墨俣の各地区管内人口を示します。

※2：赤枠の令和 11 年度が、本計画の目標年度です。

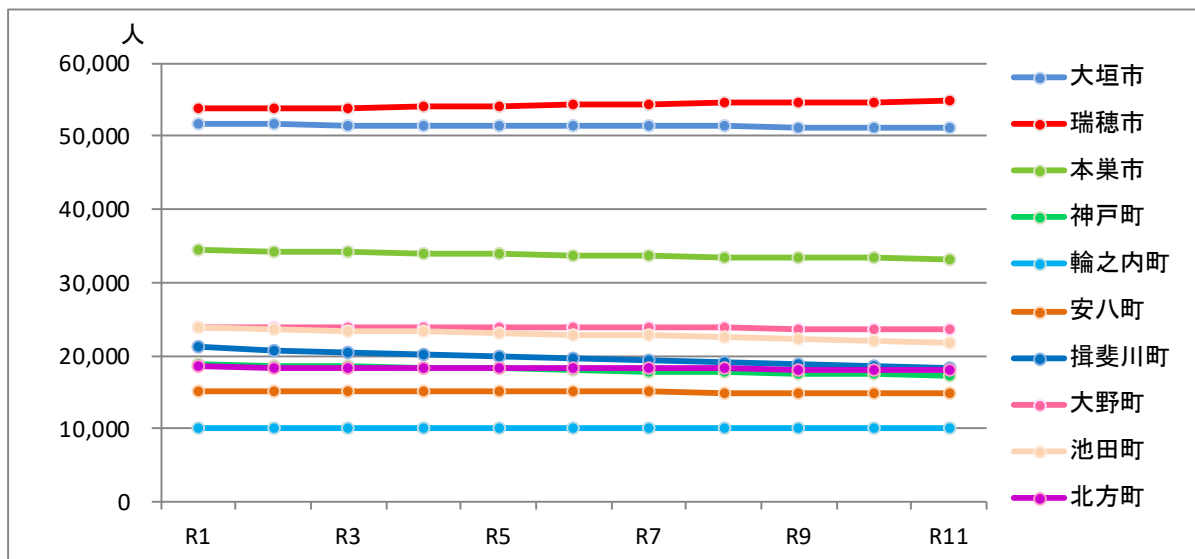


図 4-3 人口の将来予測

(2)ごみ総排出量と可燃ごみ1人1日排出量の将来予測

ごみ総排出量及び可燃ごみ1人1日あたり排出量の将来予測は、表4-2及び図4-4に示すとおりです。

表4-2 ごみ総排出量及び可燃ごみ1人1日排出量の将来予測

項目	単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 [※]
		(H31)	(H32)	(H33)	(H34)	(H35)	(H36)	(H37)	(H38)	(H39)	(H40)	(H41)
		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
処理区域内人口	人	271,468	270,196	269,471	268,741	268,012	267,295	266,588	265,774	264,975	264,174	263,374
ごみ総排出量	t/年	76,572	76,243	76,251	76,228	76,422	76,208	76,200	76,166	76,336	76,107	76,080
生活系ごみ(収集+直接搬入)	t/年	48,662	48,267	48,108	47,924	47,879	47,579	47,407	47,206	47,130	46,816	46,622
可燃ごみ	t/年	36,025	35,693	35,529	35,369	35,301	35,047	34,890	34,719	34,642	34,379	34,211
事業系ごみ	t/年	23,216	22,886	23,191	23,437	23,732	23,840	23,943	24,113	24,285	24,525	24,632
可燃ごみ	t/年	23,168	22,818	23,141	23,380	23,692	23,796	23,902	24,074	24,248	24,489	24,599
1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	771	773	775	777	779	781	783	785	787	789	791
可燃ごみ1人1日排出量	g/人・日	602	604	606	608	610	611	613	615	617	619	621

※：赤枠の令和11年度が、本計画の目標年度です。

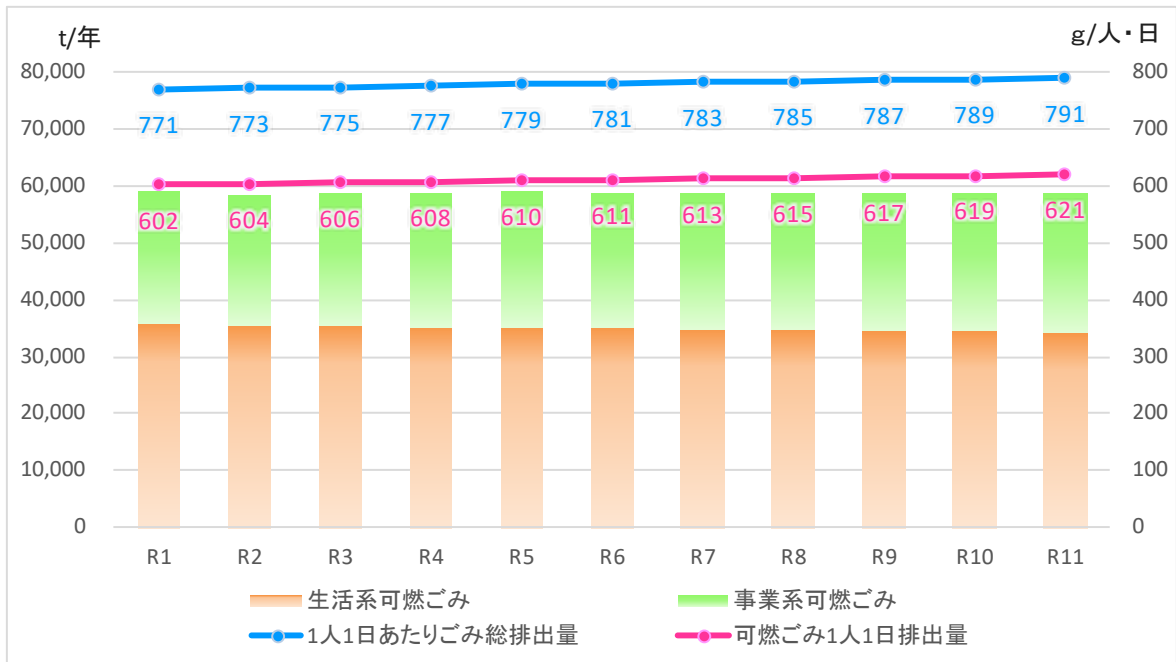


図4-4 ごみ総排出量及び可燃ごみ1人1日排出量の将来予測

(3) 1人1日あたり家庭系ごみ排出量の将来予測

1人1日あたり家庭系ごみ排出量の将来予測は、表4-3及び図4-5に示すとおりです。

表4-3 1人1日あたり家庭系ごみ排出量の将来予測

項目	単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11*
		(H31)	(H32)	(H33)	(H34)	(H35)	(H36)	(H37)	(H38)	(H39)	(H40)	(H41)
		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
ごみ総排出量	t/年	76,572	76,243	76,251	76,228	76,422	76,208	76,200	76,166	76,336	76,107	76,080
生活系ごみ(収集+直接搬入)	t/年	48,662	48,267	48,108	47,924	47,879	47,579	47,407	47,206	47,130	46,816	46,622
可燃ごみ	t/年	36,025	35,693	35,529	35,369	35,301	35,047	34,890	34,719	34,642	34,379	34,211
不燃ごみ	t/年	1,460	1,460	1,464	1,471	1,479	1,482	1,486	1,486	1,493	1,493	1,497
粗大ごみ	t/年	4,795	4,771	4,760	4,749	4,747	4,723	4,709	4,694	4,692	4,668	4,654
有害・危険ごみ	t/年	110	113	117	113	113	113	117	113	113	113	113
1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g/人・日	427	426	426	425	425	424	423	423	422	422	421

※：赤枠の令和11年度が、本計画の目標年度です。

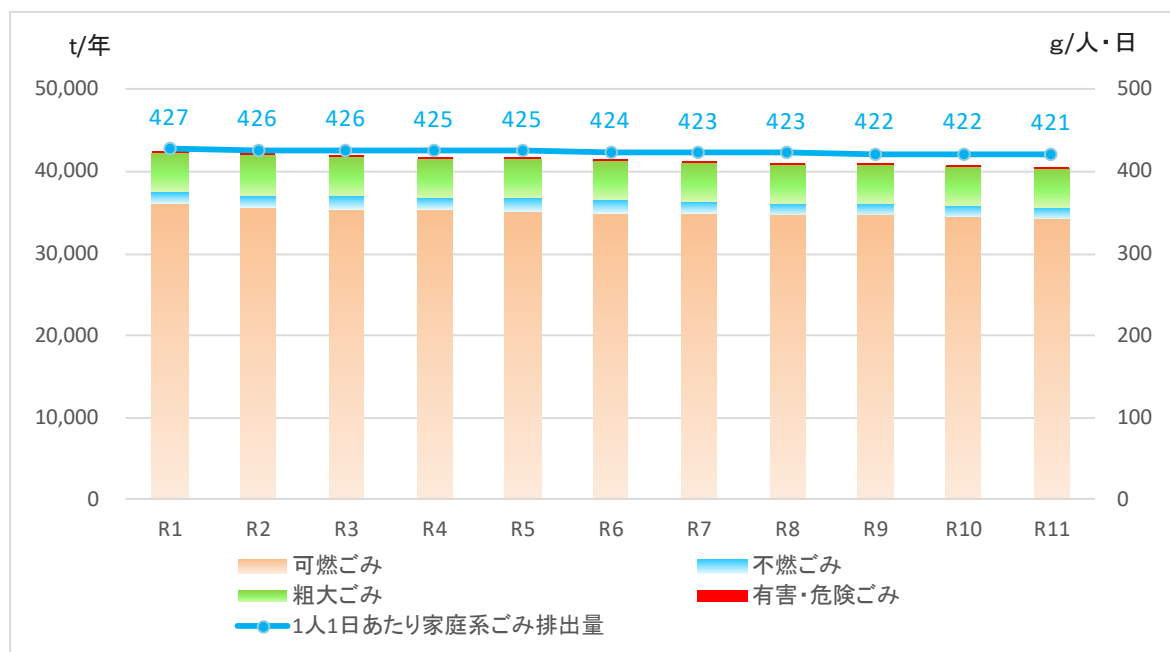


図4-5 1人1日あたり家庭系ごみ排出量の将来予測

(4) 事業系ごみ排出量の将来予測

事業系ごみ排出量の将来予測は、表 4-4 及び図 4-6 に示すとおりです。

表 4-4 事業系ごみ排出量の将来予測

項目	単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 [※]
		(H31)	(H32)	(H33)	(H34)	(H35)	(H36)	(H37)	(H38)	(H39)	(H40)	(H41)
		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
事業系総排出量	t/年	23,840	23,943	24,113	24,285	24,525	24,632	24,807	24,985	25,231	25,342	25,523

※：赤枠の令和 11 年度が、本計画の目標年度です。

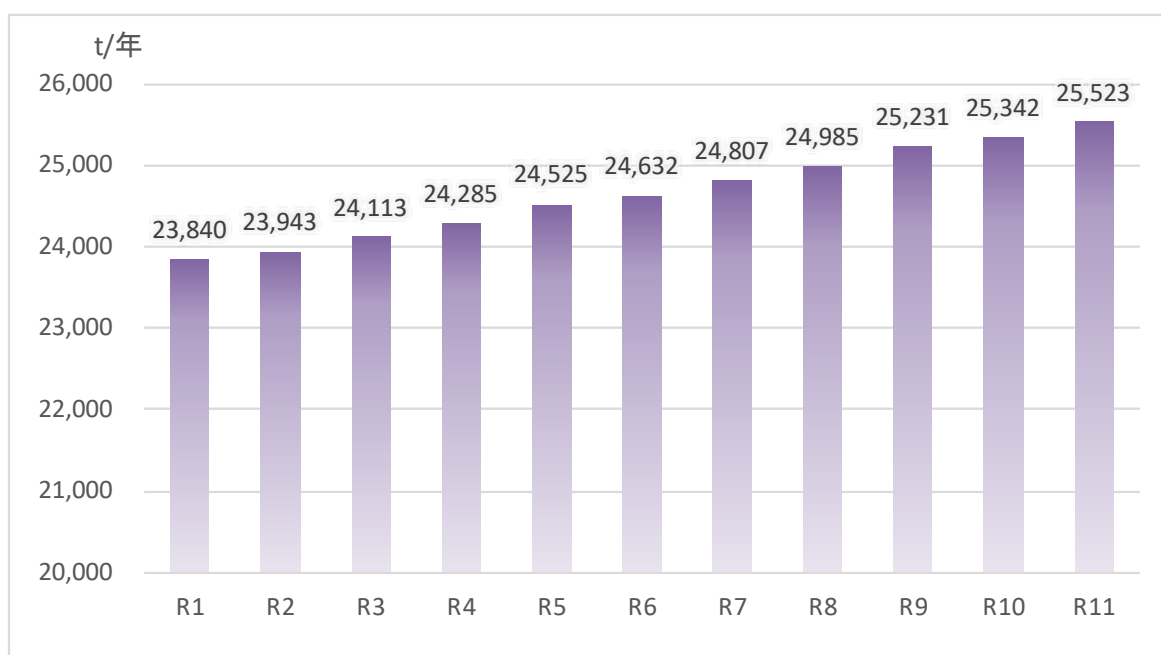


図 4-6 事業系ごみ排出量の将来予測

(5) 最終処分量の将来予測

最終処分量の将来予測は、表 4-5 及び図 4-7 に示すとおりです。

表 4-5 最終処分量の将来予測

項目	単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11*
		(H31)	(H32)	(H33)	(H34)	(H35)	(H36)	(H37)	(H38)	(H39)	(H40)	(H41)
		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
ごみ総排出量	t/年	76572	76243	76251	76228	76422	76208	76200	76166	76336	76107	76080
最終処分量	t/年	2975	2961	2957	2954	2958	2950	2947	2943	2947	2939	2935
不燃・粗大ごみの最終処分量	t/年	165.8	165.2	165	164.9	165.1	164.5	164.2	163.8	164	163.2	163
焼却処理による最終処分量	t/年	1836	1829	1829	1829	1834	1830	1830	1830	1835	1830	1830
直接最終処分量	t/年	973.6	967.3	963.6	960	958.9	956.3	952.7	949	947.9	945.4	941.7
最終処分率	%	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
1日あたり最終処分量	t/日	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.0

※：赤枠の令和 11 年度が、本計画の目標年度です。

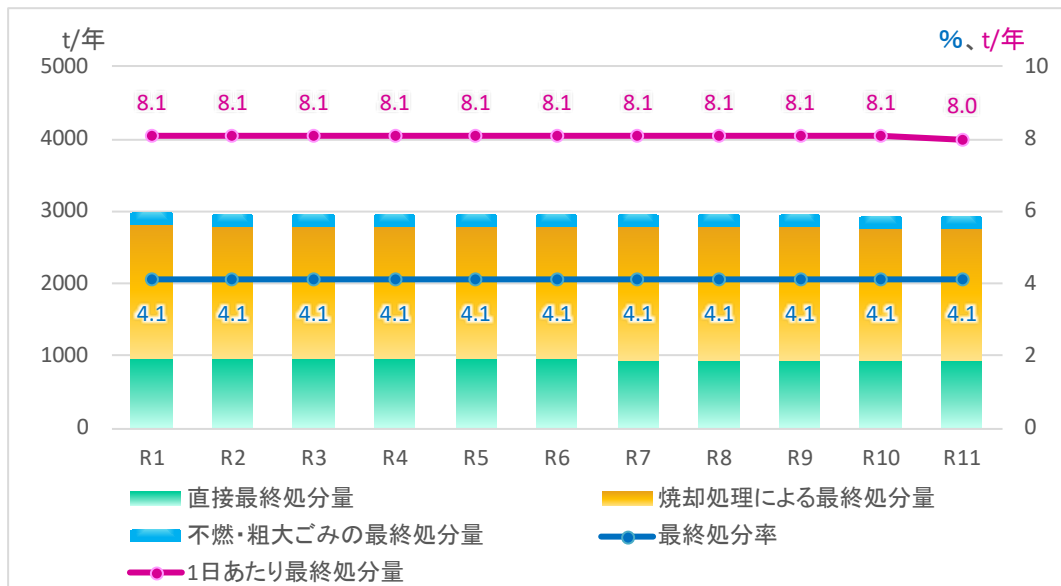


図 4-7 最終処分量の将来予測

4. 目標達成のための施策

「ごみになるもの」の発生抑制から、資源化、適正処理に至るまでのごみ処理の流れの各段階に沿って施策を進めていきます。

(1) 本組合の施策

本組合が実施する施策は、以下に示すとおりです。

① 発生抑制のための取り組み

No.1 ごみ処理手数料の見直し

国は「食品循環資源の再生利用等の促進に関する基本方針」において、民間の再生利用料金が公共サービスである市町村の処理料金よりも割高となっていることが食品流通の川下の再生利用が進んでいない理由として述べており、食品リサイクルを促進するために、事業系ごみの処理手数料は「その処理に係る原価相当の料金を徴収することが望ましい」としています。

他自治体では、1kgあたり20円処理手数料から、民間の食品リサイクルよりも高くなる1kgあたり32円に値上げしたところ、焼却施設への事業系ごみ搬入量が半減した事例もあります。

本組合においても、国の方針に基づき食品リサイクルを促進するために、現在10kgあたり100円としているごみ処理手数料を、処理原価相当へ値上げすることを検討します。

No.2 産業廃棄物の不適正搬入防止

平成26年度には、本組合管内において事業系一般廃棄物に産業廃棄物を混入して排出する不適正排出事案が発生しています。

このことから、構成市町と連携し、急激に搬入量が増加する排出事業者、収集運搬事業者に対して確認を行います。また、引き続きごみの搬入検査を継続し不適正搬入防止の取り組みを強化します。

No.3 施設見学者等に対する啓蒙・啓発

現在、年間約2千人のごみ焼却施設視察者及び見学者のほか約10万人の屋内温水プール利用者がいます。これらの施設を訪れる方々に対して、ごみの出し方や排出されたごみがどのように処理されるかを説明するだけでなく、リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再資源化）の3Rの啓発をについても、パネル展示を行うなど、積極的に進めていきます。

② 資源化のための取り組み

No.4 スラッグの利用推進及び普及啓発等

本組合で生産される溶融スラグは、平成 23 年 9 月に日本工業規格（JIS）の認証を取得し、工業製品としての品質が保証されています。

工業製品としてスラグを安定的に利用してもらうために、アスファルト合材及びコンクリート 2 次製品の製造業者等への積極的な売り込みを行うとともに、公共事業における利用促進を自治体に呼びかけることで需要拡大を図ります。

③ 適正処理の取り組み

No.5 適正な施設の維持管理

処理施設の稼働年月を踏まえた上で、長寿命化計画に基づき、各機器の診断を行い、適正な維持管理を行います。

No.6 業務継続計画（BCP）の策定

大規模地震等の災害発生により、ヒト、モノ、情報及びライフライン等利用できる資源に制約がある状況下において、非常時に優先する業務を特定するとともに、その業務の継続に必要な資源の確保・配分や、そのための手続きの簡素化、指揮命令系統の明確化等について必要な措置を講じるため、本組合において業務継続計画（BCP）の策定を検討します。

(2) 構成市町の施策

構成市町のごみ処理基本計画に定められた施策は、表 4-6 に示すとおりです。

表 4-6 構成市町のごみ処理基本計画に記載された施策

施策		大垣市	瑞穂市	本巣市	神戸町	輪之内町	揖斐川町	大野町	池田町	北方町
発生抑制	粗大ごみ・不燃ごみの有料化				○		○			
	ごみ処理手数料の見直し	○								◎
	収集回数の見直し		○							
	環境学習の推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	生ごみ減量の推進	○	○	◎		○				
	可燃ごみの分析	○	○			○				
	マイバック持参運動		○	◎		○				
	マイカップ、マイ容器の推進			○	○		○			
	バザーやフリーマーケット等の活動支援		○	○						
	分別方法の分かりやすい情報提供	○	○		◎					◎
	多量排出事業者への減量・資源化指導	◎	○		○		○	○	○	○
資源化	分別区分の見直し						○		◎	
	分別区分の統一			○			○			
	マテリアルリサイクル施設の整備	○					○	○	◎	
	資源持ち込み施設の整備	○	○				◎	○		
	資源持ち込み施設の積極的な運用			○	○	○				
	資源集団回収の促進		○	○	○	○	○	○	○	○
	雑がみの分別	○					○			
	製品プラスチックの資源化				◎					
	剪定枝の資源化	○				◎				
	廃食油の資源化	○								
	民間ルート資源化量の把握		○							
適正処理	最終処分場の新設	○								
	収集運搬体制の見直し	○								
	収集拠点の整備						○			
	高齢者等に対する戸別収集	○	○				○			
	不法投棄対策	○		○	○		○	○	○	○

注 1) 「◎」は計画策定後実施済みの施策を示します。

注 2) 構成市町のごみ処理基本計画に記載された施策（取り組み）であるため、可燃ごみの有料化など計画策定以前から実施されている施策には、印がついていない場合があります。

注 3) 安八町はごみ処理基本計画が策定されていないため、施策の記載がありません。

(3) 施策のスケジュール

本組合が実施する施策のスケジュールは、表 4-7 に示すとおりです。

表 4-7 施策のスケジュール

計画の期間		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
発生抑制のための取り組み											
1	ごみ処理手数料の見直し	← 検討 →		判断							
2	産業廃棄物の不適正搬入防止	← 継続実施 →									
3	施設見学者等に対する啓蒙・啓発	← 継続実施 →									
資源化のための取り組み											
4	スラグの利用推進及び普及啓発等	← 継続実施 →									
適正処理の取り組み											
5	適正な施設の維持管理	← 継続実施 →									
6	業務継続計画(BCP)の策定	← 検討 →									

5. ごみ処理に関する基本的事項

(1) 目標年度のごみの分別区分と処理方法

目標年度である令和 11 年度のごみの分別区分と処理方法は、第 3 章で前述したとおりです。

(2) 収集・運搬計画

本組合に搬入される可燃ごみの収集・運搬は、構成市町のごみ処理計画に基づくものとします。

なお、本組合への搬入禁止廃棄物は、表 4-8 に示すとおりです。

表 4-8 搬入禁止廃棄物

区 分	具 体 例
不燃物	灰、もえがら、金属、ガラス、陶器、土石類
危険物	爆発性、引火性のあるもの、有毒ガス、悪臭の発生するもの
大型物	1 辺 50cm 以上の可燃物
感染性廃棄物	医療機関から発生するもの
合成樹脂	ゴム、プラスチック類
焼却処理困難物	粉状のもの（おがくず、もみがら等）

(3) 中間処理計画

構成市町から排出された可燃ごみは、本組合の焼却施設で中間処理を行います。

中間処理にあたっては、発生する余熱を隣接する屋内温水プールの熱源として有効に利用します。

また、ごみに混入する金属類をメタルとして回収するほか、未燃物をスラグ化することで、資源としての有効活用をして最終処分量の削減に努めます。

(4) 最終処分計画

構成市町から排出された可燃ごみは、焼却処理により減量化を図り、スラグ・メタルへの資源化を行った上で、最終的に残った飛灰を最終処分場に埋め立てることで、無害化・安定化をします。

6. ごみ処理施設の整備に関する事項

予定なし。

7. ごみ処理に関するその他の事項

(1) 運営組織

本組合の組織は、図 4-8 に示すとおりです。本組合と構成市町との協議・調整・連絡等については、表 4-9 に示す頻度で実施しています。

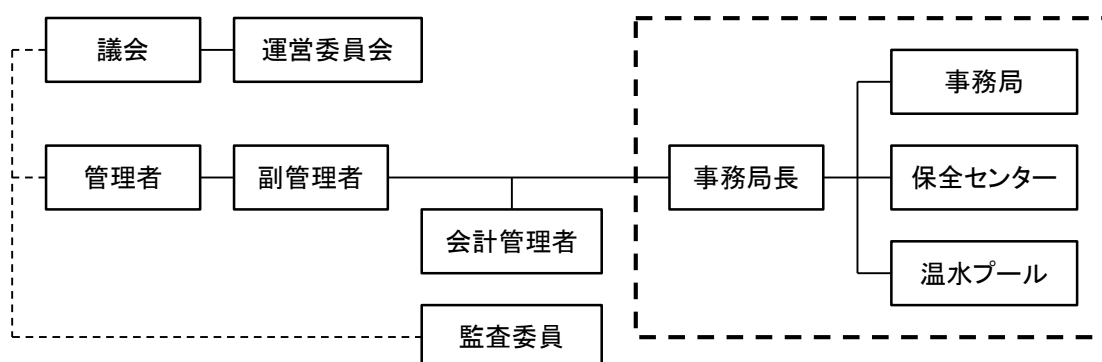


図 4-8 本組合組織

表 4-9 協議・連絡・調全体制

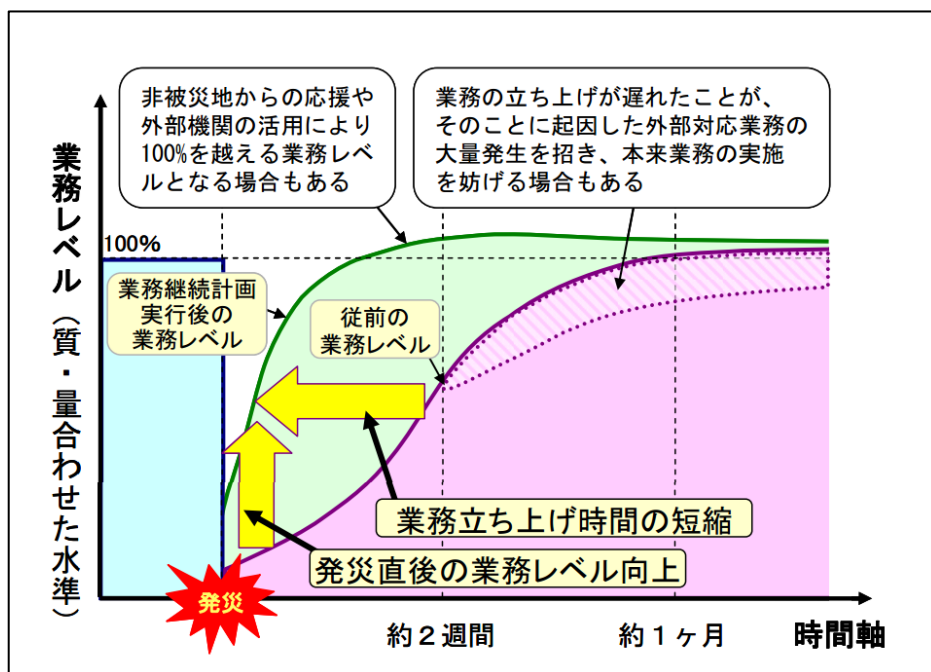
区 分	内 容	頻 度
定例会	予算・決算等	2回／年
運営委員会	予算・決算等、その他	2回／年
担当課長会議	協議、連絡、その他	随時

(2) 災害対策

大規模な地震等の災害が発生した際、本組合はライフラインとしての廃棄物処理のみならず、災害応急対策活動及び災害からの復旧・復興活動に伴う災害廃棄物の処理を行う施設として、災害時であっても長期間停止することの出来ない廃棄物処理業務を担っており、業務を適切に継続するための体制づくりが求められています。

① 業務継続計画（BCP）[再掲]

大規模地震等の災害発生により、ヒト、モノ、情報及びライフライン等利用できる資源に制約がある状況下において、非常時に優先する業務を特定するとともに、その業務の継続に必要な資源の確保・配分や、そのための手続きの簡素化、指揮命令系統の明確化等について必要な措置を講じるため、本組合において業務継続計画（BCP）の策定を検討します。業務継続計画の実践に伴う効果のイメージは、図 4-9 に示すとおりです。



出典：内閣府「地震発生時における地方公共団体の業務継続の手引きとその解説」

図 4-9 業務継続計画の実践に伴う効果のイメージ

② 災害廃棄物処理計画

災害時は、各構成市町が各々の災害廃棄物処理計画に基づき一次仮置場を開設し、当施設などに搬入します。本組合では最終処分場を災害廃棄物の仮置場として利用が可能な場所と定め、必要に応じて二次仮置場として提供します。

災害時に本組合は、通常的生活ごみに加え、災害によって発生した可燃性廃棄物を受け入れます。通常的生活ごみ以外に災害廃棄物を処理できる余力及び受け入れ可能な性状の廃棄物は、表 4-10 に示すとおりです。

なお、公衆衛生を保全するため早急に処理が必要な災害廃棄物については優先的に受け入れます。災害時の優先順位と受入可能な廃棄物については、表 4-11 のとおりで

す。


表 4-10 災害廃棄物処理可能量

施設名	処理能力	年間処理能力	年間処理実績	余力	処理可能量
	t/日	t/年	t/年	t/年	t/3年
西濃環境保全センター	270	78,840	52,625	26,125	71,843

※県災害廃棄物処理計画と同様に、処理可能量は 2.75 年で算出。

※年間処理能力は 292 日稼働で算出

表 4-11 災害時の優先順位と受入可能な廃棄物

優先順位	ごみの種類		特徴
高  低	生活系ごみ	緊急の医療行為に伴い発生した廃棄物	嘔吐物や血の着いたガーゼ等で、避難所や被災者の自宅から発生したもの。
		使用済み簡易トイレ 使用済みおむつ	簡易トイレのポリマーで固められたし尿や使用済みおむつ。感染症予防や衛生面を考慮し、早急に処理を行う必要がある。
		腐敗性廃棄物 (生ごみ)	ハエ等の害虫や悪臭の発生が懸念される。袋に入れて分別保管し、早急に処理を行う。
		その他燃やせるごみ	袋に入れて分別保管し、処理を行う。
	災害廃棄物	可燃性 災害廃棄物	災害によって発生した廃棄物の中でも可燃性であり、1 辺 50cm 以下に破砕されたもの。

第5章 計画の推進

1. 計画の推進と公表

本計画を効率的に推進するため、運営委員会等への進捗状況の報告を行い、「計画」(Plan)・「実行」(Do)・「評価」(Check)・「見直し」(Action) のいわゆる PDCA サイクルで継続的に本計画を実行した結果を評価し、点検・見直しを行うとともに、新たな施策の検討を実施していきます。

また、本計画を広く周知するため、ホームページ等で公開し、積極的に情報の提供を行います。

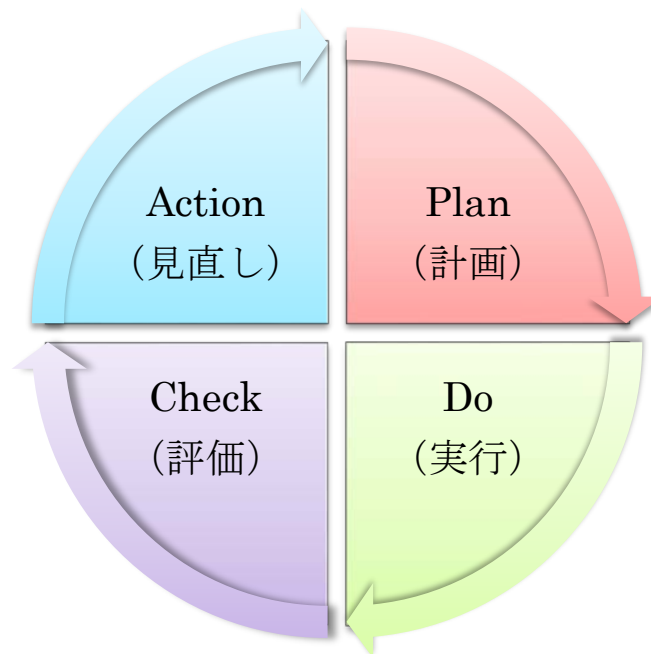


図5 PDCA サイクル

資料編

資料1	地域の概況	41
1.	本組合の構成	41
2.	位置と自然環境	41
(1)	位置	41
(2)	地勢	41
(3)	気象	42
3.	社会環境	44
(1)	人口	44
(2)	土地利用	52
(3)	産業（事業所数・就業者数）	53
資料2	ごみ量の実績及び将来予測	55
1.	ごみ量の実績及び将来予測（削減対策前）	55

資料 1 地域の概況

1. 本組合の構成

本組合は、大垣市、瑞穂市、本巣市、安八郡（神戸町、輪之内町、安八町）、揖斐郡（揖斐川町、大野町、池田町）及び本巣郡（北方町）の3市7町によって構成されています。

2. 位置と自然環境

(1) 位置

本組合の構成市町は、図 6-1 に示すとおり岐阜県の西部に位置し、北は福井県、西は滋賀県に接しています。

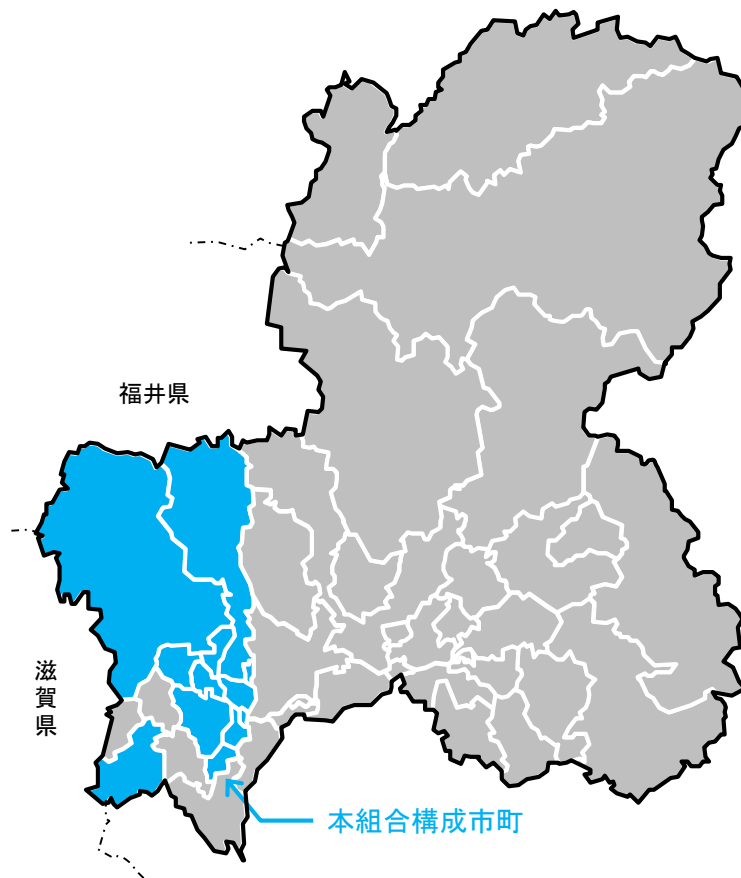


図 6-1 本組合構成市町位置図

(2) 地勢

本組管内の多くは、揖斐川水系の流域に属しています。揖斐川は、揖斐川町の冠山（標高 1,257m）に源を発し、深い山間渓谷を流下し、揖斐川町で濃尾平野に出て、平野部で広大な扇状地を形成しています。

揖斐郡の山間地域では、伊吹の修験者や木地師の文化等の影響を受け、太鼓踊りやお茶の生産など独自の文化を形成してきました。一方平野部では、洪水から耕地や集落を守るために、その周囲に堤防をめぐらせた輪中文化を形成してきました。

(3) 気象

本組合管内の気候は、主に太平洋側気候ですが、北部の山間地域は日本海側気候に属しています。本組合管内に設置されている気象観測所の平成30年度の観測記録は表6-1及び図6-2に示すとおりです。

春先から夏にかけて南東の季節風が吹き、揖斐川・根尾川の上流域では雨が多くなります。また、秋の終わり頃になると「伊吹おろし」という強風が吹き、寒さが一段と厳しくなります。

表 6-1 地域気象観測記録（平成30年度）

項目	大垣(大垣市)				揖斐川(揖斐川町)				樽見(本巣市根尾)			
	降水量 (mm)	平均 気温 (°C)	最高 気温 (°C)	最低 気温 (°C)	降水量 (mm)	平均 気温 (°C)	最高 気温 (°C)	最低 気温 (°C)	降水量 (mm)	平均 気温 (°C)	最高 気温 (°C)	最低 気温 (°C)
1月	62.5	3.5	7.5	0.1	113.0	2.9	7.4	-0.9	168.5	0.6	4.3	-2.2
2月	18.0	4.2	9.1	-0.2	40.5	3.4	9.0	-1.4	85.5	0.2	5.2	-3.5
3月	198.5	10.3	15.9	5.0	186.0	10.2	16.3	4.3	241.5	7.4	13.7	2.0
4月	272.0	15.8	21.0	10.8	337.0	15.8	21.8	10.2	397.0	12.9	19.1	7.5
5月	306.5	19.3	24.3	14.7	409.5	19.2	25.1	14.1	362.0	16.3	22.2	10.8
6月	225.5	23.1	27.8	19.2	305.5	23.0	28.5	18.5	381.5	20.3	25.4	15.9
7月	326.0	29.1	33.8	25.6	514.5	28.9	34.5	24.4	988.5	26.0	31.3	21.9
8月	114.5	29.1	34.2	25.4	169.0	28.8	34.6	24.4	460.5	25.7	31.3	21.5
9月	508.5	23.3	27.3	20.2	542.5	22.8	27.0	19.5	768.5	20.5	24.6	17.4
10月	48.5	18.5	23.4	14.2	80.0	18.1	23.5	13.6	141.0	15.1	20.6	10.9
11月	45.0	13.5	18.6	8.7	61.0	13.2	18.9	8.3	90.5	10.1	16.1	5.8
12月	88.5	7.6	11.8	3.6	126.5	7.2	11.7	3.0	187.5	5.1	9.0	1.7
平均	184.5	16.4	21.2	12.3	240.4	16.1	21.5	11.5	356.0	13.4	18.6	9.1

出典：気象庁

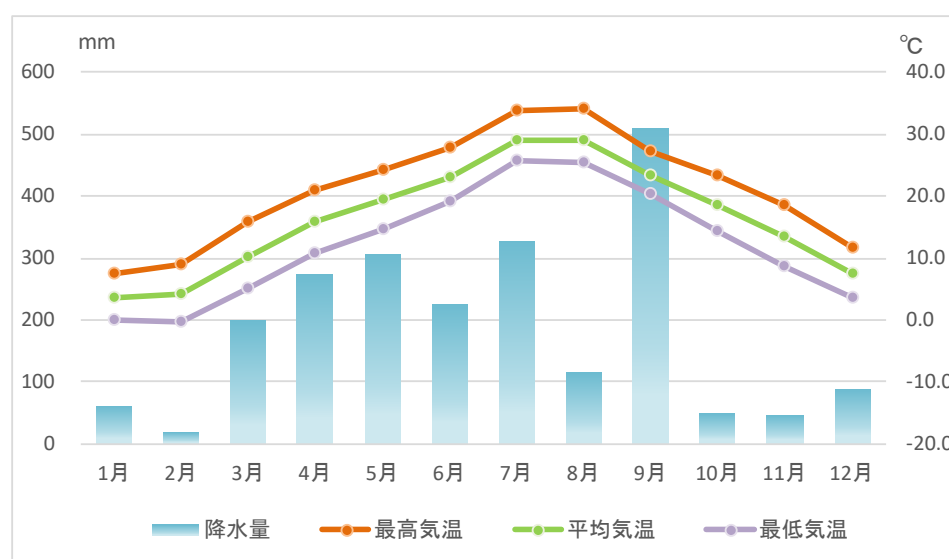


図 6-2-1 気温と降水量 (大垣地域気象観測所・大垣市)

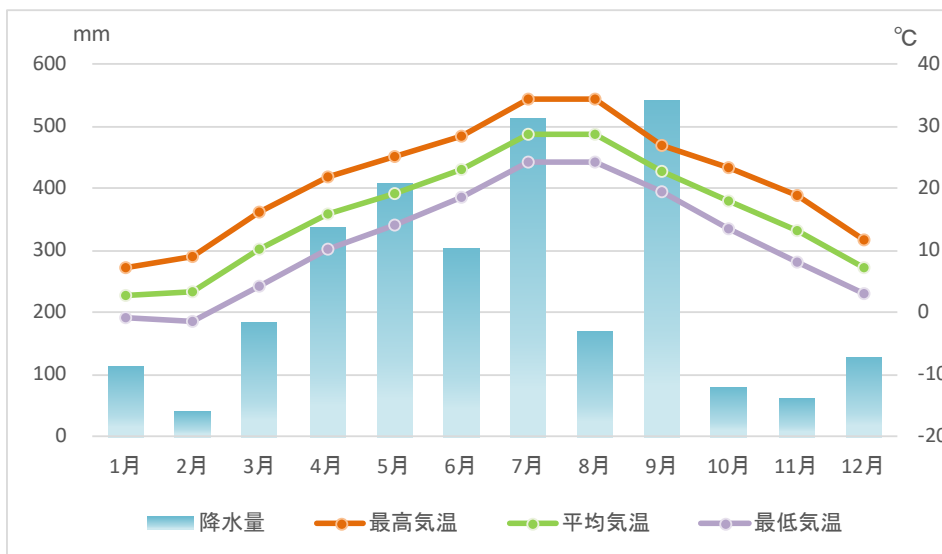


図 6-2-2 気温と降水量（揖斐川地域気象観測所・揖斐川町）

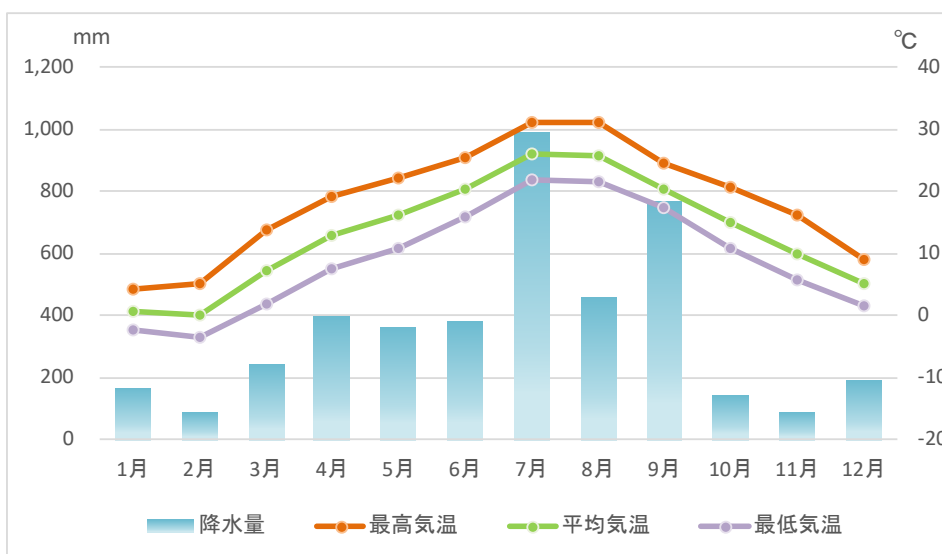


図 6-2-3 気温と降水量（樽見地域気象観測所・本巣市根尾）

3. 社会環境

(1)人口

① 人口の推移

平成 30 年 4 月 1 日現在の本組合管内の人口は、3 市 7 町合計で 271,703 人です。

表 6-2 及び図 6-3 に示す過去 5 年間の推移を見ると、本組合管内の人口はゆるやかに減少しています。

構成市町別に見ると、瑞穂市はゆるやかに増加しています。北方町は年により増減しており、その他の市町は概ね年 1%以内の増減率で横ばいに推移しています。

表 6-2 構成市町における人口の推移

和暦	H26	H27	H28	H29	H30
西暦	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
大垣市 ^{※1}	52,498	52,522	52,369	52,324	52,186
瑞穂市	53,373	53,599	53,909	54,191	54,735
本巣市	35,271	35,020	34,803	34,501	34,276
神戸町	19,775	19,719	19,569	19,466	19,259
輪之内町	9,913	9,910	9,905	9,736	9,748
安八町	15,204	15,241	15,168	15,073	15,016
揖斐川町	22,576	22,225	21,962	21,516	21,138
大野町	23,832	23,699	23,371	23,211	23,024
池田町	24,671	24,487	24,329	24,113	23,951
北方町	18,313	18,252	18,352	18,477	18,370
合計	275,426	274,674	273,737	272,608	271,703

各年4月1日

※1：大垣市の計画収集区域内の人口

出典：西濃環境整備組合

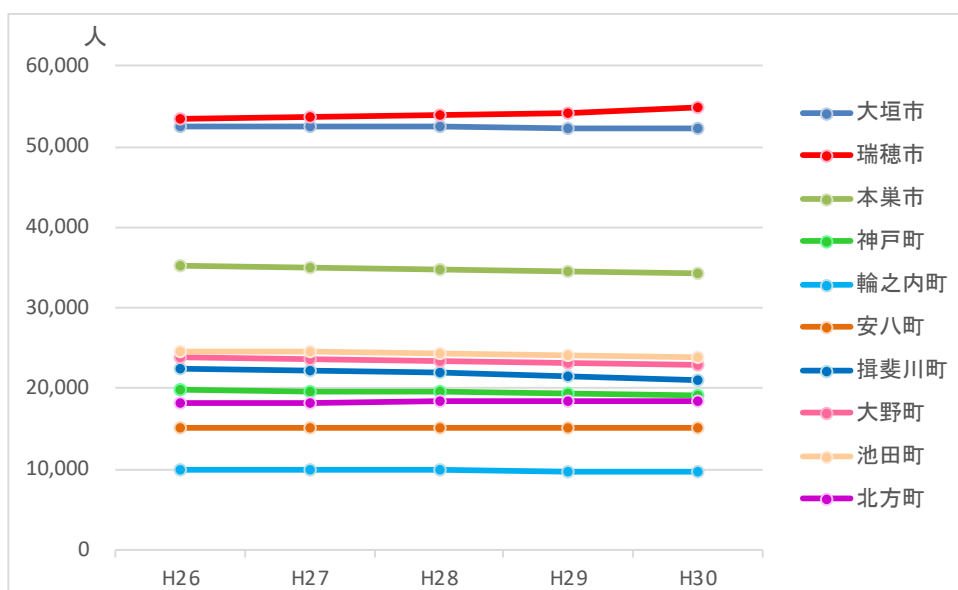


図 6-3 構成市町における人口の推移

② 5歳階級別人口

構成市町における5歳階級別人口は、表6-3及び図6-4に示すとおりです。

生産年齢人口比率は、瑞穂市が64%と最も高く、北方町が63%、輪之内町が62%と続き、この1市2町は若い世代が多くなっています。

年少人口比率は概ね15%前後ですが、揖斐川町は11%と低く、老年人口比率も35%と構成市町の中でも特に少子高齢化が進行しています。

年齢構造割合を、全国と組合全体で比較を行うと、年少人口比率は高いものの、生産年齢人口は少なく、老年人口も高くなっており、高齢化の進行が懸念されます。

表6-3-1 構成市町における5歳階級別人口

平成27年10月1日現在 単位:人

区分	年齢等	大垣市		瑞穂市		本巣市		神戸町		輪之内町	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
年少人口	0～4歳	3,476	3,305	1,604	1,461	649	627	344	368	259	227
	5～9歳	3,632	3,485	1,524	1,399	889	817	419	403	242	257
	10～14歳	3,878	3,891	1,423	1,344	955	912	505	450	248	278
生産年齢人口	15～19歳	4,007	4,032	1,579	1,419	1,101	841	549	476	270	245
	20～24歳	3,851	3,772	1,721	1,494	692	683	419	424	251	249
	25～29歳	4,286	4,056	1,749	1,669	701	699	425	408	275	273
	30～34歳	4,649	4,484	1,898	1,855	840	889	492	441	333	317
	35～39歳	5,353	5,143	2,085	2,002	1,063	1,041	621	599	340	328
	40～44歳	6,168	6,057	2,359	2,258	1,353	1,328	743	746	431	389
	45～49歳	5,375	5,392	1,808	1,848	1,073	1,069	629	587	311	288
	50～54歳	4,821	5,127	1,522	1,569	912	961	512	559	263	267
	55～59歳	4,432	4,789	1,331	1,372	966	1,040	531	561	283	310
老年人口	60～64歳	4,933	5,218	1,484	1,532	1,145	1,268	677	757	354	355
	65～69歳	5,673	6,056	1,646	1,775	1,418	1,482	863	896	368	361
	70～74歳	4,486	5,179	1,304	1,340	1,037	1,110	677	716	251	237
	75～79歳	3,556	4,486	885	999	774	918	524	545	154	216
	80～84歳	2,552	3,641	576	792	532	767	322	431	144	185
	85～89歳	1,421	2,465	277	536	286	585	153	283	57	170
	90～94歳	383	1,143	88	243	98	308	40	125	31	95
	95～99歳	75	310	14	67	27	84	9	34	3	21
100歳以上	14	46	3	12	4	12	1	14	0	6	
合計	77,021	82,077	26,880	26,986	16,515	17,441	9,455	9,823	4,868	5,074	
総計	159,098		53,866		33,956		19,278		9,942		
年少人口比率	13.6%		16.3%		14.3%		12.9%		15.2%		
生産年齢人口比率	60.3%		64.1%		57.9%		57.9%		61.7%		
老年人口比率	26.1%		19.6%		27.8%		29.2%		23.1%		

出典：国勢調査

表 6-3-2 構成市町における 5 歳階級別人口

平成27年10月1日現在 単位:人

区分	年齢等	安八町		揖斐川町		大野町		池田町		北方町	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
年少人口	0～4歳	296	307	321	299	462	440	539	493	446	380
	5～9歳	384	362	409	404	598	549	607	577	468	452
	10～14歳	414	427	479	478	730	673	663	685	477	474
生産年齢人口	15～19歳	415	387	502	473	717	663	695	682	532	539
	20～24歳	318	307	358	415	560	501	556	605	440	474
	25～29歳	342	291	429	413	497	539	606	518	509	500
	30～34歳	400	394	456	438	623	601	609	577	540	575
	35～39歳	489	480	543	524	712	674	745	707	624	658
	40～44歳	641	611	701	636	910	891	927	960	721	828
	45～49歳	493	455	557	591	710	797	776	858	606	666
	50～54歳	431	413	647	647	764	771	761	700	543	624
	55～59歳	406	446	696	759	665	686	702	707	480	500
	60～64歳	487	478	872	888	772	880	789	817	516	568
老年人口	65～69歳	589	616	1,048	1,032	906	985	914	995	601	628
	70～74歳	455	487	701	844	710	736	725	793	446	592
	75～79歳	340	369	624	783	481	572	530	602	320	412
	80～84歳	206	297	500	735	317	486	375	581	227	309
	85～89歳	115	198	302	541	195	333	206	386	123	217
	90～94歳	37	94	84	266	63	182	70	210	35	80
	95～99歳	8	35	15	79	15	54	16	61	7	28
100歳以上	3	2	3	10	3	5	0	13	0	3	
合計		7,269	7,456	10,247	11,255	11,410	12,018	11,811	12,527	8,661	9,507
総計		14,725		21,502		23,428		24,338		18,168	
年少人口比率		14.9%		11.1%		14.7%		14.6%		14.8%	
生産年齢人口比率		59.0%		53.7%		59.5%		58.7%		63.0%	
老年人口比率		26.2%		35.2%		25.8%		26.6%		22.2%	

出典：国勢調査

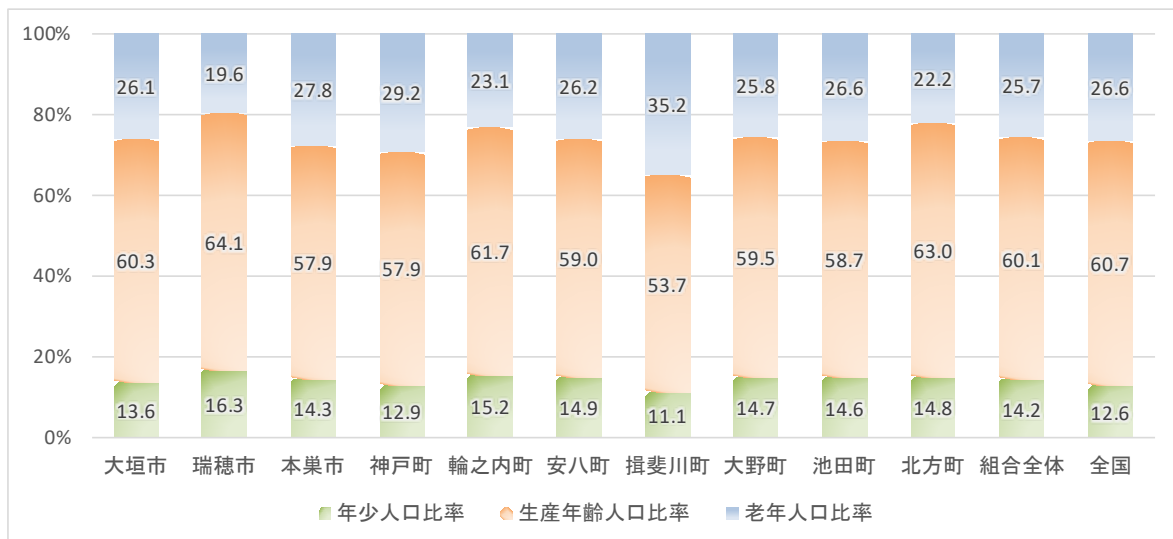


図 6-4 構成市町における年齢構造割合

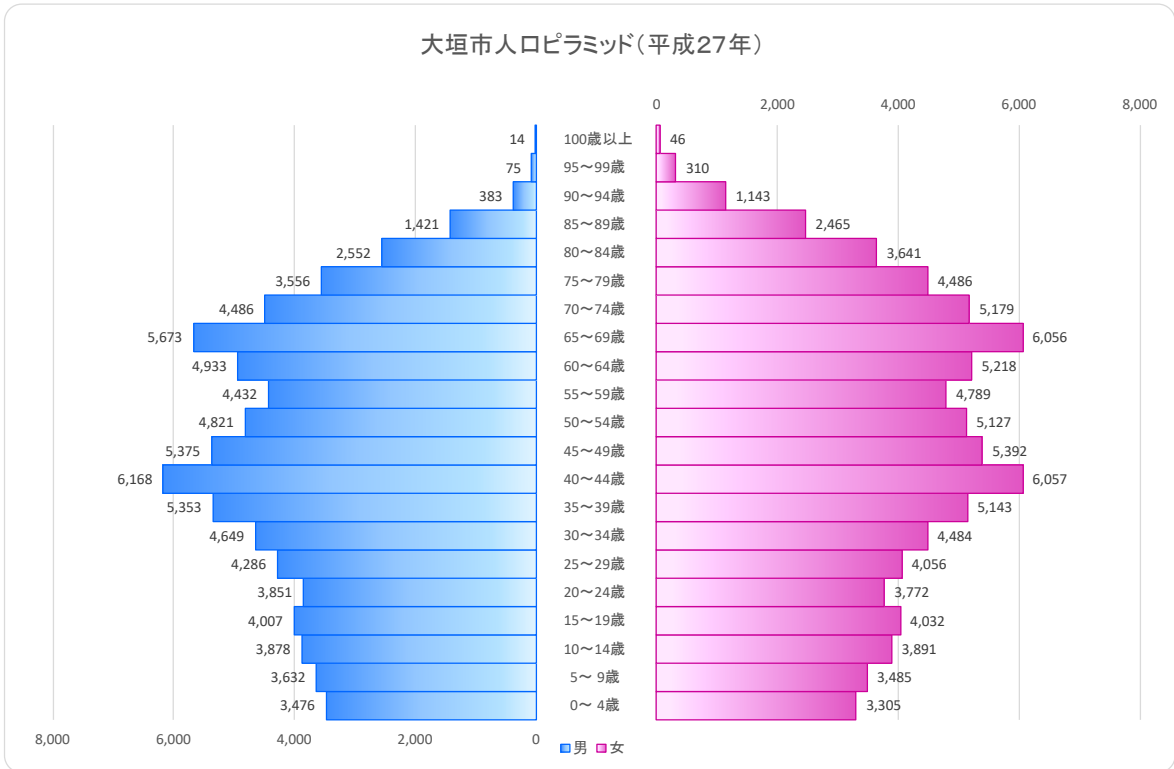


図 6-5-1 大垣市における 5 歳階級別人口 (人口ピラミッド)

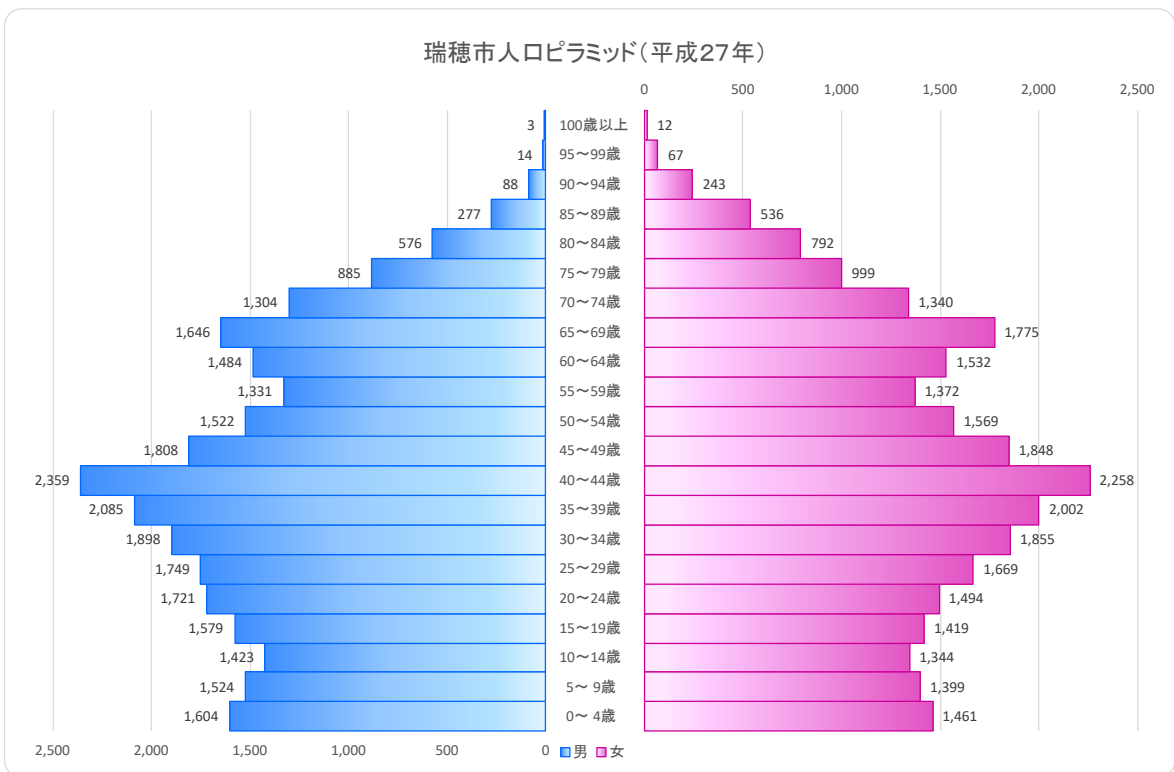


図 6-5-2 瑞穂市における 5 歳階級別人口 (人口ピラミッド)

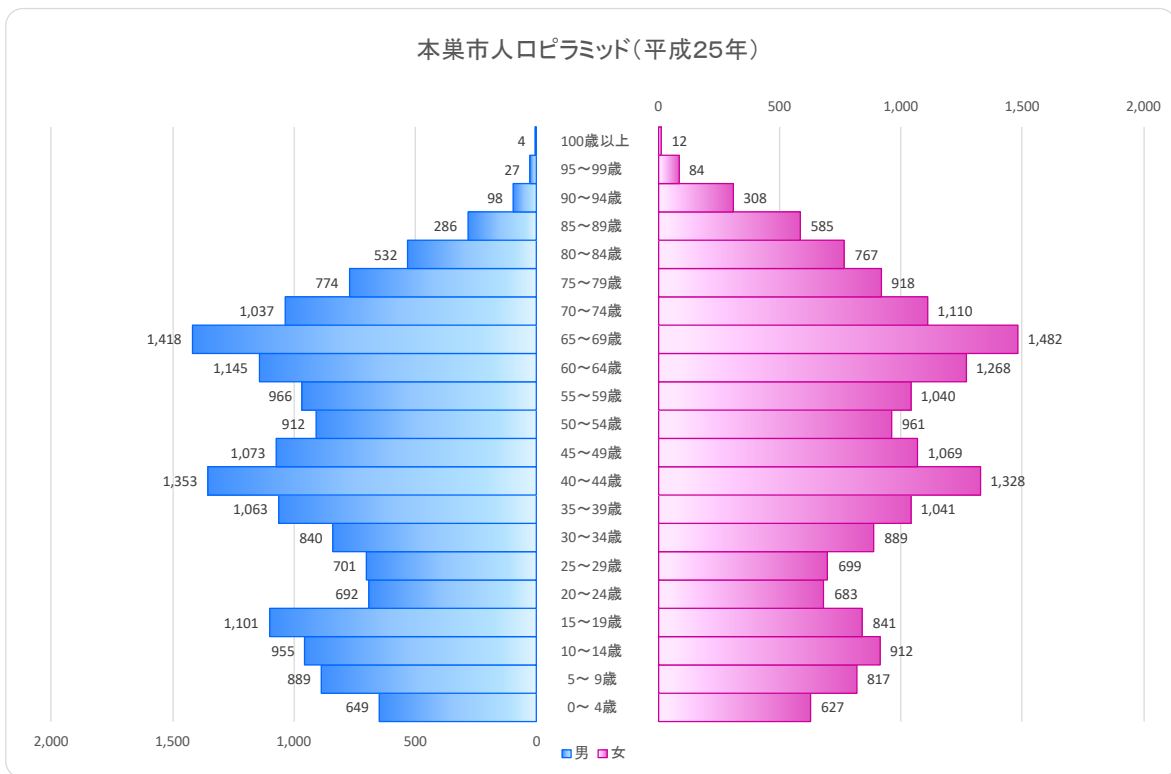


図 6-5-3 本巢市における 5 歳階級別人口 (人口ピラミッド)

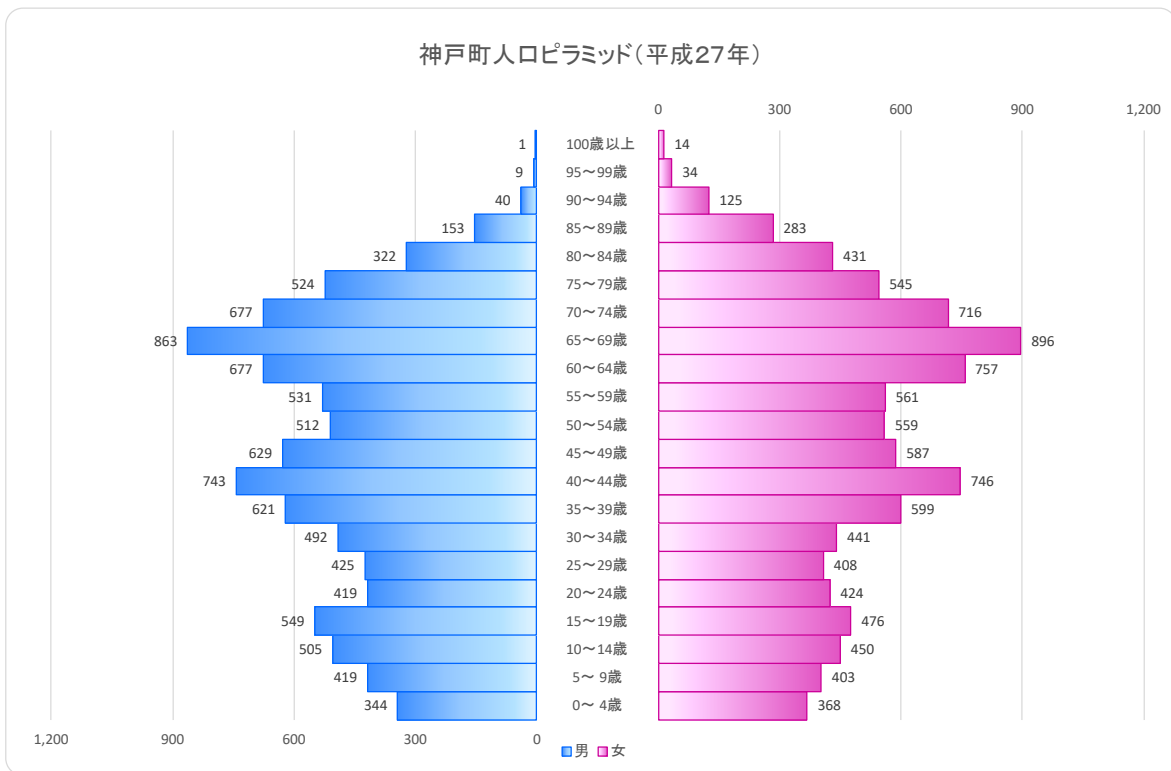


図 6-5-4 神戸町における 5 歳階級別人口 (人口ピラミッド)

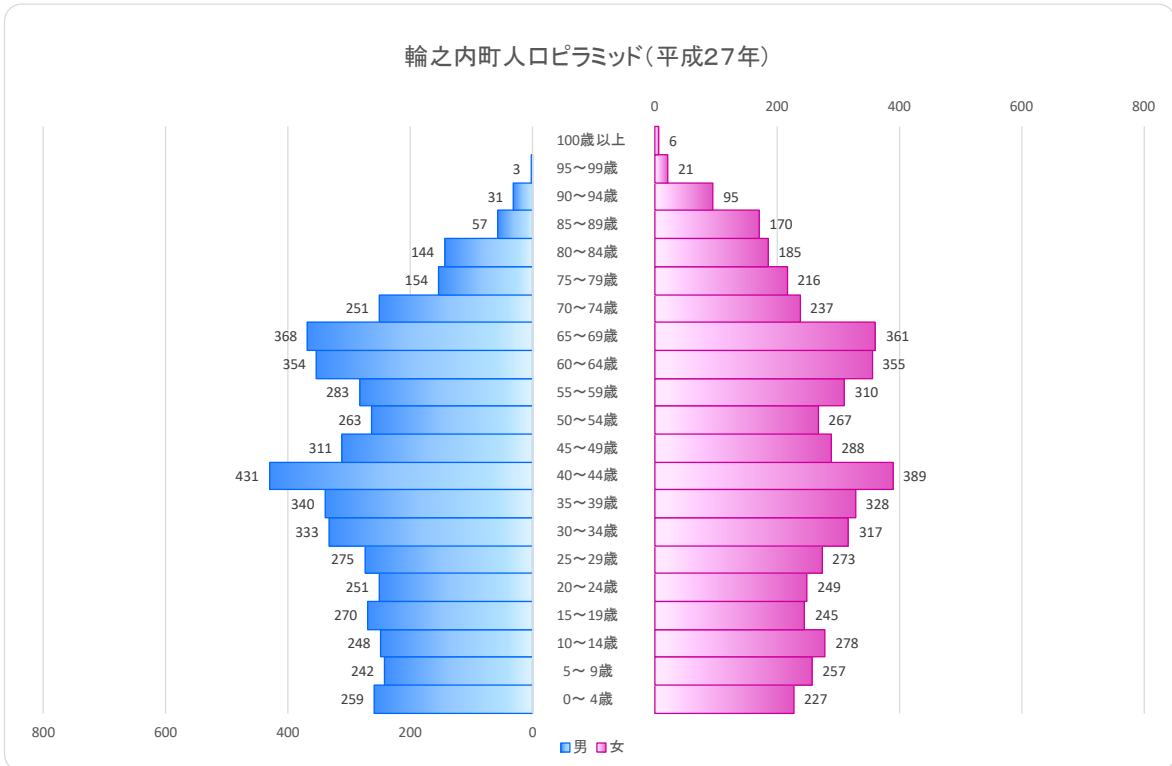


図 6-5-5 輪之内町における 5 歳階級別人口 (人口ピラミッド)

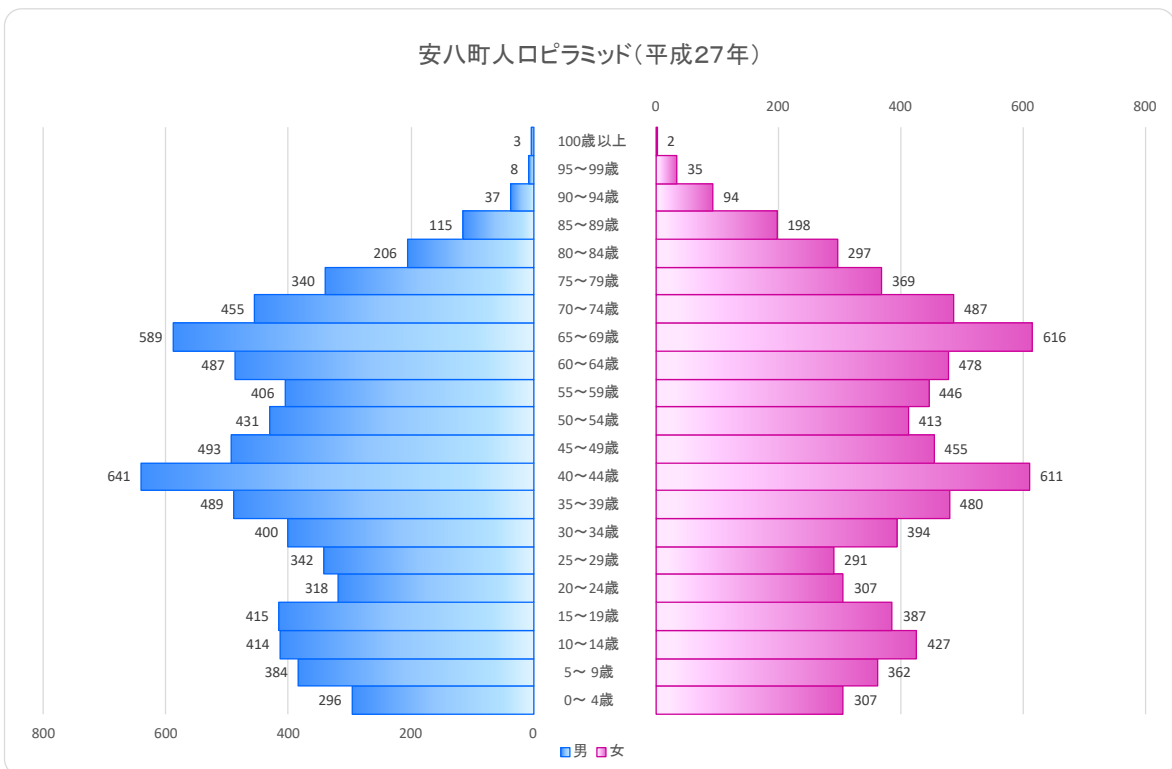


図 6-5-6 安八町における 5 歳階級別人口 (人口ピラミッド)

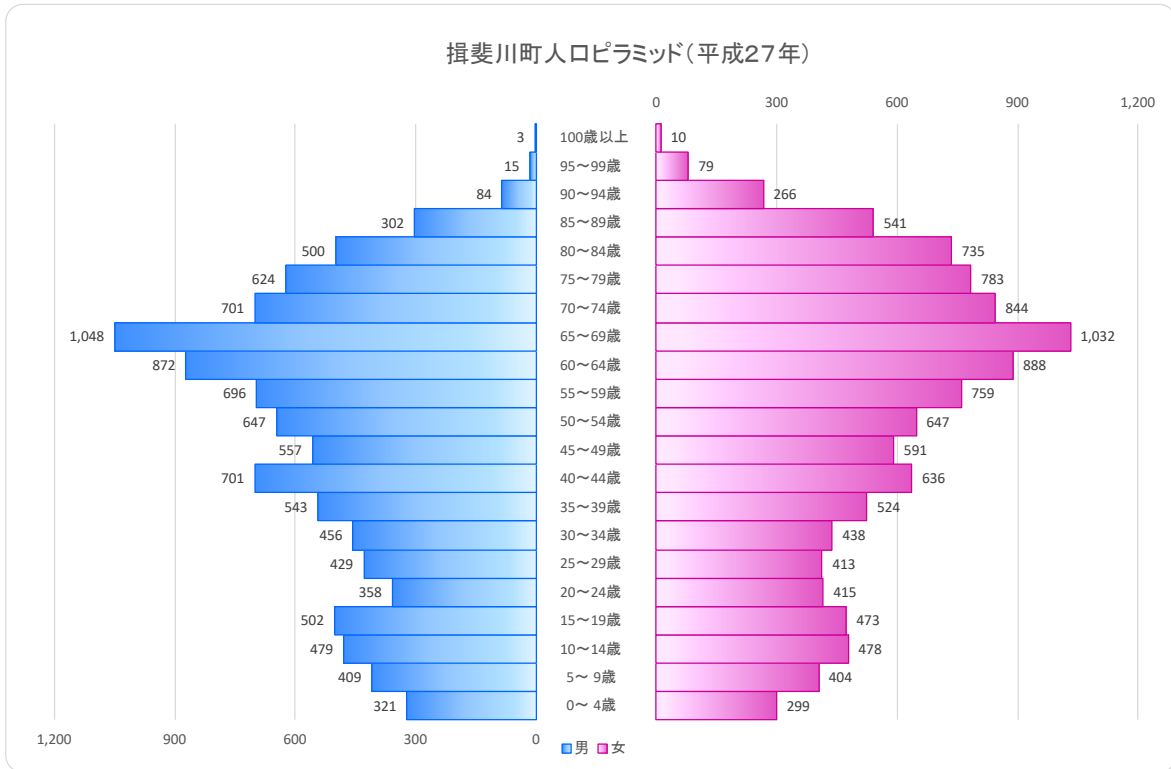


図 6-5-7 揖斐川町における 5 歳階級別人口 (人口ピラミッド)

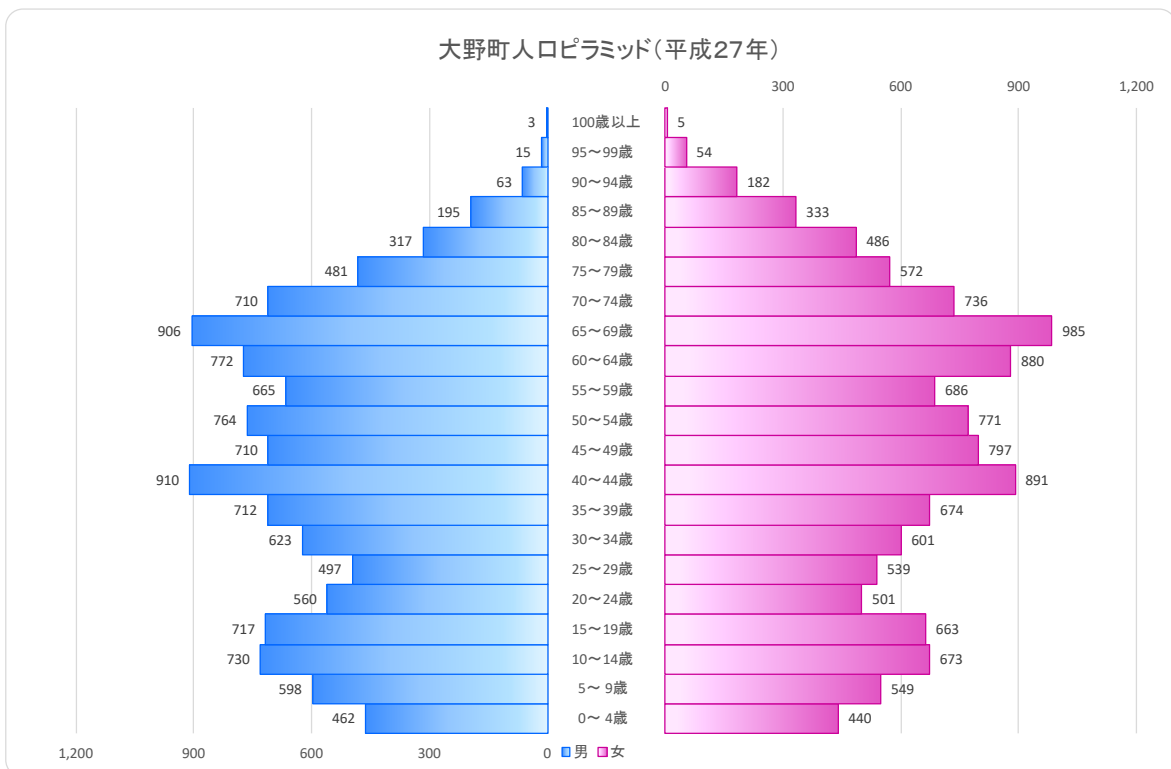


図 6-5-8 大野町における 5 歳階級別人口 (人口ピラミッド)

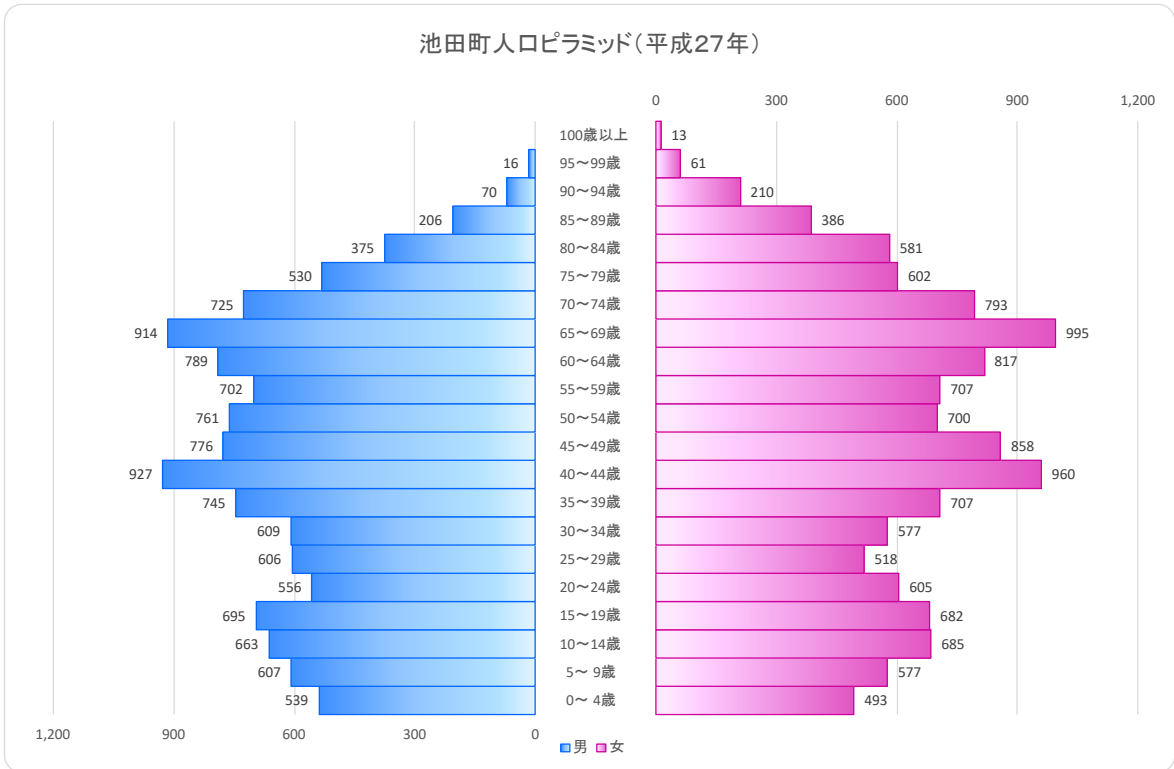


図 6-5-9 池田町における 5 歳階級別人口 (人口ピラミッド)

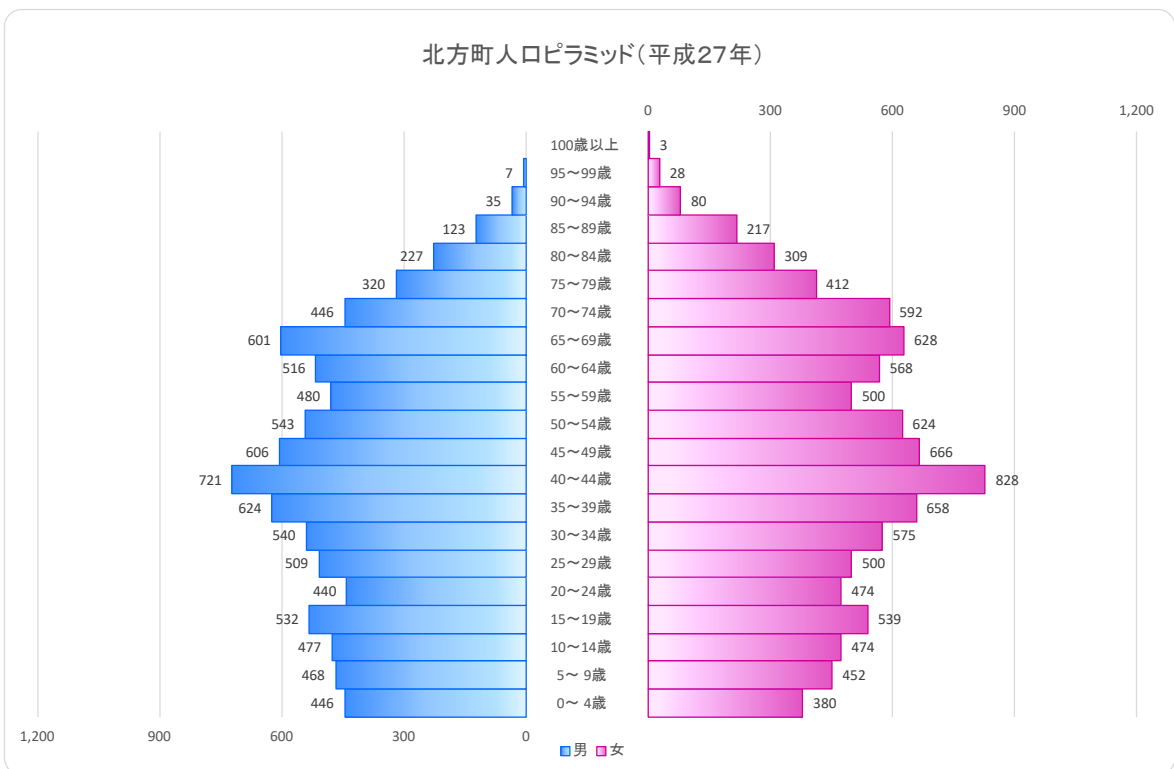


図 6-5-10 北方町における 5 歳階級別人口 (人口ピラミッド)

(2) 土地利用

構成市町の土地利用の割合は、表 6-4 及び図 6-6 に示すとおりです。

本組合地域のうち、最も大きな面積を占める揖斐川町と次いで大きな本巢市において、森林の占める割合が最も大きいことから、組合全体の土地利用割合も、森林が 70%以上を占めています。

平野部の構成市町では田・畑及び水面・河川の割合が多く、北方町は宅地の割合が最も多くなっています。

表 6-4 土地利用の状況

単位：ha

項目	田	畑	森林	原野	水面・河川・水路	道路	宅地	その他	合計
大垣市	2,770	217	10,838	116	1,063	1,301	2,674	1,678	20,657
瑞穂市	715	273	—	—	555	404	803	69	2,819
本巢市	1,320	608	32,180	143	798	778	841	797	37,465
神戸町	727	128	—	—	269	253	464	36	1,877
輪之内町	1,010	125	—	—	396	240	354	108	2,233
安八町	641	151	—	—	379	225	378	42	1,816
揖斐川町	1,390	369	73,184	641	2,278	898	689	894	80,343
大野町	846	336	549	—	426	363	522	378	3,420
池田町	898	137	1,541	20	191	319	554	219	3,879
北方町	94	45	—	2	17	87	238	35	518
組合全体	10,411	2,389	118,292	922	6,372	4,868	7,517	4,256	155,027

出典：岐阜県都市政策課

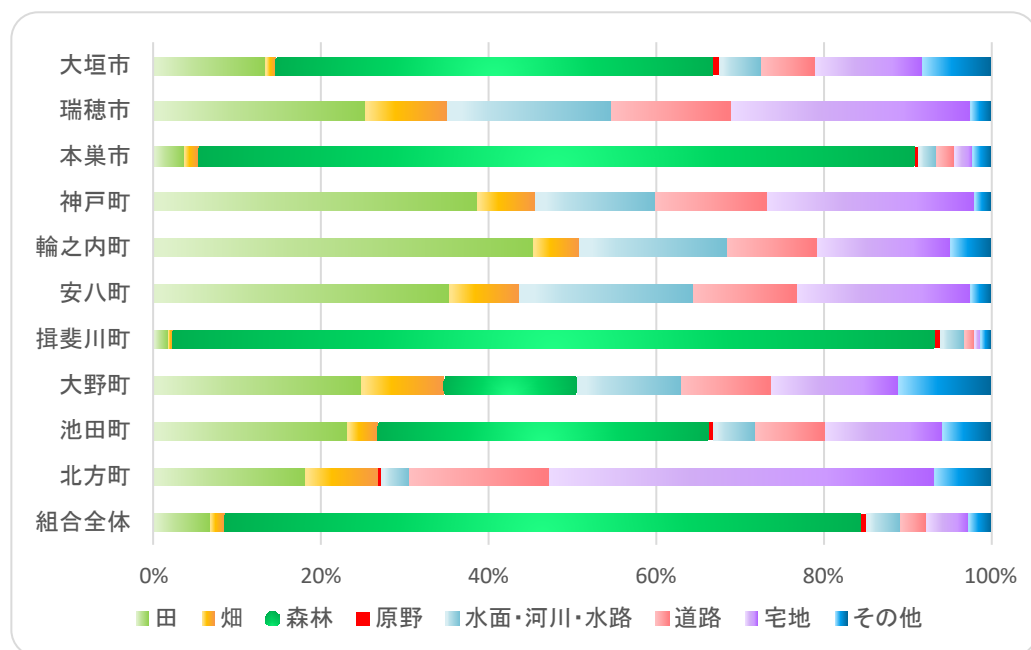


図 6-6 土地利用の割合

(3) 産業（事業所数・就業者数）

本組合管内の事業所数は、平成 28 年現在 16,123 事業所あり、就業者数は 156,761 人です。産業別の事業所数では、卸売・小売業が最も多く約 24%を占め、次いでサービス業が 17%と続いています。就業者数は、製造業が 28%を占め、次いで卸売・小売業が 19%となっています。

表 6-5 産業大分類別事業所数（平成 28 年度）

項目	大垣市	瑞穂市	本巣市	神戸町	輪之内町	安八町	揖斐川町	大野町	池田町	北方町	組合全体
農林漁業	24	11	32	9	10	3	17	10	7	0	124
建設業	617	186	188	74	69	62	203	120	127	52	1,698
製造業	851	233	169	136	93	116	125	116	155	44	2,038
運輸・郵便	143	64	16	16	20	14	19	14	19	7	332
卸売・小売業	1,992	416	381	135	76	94	242	184	181	198	3,899
金融・保険	166	33	15	6	2	5	11	10	13	13	274
不動産業	463	146	40	12	6	6	14	15	26	40	768
学術研究	303	70	30	27	8	6	31	22	37	26	560
宿泊・飲食	960	202	177	71	20	39	100	68	74	137	1,848
教育・学習支援	279	65	43	31	5	7	19	46	43	36	574
医療・福祉	527	123	84	50	24	25	58	62	58	73	1,084
サービス業	1,302	317	240	134	92	70	206	143	147	141	2,792
その他	92	8	7	1	0	1	9	6	4	4	132
合計	7,719	1,874	1,422	702	425	448	1,054	816	891	771	16,123

出典：総務省「経済センサス」

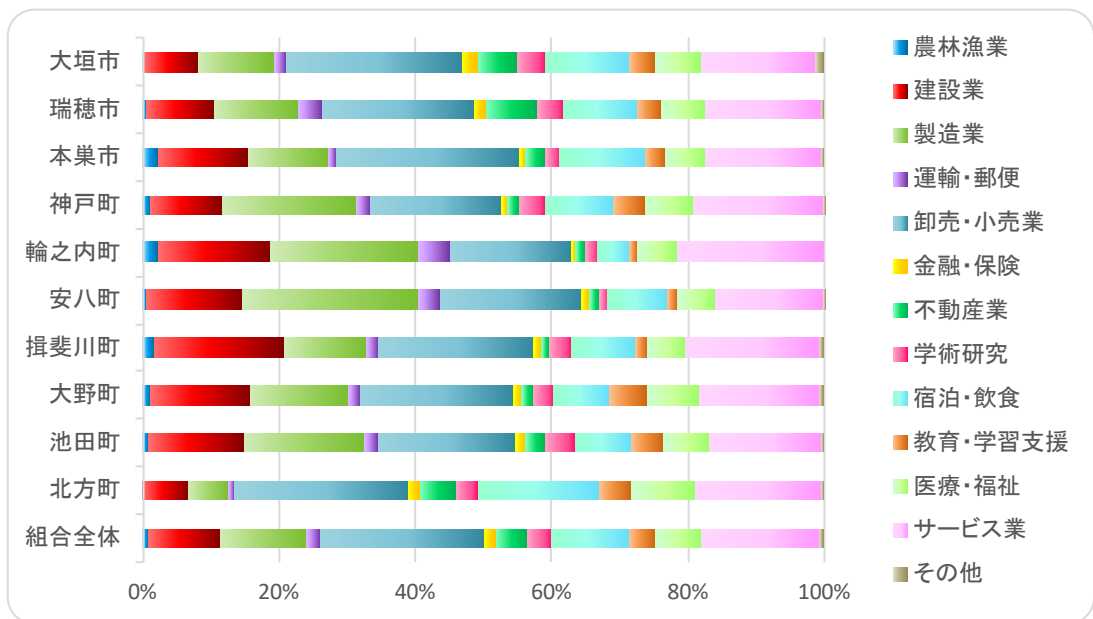


図 6-7 産業大分類別事業所の割合（平成 28 年度）

表 6-6 産業大分類別就業者数（平成 28 年度）

項目	大垣市	瑞穂市	本巣市	神戸町	輪之内町	安八町	揖斐川町	大野町	池田町	北方町	組合全体
農林漁業	337	114	266	76	137	69	314	103	49	0	1,473
建設業	4,738	1,144	1,030	354	368	445	1,291	614	679	327	10,990
製造業	18,803	4,144	4,210	3,730	2,021	2,029	2,702	2,063	3,713	488	43,903
運輸・郵便	4,436	1,436	297	247	452	380	369	171	150	103	8,041
卸売・小売業	14,937	3,993	3,116	908	923	703	1,034	1,218	1,095	1,533	29,460
金融・保険	3,384	365	146	71	13	87	150	68	92	117	4,493
不動産業	1,301	445	134	79	23	100	42	59	62	112	2,357
学術研究	1,566	228	181	86	23	109	158	93	219	92	2,755
宿泊・飲食	7,372	1,523	1,374	308	82	233	481	411	425	937	13,146
教育・学習支援	1,916	717	470	101	7	34	93	206	196	222	3,962
医療・福祉	7,990	1,647	1,046	572	272	321	1,301	1,054	1,003	756	15,962
サービス業	8,845	2,130	1,375	461	618	459	913	1,180	904	747	17,632
その他	2,355	32	26	14	0	6	67	32	40	15	2,587
合計	77,980	17,918	13,671	7,007	4,939	4,975	8,915	7,272	8,627	5,449	156,761

出典：総務省「経済センサス」

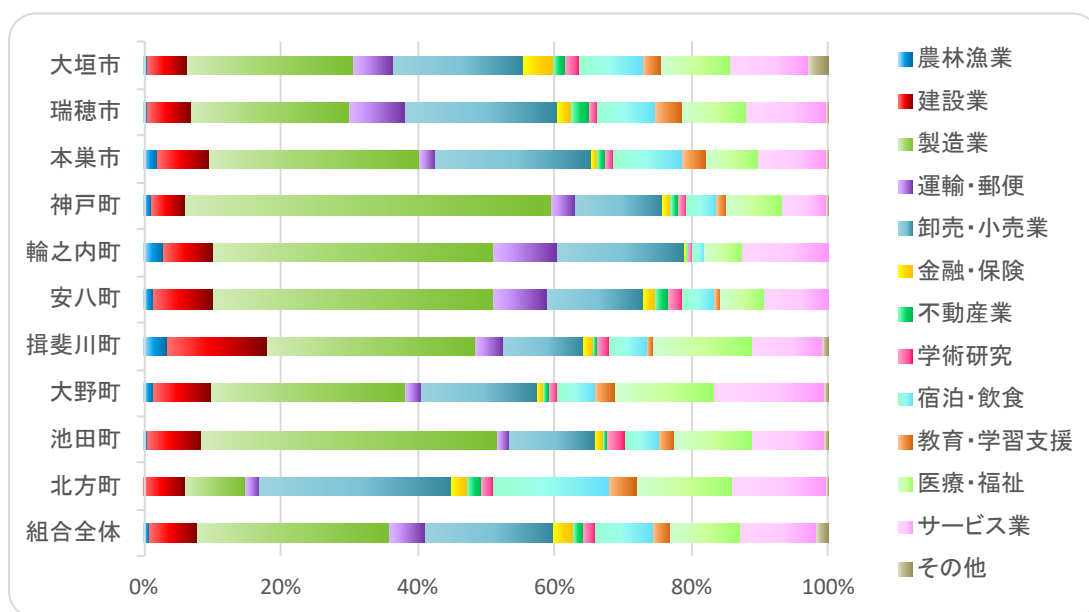


図 6-8 産業大分類別就業者の割合（平成 28 年度）

資料2 ごみ量の実績及び将来予測

1. ごみ量の実績及び将来予測（削減対策前）

今後ごみ処理において新たな施策を行わず、現行の施策を保持した場合のごみ発生量の見込みは、人口の将来予測値及び過去5年間のごみ排出量の実績に基づいて、トレンド推計式により将来数値を推計しました。これは、『ごみ処理施設構造指針解説』に示された方法です。

トレンド推計は、過去の実績をグラフにプロットしてその規則性を見出し、さらにその規則性により適合する傾向線を最小二乗法により算出する方法です。

5式の予測式より、5つの推計値が得られます。これらの中から1つの推計値を選定する際に、相関係数が最も高い推計式の推計値を採用しましたが、増加や減少の幅が著しく大きいものや減少により値がゼロとなるような、現実性の低いものについては採用を見送りました。また、相関係数が低いものについては、下記の一般値を根拠に、過去の実績との相関が認められないものとして、別途平均値等を用いました。

トレンド推計に用いる5式の予測式は、表7-1に示すとおりです。

表7-1 トrend推計式

一次傾向式： $y = a + b\chi$	y ：ごみ量
二次傾向式： $y = a + b\chi + c\chi^2$	χ ：経過年数
一次指数式： $y = a \cdot b^x$	k ：飽和係数
べき乗式： $y = y_0 + a \cdot \chi^b$	a, b, c ：係数
ロジスティック式： $y = k \div (1 + e^{(b-ax)})$	y_0 ：基準年量

【トレンド推計式の説明】

- 一次傾向式：トレンドを直線に置き換えたときの推計式です。式の b はこの勾配の値で、 b が正符号のとき上昇傾向となり、 b が負符号のとき下降傾向となります。推計値が少なく出る傾向があります。
- 二次傾向式：トレンドを放物線に置き換えたときの推計式です。徐々に増加又は減少を示す曲線です。
- 一次指数式：過去のデータの伸びを一定の比率で増加又は減少させる公式です。増加あるいは減少傾向は急激になります。過去のデータが同比率的な傾向のときにあてはめやすい。
- べき乗式：過去のデータの伸びを徐々に増加させる公式です。実績値が増加し続ける条件で、最もあてはまりが良い。
- ロジスティック式：増加又は減少傾向を加速度的に伸ばした後、徐々に鈍化させ一定の値で飽和に達する推計式です。
- 相関係数：

$0 \leq r \leq 0.2$	：ほとんど相関がない
$0.2 \leq r \leq 0.4$	：やや相関がある
$0.4 \leq r \leq 0.7$	：かなり相関がある
$0.7 \leq r \leq 1$	：強い相関がある

2. ごみ種別の採用推計式および採用理由

表 7-2 に示すそれぞれのごみについて、ごみ発生量の将来予測を行いました。

資源のうち、市町村収集と集団回収の 2 通りの排出方法がある古紙類、布類及び金属類は、家庭から出る同じごみであることから、合算してトレンド推計を行い排出先ごとに案分しました。

表 7-2 発生量の予測を行ったごみの種別と処理方法

分別項目		表番号	処理
生活系ごみ	家庭系ごみ	可燃ごみ	表 7-5 焼却（西濃環境）
		不燃ごみ	表 7-6 破碎（西南濃粗大）
		不燃ごみ（直接最終処分）	表 7-7 埋立
		粗大ごみ	表 7-8 破碎（西南濃粗大）
	資源	びん	表 7-9 資源化
		缶	表 7-10 資源化
		ペットボトル	表 7-11 資源化
		プラスチック製容器包装	表 7-12 資源化
		紙類	表 7-13 資源化
		布類	表 7-14 資源化
		金物類	表 7-15 資源化
		小型家電	表 7-16 資源化
		蛍光灯	表 7-17 資源化
		乾電池	表 7-18 資源化
ライター	表 7-19 資源化		
事業系ごみ	可燃ごみ	表 7-20 焼却（西濃環境）	
	不燃ごみ	表 7-21 破碎（西南濃粗大）	

注 1) 「紙類」は、「ダンボール」、「新聞」、「チラシ」、「雑誌」、「雑紙」及び「紙製容器包装」を合算したものです。

(1) 資源発生量の予測

資源の収集方法及び収集品目は、構成市町ごとに異なります。そのため、「紙製容器包装」、「飲料用パック」、「ダンボール」、「新聞」、「チラシ」、「雑誌」、「雑がみ」を合算し、「紙類」として予測しました。

また、「市町村収集」と「集団回収」で品目が重なる「紙類」「布類」「金属類」はそれぞれ合算し、1人1日あたりごみ量を算出してトレンド予測を行い、過去5年間の実績の割合で案分しました。

資源種別の市町村収集と集団回収の比率は、表 7-3 に示すとおりです。

表 7-3 資源種別の市町村収集と集団回収の比率

ごみ種別		市町村収集	集団回収
紙類	紙製容器包装	2.5%	—
	飲料用パック	0.3%	—
	ダンボール	6.3%	12.1%
	新聞	9.1%	32.3%
	チラシ	2.1%	6.0%
	雑誌	8.3%	20.8%
	雑がみ	0.1%	0.2%
布類		53.7%	46.3%
金属類		93.2%	6.8%

(2) 個別ごみ量のトレンド推計式採用理由

個別ごみ量のトレンド推計式の採用理由は、以下のとおりです。

個別ごみ量のトレンド推計表は、64 頁から 80 頁の表 7-5 から表 7-21 のとおりです。

区分	表 7-5 生活系可燃ごみ	表 7-6 不燃ごみ
採用式	一次指数曲線	べき曲線
採用理由	過去 5 年間の実績は概ね横ばいです。相関係数の一番高い二次傾向線の値は過小となるため、「一次指数曲線」を採用しました。	過去 5 年間の実績は概ね横ばいです。相関係数の一番高い二次傾向線の値は過大となるため、もっとも現状に近い「べき曲線」を採用しました。
備考	—	—

区 分	表 7-7 不燃ごみ (直接最終処分)	表 7-8 粗大ごみ
採用式	実績の平均値	ロジスティック曲線
採用理由	過去 5 年間の実績に大幅な変動があったため、どの推計式も過大もしくは過小となることから、「実績の平均値」を採用しました。	過去 5 年間の実績は概ね横ばいです。相関係数の一番高い二次傾向線の値は過大となるため、もっとも現状に近い「ロジスティック曲線」を採用しました。
備考	—	—

区 分	表 7-9 びん	表 7-10 缶
採用式	一次傾向線	一次傾向線
採用理由	過去 5 年間の実績はやや減少傾向です。相関係数の一番高い二次傾向線の値は過小となるため、「一次傾向線」を採用しました。	過去 5 年間の実績は概ね横ばいです。相関係数の一番高い二次傾向線の値は過大となるため、「一次傾向線」を採用しました。
備考	—	—

区 分	表 7-11 ペットボトル	表 7-12 プラスチック製容器包装
採用式	一次傾向線	一次傾向線
採用理由	過去 5 年間の実績はやや増加傾向です。相関係数の一番高い二次傾向線の値は過大となるため、「一次傾向線」を採用しました。	過去 5 年間の実績は概ね横ばいです。相関係数の一番高い二次傾向線の値は過小となるため、「一次傾向線」を採用しました。
備考	—	—

区 分	表 7-13 紙類	表 7-14 布類
採用式	過去 5 年間の平均値	過去 5 年間の平均値
採用理由	過去 5 年間の実績は減少傾向です。相関係数の一番高い二次傾向線の値は過大となり、その他の推計式も過大もしくは過小となるため、「実績の平均値」を採用しました。	過去 5 年間の実績は減少傾向です。相関係数の一番高い二次傾向線の値は過大となり、その他の推計式も過大もしくは過小となるため、「実績の平均値」を採用しました。
備考	市町村収集、集団回収を合算	市町村収集、集団回収を合算

区 分	表 7-15 金属類	表 7-16 小型家電
採用式	べき曲線	ロジスティック曲線
採用理由	過去 5 年間の実績はやや増加傾向です。相関係数の一番高い「べき曲線」を採用しました。	過去 5 年間の実績は増加傾向です。相関係数の一番高い二次傾向線の値は過大となるため、「ロジスティック曲線」を採用しました。
備考	市町村収集、集団回収を合算	—

区 分	表 7-17 蛍光灯・電球	表 7-18 乾電池
採用式	一次傾向線	二次傾向線
採用理由	過去 5 年間の実績は増加傾向から減少傾向に推移しています。相関係数の高い二次傾向線の値は過小となるため、「一次傾向線」を採用しました。	過去 5 年間の実績はやや増加傾向です。相関係数の高い「二次傾向線」を採用しました。
備考	—	—

区 分	表 7-19 ライター	表 7-20 事業系可燃ごみ
採用式	一次指数曲線	一次指数曲線
採用理由	過去 5 年間の実績はやや減少傾向です。相関係数の高い二次傾向線の値は過大となるため、「一次指数曲線」を採用しました。	過去 5 年間の実績は概ね横ばいです。相関係数の一番高い二次傾向線の値は過大となるため、「一次指数曲線」を採用しました。
備考	—	—

区 分	表 7-21 事業系不燃ごみ
採用式	一次指数曲線
採用理由	過去 5 年間の実績は全体として減少傾向です。相関係数の高い二次傾向線の値は過小となるため、「一次指数曲線」を採用しました。
備考	—

表 7-4 (1) ごみ排出量の実績と予測

項目		単位	実績				
			H26	H27	H28	H29	H30
			2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
処理区域内人口		人	275,426	274,674	273,737	272,608	271,703
目標値	可燃ごみ1人1日排出量	g/人・日	595	595	595	599	602
	リサイクル率	%	19.7	18.6	17.8	18.4	19.1
	1日あたり最終処分量	t/日	9.4	10.1	8.6	7.9	8.2
地域計画の目標値	事業系総排出量	t/年	23,216	22,886	23,191	23,437	23,732
	1事業所当たりの排出量	t/年	1.416	1.408	1.438	1.466	1.497
	生活系総排出量	t/年	49,138	49,676	48,015	48,093	48,418
	1人当たりの排出量	t/年	154	157	153	155	156
	1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g/人・日	423	430	418	423	428
	直接資源化量	t/年	6,618	6,435	6,242	5,966	5,995
	総資源化量	t/年	15,290	14,354	13,353	13,773	14,396
	埋立最終処分量	t/年	3,431	3,702	3,121	2,875	2,996
	1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	768	768	752	753	761
ごみ総排出量		t/年	77,662.16	77,199.14	75,124.22	74,890.94	75,460.60
生活系ごみ(収集+直接搬入)		t/年	49,138.16	49,676.48	48,014.90	48,092.69	48,418.37
可燃ごみ		t/年	36,661.27	36,948.40	36,348.35	36,240.46	35,992.25
不燃ごみ		t/年	414.33	464.32	402.60	512.34	496.65
不燃ごみ(直接最終処分)		t/年	1,597.61	1,719.92	909.53	982.18	1,031.19
粗大ごみ		t/年	3,740.36	3,995.05	4,004.14	4,277.20	4,793.25
資源ごみ		t/年	6,618.34	6,434.94	6,241.99	5,965.68	5,994.89
びん		t/年	1,484.59	1,463.57	1,434.48	1,387.25	1,365.56
缶		t/年	482.21	496.55	497.01	450.69	515.07
ペットボトル		t/年	544.03	566.35	559.50	572.79	589.15
プラスチック製容器包装		t/年	700.53	695.64	777.66	740.52	723.05
紙製容器包装		t/年	160.85	139.26	149.96	154.89	132.96
紙製容器包装		t/年	141.05	118.74	132.75	138.00	113.72
飲料用パック		t/年	19.80	20.52	17.21	16.89	19.24
古紙類		t/年	1,937.43	1,722.43	1,557.92	1,424.42	1,349.02
ダンボール		t/年	484.46	435.46	390.23	334.01	335.39
新聞		t/年	692.83	609.56	551.98	495.96	442.83
チラシ		t/年	126.02	124.22	110.16	93.92	97.86
雑誌		t/年	629.09	548.58	500.31	494.16	467.07
雑がみ		t/年	5.04	4.62	5.24	6.39	5.88
布類		t/年	312.14	294.26	254.46	243.13	229.34
金属類		t/年	497.76	534.72	538.01	527.14	570.95
小型家電		t/年	83.03	107.60	103.50	109.49	166.66

見通し										
R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	R4 (H34)	R5 (H35)	R6 (H36)	R7 (H37)	R8 (H38)	R9 (H39)	R10 (H40)	R11 (H41)
2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
271,468	270,196	269,471	268,741	268,012	267,295	266,588	265,774	264,975	264,174	263,374
602	604	606	608	610	611	613	615	617	619	621
18.8	18.8	18.8	18.8	18.7	18.7	18.7	18.7	18.6	18.6	18.6
8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.0
23,840	23,943	24,113	24,285	24,525	24,632	24,807	24,985	25,231	25,342	25,523
1.517	1.537	1.562	1.587	1.617	1.639	1.665	1.693	1.725	1.749	1.778
48,662	48,267	48,108	47,924	47,879	47,579	47,407	47,206	47,130	46,816	46,622
156	156	155	155	155	155	155	154	155	154	154
427	426	426	425	425	424	423	423	422	422	421
6,272	6,230	6,239	6,223	6,239	6,214	6,206	6,195	6,189	6,162	6,148
14,417	14,323	14,328	14,301	14,327	14,268	14,249	14,224	14,229	14,163	14,133
2,975	2,961	2,957	2,954	2,958	2,950	2,947	2,943	2,947	2,939	2,935
771	773	775	777	779	781	783	785	787	789	791
76,572	76,243	76,251	76,228	76,422	76,208	76,200	76,166	76,336	76,107	76,080
48,662	48,267	48,108	47,924	47,879	47,579	47,407	47,206	47,130	46,816	46,622
36,025	35,693	35,529	35,369	35,301	35,047	34,890	34,719	34,642	34,379	34,211
486.78	492.75	500.05	511.00	519.72	525.60	532.90	536.55	545.34	547.50	554.80
973.56	967.25	963.60	959.95	958.92	956.30	952.65	949.00	947.94	945.35	941.70
4,794.60	4,770.55	4,759.60	4,748.65	4,747.02	4,723.10	4,708.50	4,693.90	4,692.12	4,668.35	4,653.75
6,272.25	6,229.74	6,239.12	6,223.10	6,239.08	6,213.82	6,205.97	6,194.65	6,189.48	6,161.81	6,147.58
1,339.56	1,303.05	1,277.50	1,248.30	1,222.44	1,189.90	1,160.70	1,131.50	1,105.32	1,073.10	1,043.90
497.76	496.40	500.05	500.05	505.08	503.70	507.35	511.00	512.40	514.65	514.65
596.58	605.90	616.85	624.15	636.84	646.05	657.00	664.30	677.10	686.20	693.50
757.62	762.85	773.80	781.10	794.22	799.35	810.30	817.60	830.82	835.85	846.80
150.06	149.65	149.65	146.00	146.40	146.00	146.00	146.00	146.40	146.00	146.00
131.76	131.40	131.40	127.75	128.10	127.75	127.75	127.75	128.10	127.75	127.75
18.30	18.25	18.25	18.25	18.30	18.25	18.25	18.25	18.30	18.25	18.25
1,599.42	1,584.10	1,584.10	1,576.80	1,577.46	1,569.50	1,565.85	1,565.85	1,555.50	1,551.25	1,543.95
395.28	390.55	390.55	390.55	387.96	386.90	386.90	386.90	384.30	383.25	383.25
556.32	551.15	551.15	547.50	549.00	547.50	543.85	543.85	541.68	540.20	536.55
109.80	109.50	109.50	109.50	109.80	109.50	109.50	109.50	106.14	105.85	105.85
530.70	525.60	525.60	521.95	523.38	518.30	518.30	518.30	516.06	514.65	511.00
7.32	7.30	7.30	7.30	7.32	7.30	7.30	7.30	7.32	7.30	7.30
267.18	262.80	262.80	262.80	263.52	262.80	259.15	259.15	259.86	259.15	259.15
552.66	551.15	551.15	554.80	556.32	558.45	558.45	558.45	559.98	558.45	562.10
168.36	182.50	200.75	215.35	230.58	240.90	251.85	259.15	267.18	270.10	277.40

表 7-4 (2) ごみ排出量の実績と予測

項目	単位	実績						
		H26	H27	H28	H29	H30		
		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年		
その他資源(バイオマス)	その他資源(バイオマス)	t/年	400.71	399.25	352.89	338.64	336.50	
	生ごみ	t/年	42.23	50.08	49.40	52.51	52.01	
	廃食用油	t/年	8.38	8.37	6.59	4.84	7.19	
	剪定枝などの木質ごみ	t/年	350.10	340.80	296.90	281.30	277.30	
	その他資源	t/年	15.07	15.33	16.60	16.72	16.63	
	有害・危険ごみ	有害・危険ごみ	t/年	106.25	113.85	108.29	114.83	110.14
		蛍光灯・電球	t/年	46.97	51.97	50.20	46.08	44.60
		乾電池	t/年	37.43	43.09	39.23	51.71	48.49
		ライター	t/年	21.85	18.79	18.86	17.04	17.05
	事業系ごみ	事業系ごみ	t/年	23,215.61	22,885.83	23,190.90	23,436.98	23,731.63
		可燃ごみ	t/年	23,167.76	22,818.49	23,140.65	23,380.49	23,691.90
		不燃ごみ	t/年	47.85	67.34	50.25	56.49	39.73
	集団回収量	集団回収量	t/年	5,308.39	4,636.83	3,918.41	3,361.28	3,310.60
		古紙類	古紙類	t/年	4,898.33	4,266.33	3,629.64	3,095.14
ダンボール			t/年	790.46	708.79	614.63	546.50	541.69
新聞			t/年	2,199.77	1,911.87	1,663.32	1,430.14	1,349.39
チラシ			t/年	428.22	398.61	301.85	219.46	253.54
雑誌			t/年	1,467.92	1,237.37	1,039.74	889.74	882.35
雑がみ		t/年	11.97	9.70	10.10	9.30	9.66	
布類		t/年	293.91	257.25	211.57	209.25	187.29	
金属類		t/年	39.28	40.34	38.89	38.19	36.71	
その他		t/年	76.87	72.91	38.32	18.70	49.98	
中間処理	焼却量	t/年	52,904.45	53,718.71	53,103.64	52,956.67	53,372.48	
	可燃ごみ量	t/年	49,821.66	50,414.35	50,102.26	49,941.32	49,956.45	
	不燃・粗大ごみの焼却量	t/年	3,082.79	3,304.36	3,001.38	3,015.35	3,416.03	
	不燃ごみ・粗大ごみ処理量	t/年	4,202.54	4,526.71	4,456.99	4,846.03	5,329.63	
	うち西南濃粗大処理量	t/年	1,505.10	1,674.65	1,569.80	1,747.11	2,065.49	
資源化	総資源化量	t/年	15,289.67	14,354.41	13,352.88	13,773.01	14,396.40	
	資源ごみ量(生活系+事業系)	t/年	6,618.34	6,434.94	6,241.99	5,965.68	5,994.89	
	集団回収量	t/年	5,308.39	4,636.83	3,918.41	3,361.28	3,310.60	
	不燃・粗大ごみの資源化量	t/年	706.66	739.74	720.02	742.27	837.49	
	焼却処理によるスラグ・メタル	t/年	2,656.28	2,542.90	2,472.45	3,703.78	4,253.42	
リサイクル率	%	19.7	18.6	17.8	18.4	19.1		
最終処分	最終処分量	t/年	3,430.90	3,702.47	3,121.46	2,875.26	2,995.84	
	不燃・粗大ごみの最終処分量	t/年	128.99	135.01	96.84	156.43	210.16	
	焼却処理による最終処分量	t/年	1,686.79	1,831.53	2,097.82	1,719.42	1,737.33	
	直接最終処分量	t/年	1,615.12	1,735.93	926.80	999.41	1,048.35	
	最終処分率	%	4.70	5.10	4.40	4.00	4.20	

見通し										
R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	R4 (H34)	R5 (H35)	R6 (H36)	R7 (H37)	R8 (H38)	R9 (H39)	R10 (H40)	R11 (H41)
2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
328.41	316.74	307.87	299.15	291.58	282.57	274.72	267.05	260.28	252.46	245.53
49.02	48.81	48.77	48.73	48.82	48.65	48.61	48.58	48.69	48.53	48.51
7.04	7.01	7.00	7.00	7.01	6.98	6.98	6.97	6.99	6.97	6.96
272.35	260.92	252.10	243.42	235.75	226.94	219.13	211.50	204.60	196.96	190.06
14.64	14.60	14.60	14.60	14.64	14.60	14.60	14.60	14.64	14.60	14.60
109.80	113.15	116.80	113.15	113.46	113.15	116.80	113.15	113.46	113.15	113.15
43.92	43.80	43.80	40.15	40.26	40.15	40.15	36.50	36.60	36.50	36.50
51.24	54.75	58.40	58.40	62.22	62.05	65.70	65.70	65.88	65.70	69.35
14.64	14.60	14.60	14.60	10.98	10.95	10.95	10.95	10.98	10.95	7.30
23,840.14	23,943.28	24,113.37	24,285.28	24,524.57	24,632.03	24,807.23	24,984.62	25,231.31	25,342.32	25,523.00
23,796.22	23,902.03	24,074.31	24,248.05	24,489.43	24,598.81	24,775.84	24,954.69	25,203.13	25,315.67	25,497.81
43.92	41.25	39.06	37.23	35.14	33.22	31.39	29.93	28.18	26.65	25.19
4,069.92	4,033.25	4,029.60	4,018.65	4,018.68	3,996.75	3,985.80	3,974.85	3,974.76	3,949.30	3,934.70
3,747.84	3,715.70	3,712.05	3,701.10	3,700.26	3,679.20	3,668.25	3,660.95	3,660.00	3,639.05	3,624.45
636.84	631.45	631.45	631.45	629.52	627.80	624.15	624.15	622.20	620.50	616.85
1,694.58	1,682.65	1,679.00	1,671.70	1,672.62	1,664.40	1,660.75	1,653.45	1,654.32	1,646.15	1,638.85
314.76	310.25	310.25	310.25	311.10	306.60	306.60	306.60	307.44	302.95	302.95
1,090.68	1,080.40	1,080.40	1,076.75	1,076.04	1,069.45	1,065.80	1,065.80	1,065.06	1,058.50	1,054.85
10.98	10.95	10.95	10.95	10.98	10.95	10.95	10.95	10.98	10.95	10.95
230.58	226.30	226.30	226.30	226.92	226.30	226.30	222.65	223.26	222.65	222.65
40.26	40.15	40.15	40.15	40.26	40.15	40.15	40.15	40.26	40.15	40.15
51.24	51.10	51.10	51.10	51.24	51.10	51.10	51.10	51.24	47.45	47.45
53,831.04	53,627.04	53,629.77	53,639.53	53,788.54	53,654.03	53,664.59	53,662.17	53,809.65	53,667.93	53,673.84
50,167.85	49,978.13	49,984.87	49,995.89	50,141.46	50,020.68	50,037.52	50,043.64	50,187.50	50,061.70	50,073.64
3,663.19	3,648.91	3,644.90	3,643.64	3,647.08	3,633.35	3,627.07	3,618.53	3,622.15	3,606.23	3,600.20
5,325.30	5,304.55	5,298.71	5,296.88	5,301.88	5,281.92	5,272.79	5,260.38	5,265.64	5,242.50	5,233.74
1,878.67	1,875.23	1,873.66	1,873.57	1,875.87	1,869.28	1,866.54	1,863.62	1,866.90	1,860.06	1,858.36
14,417.46	14,322.75	14,327.69	14,301.00	14,326.71	14,268.26	14,248.61	14,224.17	14,228.56	14,163.22	14,133.32
6,272.25	6,229.74	6,239.12	6,223.10	6,239.08	6,213.82	6,205.97	6,194.65	6,189.48	6,161.81	6,147.58
4,069.92	4,033.25	4,029.60	4,018.65	4,018.68	3,996.75	3,985.80	3,974.85	3,974.76	3,949.30	3,934.70
865.53	862.16	861.21	860.91	861.72	858.48	857.00	854.98	855.83	852.07	850.65
3,209.76	3,197.60	3,197.76	3,198.34	3,207.23	3,199.21	3,199.84	3,199.69	3,208.49	3,200.04	3,200.39
18.8	18.8	18.8	18.8	18.7	18.7	18.7	18.7	18.6	18.6	18.6
2,975.04	2,961.13	2,957.39	2,954.01	2,958.22	2,950.40	2,946.82	2,942.70	2,946.83	2,938.69	2,934.97
165.82	165.17	164.99	164.93	165.09	164.47	164.18	163.79	163.96	163.24	162.97
1,835.66	1,828.71	1,828.80	1,829.13	1,834.21	1,829.63	1,829.99	1,829.91	1,834.93	1,830.10	1,830.30
973.56	967.25	963.60	959.95	958.92	956.30	952.65	949.00	947.94	945.35	941.70
4.10	4.10	4.10	4.10	4.10	4.10	4.10	4.10	4.10	4.10	4.10

(3) 生活系ごみ排出量の個別予測（削減対策前）

表 7-5 生活系可燃ごみ

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	26	364.68	—	364.68	—	364.68	—	364.68	—	364.68	—	364.68
	27	367.53	2.85	367.53	2.85	367.53	2.85	367.53	2.85	367.53	2.85	367.53
	28	363.80	-3.73	363.80	-3.73	363.80	-3.73	363.80	-3.73	363.80	-3.73	363.80
	29	364.22	0.42	364.22	0.42	364.22	0.42	364.22	0.42	364.22	0.42	364.22
	30	362.93	-1.29	362.93	-1.29	362.93	-1.29	362.93	-1.29	362.93	-1.29	362.93
令和	元	362.59	-0.34	360.52	-2.41	362.59	-0.34	365.37	2.44	360.64	-2.29	364.63
	2	361.91	-0.68	357.78	-2.74	361.92	-0.67	365.29	-0.08	356.44	-4.20	
	3	361.23	-0.68	354.44	-3.34	361.24	-0.68	365.23	-0.06	349.83	-6.61	
	4	360.55	-0.68	350.52	-3.92	360.57	-0.67	365.19	-0.04	339.63	-10.20	
	5	359.86	-0.69	346.00	-4.52	359.89	-0.68	365.15	-0.04	324.29	-15.34	
	6	359.18	-0.68	340.89	-5.11	359.22	-0.67	365.12	-0.03	302.15	-22.14	
	7	358.50	-0.68	335.20	-5.69	358.55	-0.67	365.09	-0.03	272.04	-30.11	
	8	357.82	-0.68	328.91	-6.29	357.89	-0.66	365.07	-0.02	234.19	-37.85	
	9	357.14	-0.68	322.04	-6.87	357.22	-0.67	365.05	-0.02	191.07	-43.12	
	10	356.46	-0.68	314.57	-7.47	356.55	-0.67	365.03	-0.02	147.14	-43.93	
	11	355.78	-0.68	306.51	-8.06	355.89	-0.66	365.01	-0.02	107.18	-39.96	
	12	355.10	-0.68	297.87	-8.64	355.22	-0.67	365.00	-0.01	74.40	-32.78	
	13	354.42	-0.68	288.63	-9.24	354.56	-0.66	364.99	-0.01	49.74	-24.66	
	14	353.74	-0.68	278.81	-9.82	353.90	-0.66	364.97	-0.02	32.35	-17.39	
	15	353.05	-0.69	268.39	-10.42	353.24	-0.66	364.96	-0.01	20.64	-11.71	
	16	352.37	-0.68	257.38	-11.01	352.58	-0.66	364.95	-0.01	13.01	-7.63	
採 用						○						
予 測 式	$Y_t =$	$a+bt$	$a+bt+ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0+a(t-t_0)^b$	$K/(1+EXP(a-bt))$						
	a =	1737.53	-1,197,217.67	15,712.82	2.03	-980.12						
	b =	-0.68	1,188.76	1.00	-0.67	-0.48						
	c =		-0.30									
	Y ₀ =				364.68							
	t ₀ =				2,014							
	K =					367.60						
r =	0.617575	0.695092	0.617575	0.013767	0.547842							

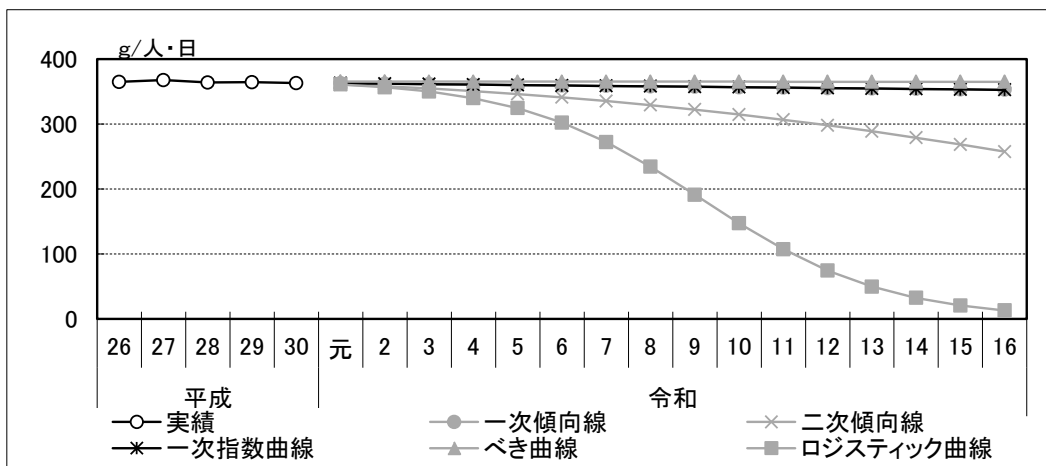


表 7-6 不燃ごみ

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
平成	26	4.12	—	4.12	—	4.12	—	4.12	—	4.12	—	4.12
	27	4.62	0.50	4.62	0.50	4.62	0.50	4.62	0.50	4.62	0.50	4.62
	28	4.03	-0.59	4.03	-0.59	4.03	-0.59	4.03	-0.59	4.03	-0.59	4.03
	29	5.15	1.12	5.15	1.12	5.15	1.12	5.15	1.12	5.15	1.12	5.15
	30	5.01	-0.14	5.01	-0.14	5.01	-0.14	5.01	-0.14	5.01	-0.14	5.01
令和	元	5.28	0.27	5.49	0.48	5.30	0.29	4.90	-0.11	5.14	0.13	4.59
	2	5.51	0.23	5.94	0.45	5.57	0.27	5.01	0.11	5.17	0.03	
	3	5.74	0.23	6.45	0.51	5.86	0.29	5.10	0.09	5.18	0.01	
	4	5.97	0.23	7.02	0.57	6.16	0.30	5.20	0.10	5.19	0.01	
	5	6.20	0.23	7.65	0.63	6.47	0.31	5.29	0.09	5.20	0.01	
	6	6.43	0.23	8.34	0.69	6.81	0.34	5.37	0.08	5.20	0.00	
	7	6.67	0.24	9.09	0.75	7.16	0.35	5.46	0.09	5.20	0.00	
	8	6.90	0.23	9.91	0.82	7.52	0.36	5.54	0.08	5.20	0.00	
	9	7.13	0.23	10.78	0.87	7.91	0.39	5.62	0.08	5.20	0.00	
	10	7.36	0.23	11.72	0.94	8.31	0.40	5.69	0.07	5.20	0.00	
	11	7.59	0.23	12.72	1.00	8.74	0.43	5.77	0.08	5.20	0.00	
	12	7.82	0.23	13.78	1.06	9.19	0.45	5.84	0.07	5.20	0.00	
	13	8.05	0.23	14.90	1.12	9.66	0.47	5.91	0.07	5.20	0.00	
	14	8.28	0.23	16.08	1.18	10.15	0.49	5.99	0.08	5.20	0.00	
	15	8.51	0.23	17.33	1.25	10.67	0.52	6.05	0.06	5.20	0.00	
	16	8.74	0.23	18.63	1.30	11.22	0.55	6.12	0.07	5.20	0.00	
採 用								○				
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t - t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a - bt))$						
	a =	-461.11	124,369.54	0.00	0.26	1,293.00						
	b =	0.23	-123.61	1.05	0.68	0.64						
	c =		0.03									
	$Y_0 =$				4.12							
	$t_0 =$				2,014							
	K =					5.20						
r =		0.717892	0.732887	0.727557	0.655172	0.639957						

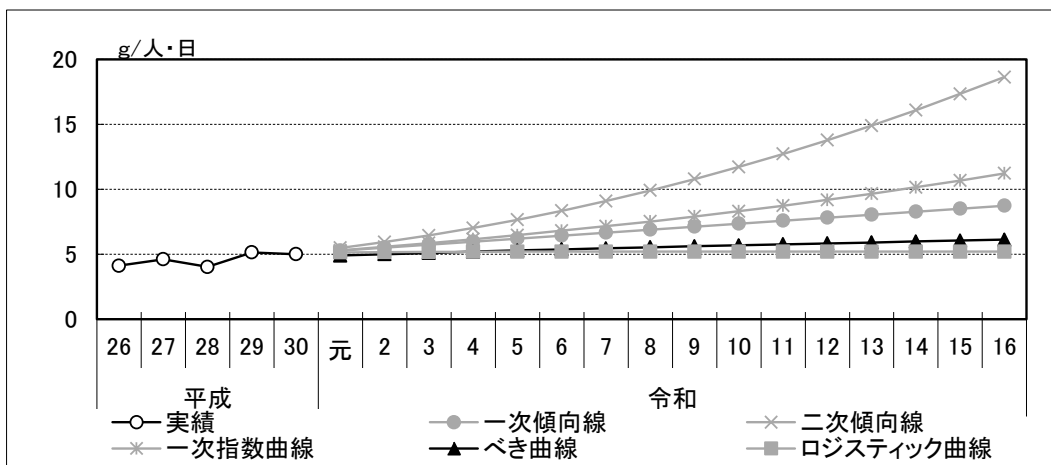
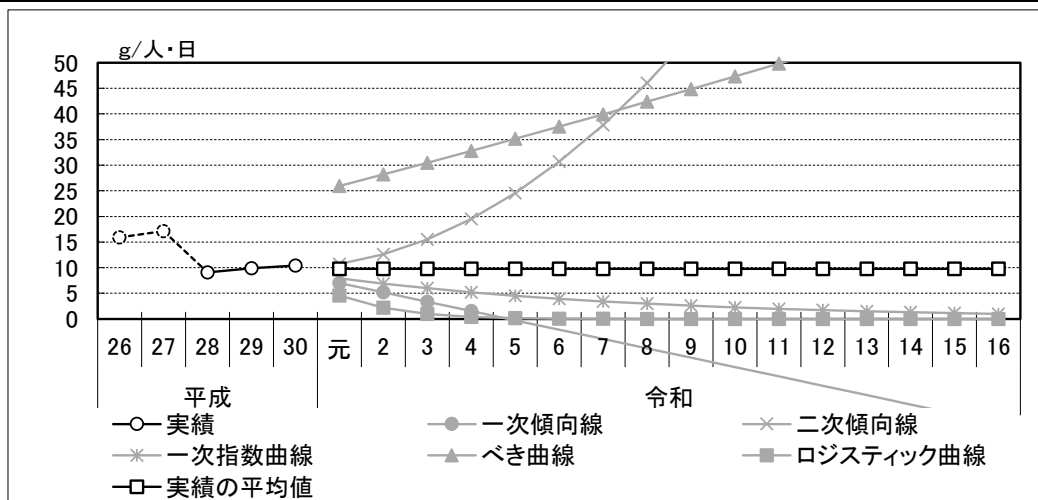


表 7-7 不燃ごみ（直接最終処分）

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の※ 平均値
		増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成	26	15.89	—	15.89	—	15.89	—	15.89	—	15.89	—	15.89
	27	17.11	1.22	17.11	1.22	17.11	1.22	17.11	1.22	17.11	1.22	17.11
	28	9.10	-8.01	9.10	-8.01	9.10	-8.01	9.10	-8.01	9.10	-8.01	9.10
	29	9.87	0.77	9.87	0.77	9.87	0.77	9.87	0.77	9.87	0.77	9.87
	30	10.40	0.53	10.40	0.53	10.40	0.53	10.40	0.53	10.40	0.53	10.40
令和	元	7.01	-3.39	10.71	0.31	7.92	-2.48	25.93	15.53	4.59	-5.81	9.79
	2	5.19	-1.82	12.59	1.88	6.89	-1.03	28.17	2.24	2.20	-2.39	9.79
	3	3.36	-1.83	15.52	2.93	5.99	-0.90	30.46	2.29	0.96	-1.24	9.79
	4	1.54	-1.82	19.51	3.99	5.21	-0.78	32.78	2.32	0.40	-0.56	9.79
	5	-0.28	-1.82	24.56	5.05	4.53	-0.68	35.14	2.36	0.16	-0.24	9.79
	6	-2.10	-1.82	30.67	6.11	3.94	-0.59	37.52	2.38	0.07	-0.09	9.79
	7	-3.92	-1.82	37.83	7.16	3.42	-0.52	39.93	2.41	0.03	-0.04	9.79
	8	-5.75	-1.83	46.05	8.22	2.98	-0.44	42.37	2.44	0.01	-0.02	9.79
	9	-7.57	-1.82	55.33	9.28	2.59	-0.39	44.82	2.45	0.00	-0.01	9.79
	10	-9.39	-1.82	65.67	10.34	2.25	-0.34	47.30	2.48	0.00	0.00	9.79
	11	-11.21	-1.82	77.06	11.39	1.96	-0.29	49.80	2.50	0.00	0.00	9.79
	12	-13.03	-1.82	89.51	12.45	1.70	-0.26	52.31	2.51	0.00	0.00	9.79
	13	-14.86	-1.83	103.02	13.51	1.48	-0.22	54.84	2.53	0.00	0.00	9.79
	14	-16.68	-1.82	117.58	14.56	1.29	-0.19	57.39	2.55	0.00	0.00	9.79
	15	-18.50	-1.82	133.20	15.62	1.12	-0.17	59.95	2.56	0.00	0.00	9.79
	16	-20.32	-1.82	149.88	16.68	0.97	-0.15	62.53	2.58	0.00	0.00	9.79
採 用												○
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t - t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a - bt))$						
	a =	3685.63	2,151,934.19	2.9863E+123	1.69	-1,834.59						
	b =	-1.82	-2,133.02	0.87	1.11	-0.91						
	c =		0.53									
	$Y_0 =$				15.89							
	$t_0 =$				2,014							
	K =					17.20						
r =	0.773109	0.816694	0.787862	-0.276421	0.626727							



※平成 26 年度と平成 27 年度の実際の平均値は異常値とし、平成 28 年度～平成 30 年度の平均値で算出した

表 7-8 粗大ごみ

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
平成	26	37.21	—	37.21	—	37.21	—	37.21	—	37.21	—	37.21
	27	39.74	2.53	39.74	2.53	39.74	2.53	39.74	2.53	39.74	2.53	39.74
	28	40.08	0.34	40.08	0.34	40.08	0.34	40.08	0.34	40.08	0.34	40.08
	29	42.99	2.91	42.99	2.91	42.99	2.91	42.99	2.91	42.99	2.91	42.99
	30	48.33	5.34	48.33	5.34	48.33	5.34	48.33	5.34	48.33	5.34	48.33
令和	元	49.32	0.99	53.41	5.08	49.71	1.38	47.95	-0.38	48.27	-0.06	41.67
	2	51.87	2.55	60.06	6.65	52.79	3.08	50.17	2.22	48.36	0.09	
	3	54.42	2.55	67.87	7.81	56.07	3.28	52.39	2.22	48.39	0.03	
	4	56.96	2.54	76.85	8.98	59.54	3.47	54.63	2.24	48.40	0.01	
	5	59.51	2.55	87.01	10.16	63.24	3.70	56.87	2.24	48.40	0.00	
	6	62.06	2.55	98.33	11.32	67.16	3.92	59.12	2.25	48.40	0.00	
	7	64.61	2.55	110.83	12.50	71.32	4.16	61.37	2.25	48.40	0.00	
	8	67.16	2.55	124.49	13.66	75.74	4.42	63.63	2.26	48.40	0.00	
	9	69.71	2.55	139.32	14.83	80.44	4.70	65.90	2.27	48.40	0.00	
	10	72.26	2.55	155.33	16.01	85.42	4.98	68.17	2.27	48.40	0.00	
	11	74.81	2.55	172.50	17.17	90.72	5.30	70.45	2.28	48.40	0.00	
	12	77.36	2.55	190.85	18.35	96.35	5.63	72.73	2.28	48.40	0.00	
	13	79.91	2.55	210.36	19.51	102.32	5.97	75.01	2.28	48.40	0.00	
	14	82.45	2.54	231.04	20.68	108.66	6.34	77.30	2.29	48.40	0.00	
	15	85.00	2.55	252.90	21.86	115.40	6.74	79.59	2.29	48.40	0.00	
	16	87.55	2.55	275.92	23.02	122.56	7.16	81.88	2.29	48.40	0.00	
採用										○		
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t - t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a - bt))$						
	a =	-5097.11	2,372,491.40	0.00	2.05	2,259.49						
	b =	2.55	-2,356.17	1.06	1.03	1.12						
	c =		0.58									
	$Y_0 =$				37.21							
	$t_0 =$				2,014							
	K =					48.40						
r =	0.948360	0.982834	0.957057	0.947928	0.781377							

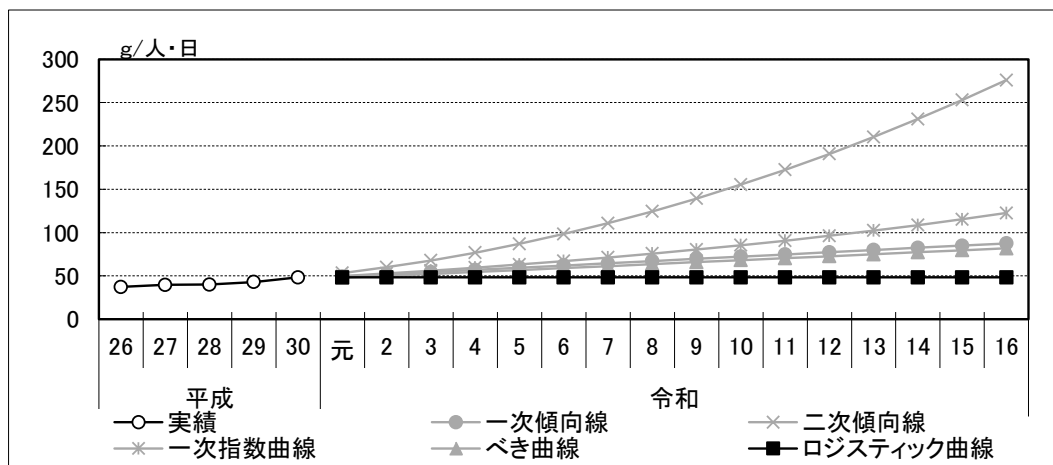


表 7-9 びん

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
	t	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
平成 26		14.77	—	14.77	—	14.77	—	14.77	—	14.77	14.77	
27	実 績	14.56	-0.21	14.56	-0.21	14.56	-0.21	14.56	-0.21	14.56	14.56	
28		14.36	-0.20	14.36	-0.20	14.36	-0.20	14.36	-0.20	14.36	14.36	
29		13.94	-0.42	13.94	-0.42	13.94	-0.42	13.94	-0.42	13.94	13.94	
30		13.77	-0.17	13.77	-0.17	13.77	-0.17	13.77	-0.17	13.77	13.77	
令和 元		13.49	-0.28	13.42	-0.35	13.51	-0.26	16.12	2.35	11.57	-2.20	14.28
2	13.23	-0.26	13.09	-0.33	13.26	-0.25	16.44	0.32	8.93	-2.64		
3	見 通 し	12.97	-0.26	12.74	-0.35	13.02	-0.24	16.77	0.33	5.82	-3.11	
4		12.71	-0.26	12.37	-0.37	12.79	-0.23	17.11	0.34	3.21	-2.61	
5		12.45	-0.26	11.98	-0.39	12.55	-0.24	17.46	0.35	1.56	-1.65	
6		12.18	-0.27	11.56	-0.42	12.32	-0.23	17.81	0.35	0.71	-0.85	
7		11.92	-0.26	11.13	-0.43	12.10	-0.22	18.17	0.36	0.31	-0.40	
8		11.66	-0.26	10.68	-0.45	11.88	-0.22	18.54	0.37	0.13	-0.18	
9		11.40	-0.26	10.21	-0.47	11.66	-0.22	18.91	0.37	0.06	-0.07	
10		11.14	-0.26	9.72	-0.49	11.45	-0.21	19.28	0.37	0.02	-0.04	
11		10.87	-0.27	9.20	-0.52	11.24	-0.21	19.67	0.39	0.01	-0.01	
12		10.61	-0.26	8.67	-0.53	11.04	-0.20	20.05	0.38	0.00	-0.01	
13		10.35	-0.26	8.12	-0.55	10.84	-0.20	20.44	0.39	0.00	0.00	
14		10.09	-0.26	7.55	-0.57	10.64	-0.20	20.83	0.39	0.00	0.00	
15		9.83	-0.26	6.96	-0.59	10.45	-0.19	21.23	0.40	0.00	0.00	
16		9.56	-0.27	6.34	-0.62	10.26	-0.19	21.63	0.40	0.00	0.00	
採 用		○										
予 測 式		$Y_t =$	$a+bt$	$a+bt+ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0+a(t-t_0)^b$	$K/(1+EXP(a-bt))$					
	a =	542.47	-40,100.09	1.74015E+17	0.20	-1,723.94						
	b =	-0.26	40.06	0.98	1.17	-0.85						
	c =		-0.01									
	$Y_0 =$				14.77							
	$t_0 =$				2,014							
	K =					14.80						
r =	0.989843	0.990852	0.989309	-0.351979	0.914515							

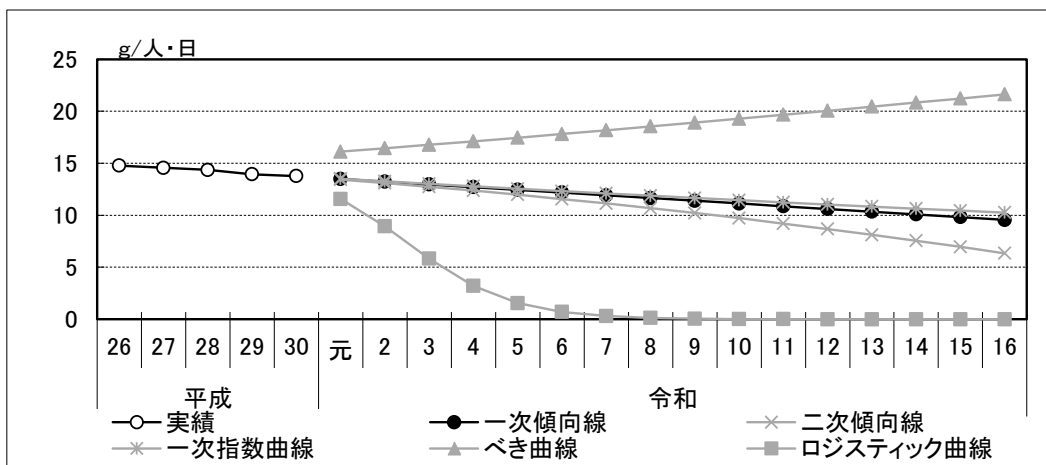


表 7-10 缶

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
平成	26	4.80	—	4.80	—	4.80	—	4.80	—	4.80	—	4.80
	27	4.94	0.14	4.94	0.14	4.94	0.14	4.94	0.14	4.94	0.14	4.94
	28	4.97	0.03	4.97	0.03	4.97	0.03	4.97	0.03	4.97	0.03	4.97
	29	4.53	-0.44	4.53	-0.44	4.53	-0.44	4.53	-0.44	4.53	-0.44	4.53
	30	5.19	0.66	5.19	0.66	5.19	0.66	5.19	0.66	5.19	0.66	5.19
令和	元	5.00	-0.19	5.28	0.09	4.98	-0.21	5.20	0.01	5.17	-0.02	4.89
	2	5.03	0.03	5.60	0.32	5.02	0.04	5.26	0.06	5.19	0.02	
	3	5.07	0.04	6.01	0.41	5.05	0.03	5.32	0.06	5.19	0.00	
	4	5.11	0.04	6.49	0.48	5.09	0.04	5.37	0.05	5.20	0.01	
	5	5.14	0.03	7.06	0.57	5.12	0.03	5.42	0.05	5.20	0.00	
	6	5.18	0.04	7.71	0.65	5.16	0.04	5.47	0.05	5.20	0.00	
	7	5.22	0.04	8.44	0.73	5.20	0.04	5.52	0.05	5.20	0.00	
	8	5.26	0.04	9.25	0.81	5.23	0.03	5.56	0.04	5.20	0.00	
	9	5.29	0.03	10.14	0.89	5.27	0.04	5.61	0.05	5.20	0.00	
	10	5.33	0.04	11.11	0.97	5.31	0.04	5.65	0.04	5.20	0.00	
	11	5.37	0.04	12.17	1.06	5.34	0.03	5.70	0.05	5.20	0.00	
	12	5.40	0.03	13.30	1.13	5.38	0.04	5.74	0.04	5.20	0.00	
	13	5.44	0.04	14.52	1.22	5.42	0.04	5.78	0.04	5.20	0.00	
	14	5.48	0.04	15.82	1.30	5.46	0.04	5.82	0.04	5.20	0.00	
	15	5.51	0.03	17.20	1.38	5.49	0.03	5.86	0.04	5.20	0.00	
	16	5.55	0.04	18.66	1.46	5.53	0.04	5.90	0.04	5.20	0.00	
採 用		○										
予 測 式	$Y_t =$	$a+bt$	$a+bt+ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0+a(t-t_0)^b$	$K/(1+EXP(a-bt))$						
	a =	-69.71	165,403.50	0.00	0.13	1,307.22						
	b =	0.04	-164.12	1.01	0.73	0.65						
	c =		0.04									
	$Y_0 =$				4.80							
	$t_0 =$				2,014							
K =					5.20							
r =		0.268935	0.398835	0.211584	0.163608	0.173011						

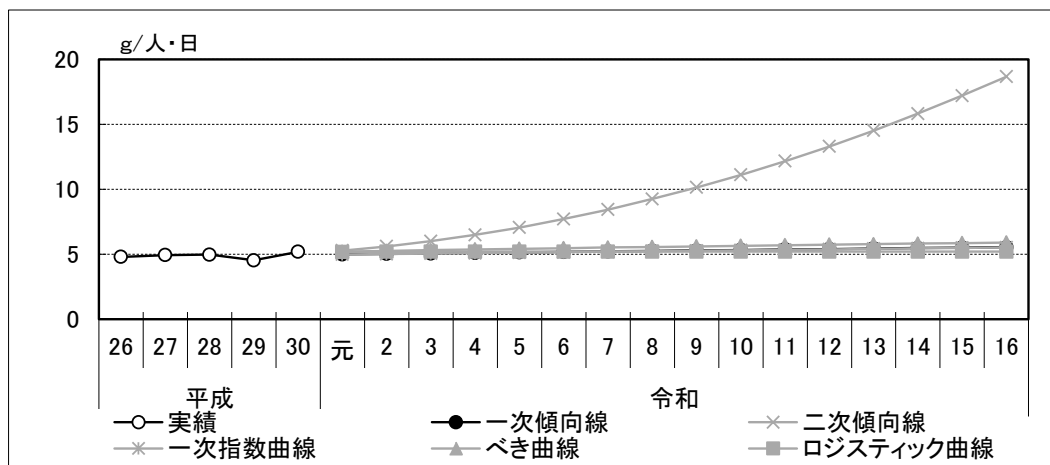


表 7-11 ペットボトル

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	26	5.41	—	5.41	—	5.41	—	5.41	—	5.41	—	5.41
	27	5.63	0.22	5.63	0.22	5.63	0.22	5.63	0.22	5.63	0.22	5.63
	28	5.60	-0.03	5.60	-0.03	5.60	-0.03	5.60	-0.03	5.60	-0.03	5.60
	29	5.76	0.16	5.76	0.16	5.76	0.16	5.76	0.16	5.76	0.16	5.76
	30	5.94	0.18	5.94	0.18	5.94	0.18	5.94	0.18	5.94	0.18	5.94
令和	元	6.02	0.08	6.08	0.14	6.03	0.09	5.90	-0.04	5.96	0.02	5.67
	2	6.14	0.12	6.25	0.17	6.16	0.13	5.96	0.06	6.00	0.04	
	3	6.26	0.12	6.44	0.19	6.29	0.13	6.02	0.06	6.03	0.03	
	4	6.38	0.12	6.65	0.21	6.43	0.14	6.07	0.05	6.06	0.03	
	5	6.50	0.12	6.87	0.22	6.56	0.13	6.12	0.05	6.07	0.01	
	6	6.62	0.12	7.11	0.24	6.70	0.14	6.17	0.05	6.08	0.01	
	7	6.74	0.12	7.36	0.25	6.84	0.14	6.22	0.05	6.09	0.01	
	8	6.86	0.12	7.63	0.27	6.99	0.15	6.26	0.04	6.10	0.01	
	9	6.98	0.12	7.91	0.28	7.14	0.15	6.31	0.05	6.10	0.00	
	10	7.10	0.12	8.21	0.30	7.29	0.15	6.35	0.04	6.11	0.01	
	11	7.21	0.11	8.53	0.32	7.44	0.15	6.39	0.04	6.11	0.00	
	12	7.33	0.12	8.86	0.33	7.60	0.16	6.43	0.04	6.11	0.00	
	13	7.45	0.12	9.21	0.35	7.76	0.16	6.47	0.04	6.11	0.00	
	14	7.57	0.12	9.57	0.36	7.92	0.16	6.51	0.04	6.11	0.00	
	15	7.69	0.12	9.95	0.38	8.09	0.17	6.54	0.03	6.11	0.00	
	16	7.81	0.12	10.34	0.39	8.26	0.17	6.58	0.04	6.11	0.00	
採 用		○										
予 測 式	$Y_t =$	$a+bt$	$a+bt+ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0+a(t-t_0)^b$	$K/(1+EXP(a-bt))$						
	a =	-234.24	31,699.20	0.00	0.18	662.57						
	b =	0.12	-31.56	1.02	0.62	0.33						
	c =		0.01									
	$Y_0 =$				5.41							
	$t_0 =$				2,014							
	K =					6.12						
r =	0.955584	0.957120	0.955584	0.936977	0.931369							

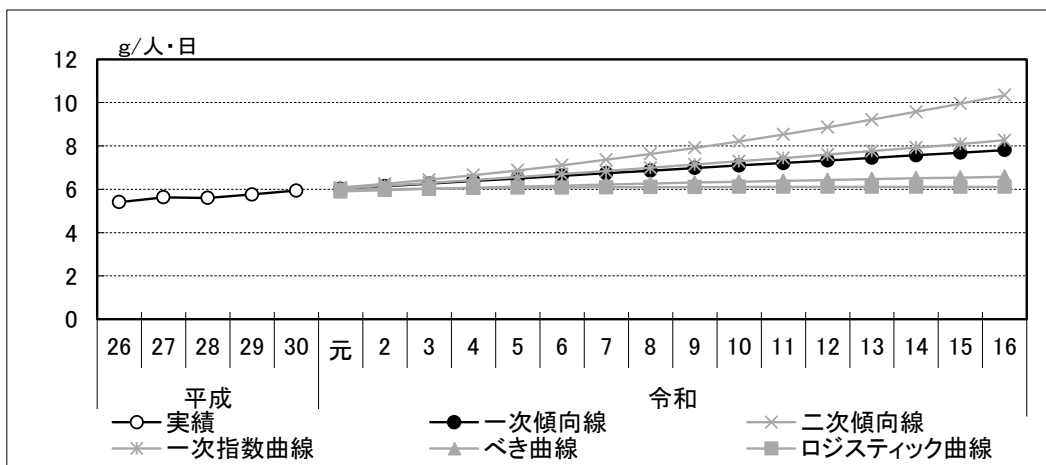


表 7-12 プラスチック製容器包装

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	26	6.97	—	6.97	—	6.97	—	6.97	—	6.97	—	6.97
	27	6.92	-0.05	6.92	-0.05	6.92	-0.05	6.92	-0.05	6.92	-0.05	6.92
	28	7.78	0.86	7.78	0.86	7.78	0.86	7.78	0.86	7.78	0.86	7.78
	29	7.44	-0.34	7.44	-0.34	7.44	-0.34	7.44	-0.34	7.44	-0.34	7.44
	30	7.29	-0.15	7.29	-0.15	7.29	-0.15	7.29	-0.15	7.29	-0.15	7.29
令和	元	7.63	0.34	6.93	-0.36	7.64	0.35	7.83	0.54	7.63	0.34	7.28
	2	7.74	0.11	6.34	-0.59	7.76	0.12	8.08	0.25	7.66	0.03	
	3	7.86	0.12	5.56	-0.78	7.89	0.13	8.34	0.26	7.68	0.02	
	4	7.98	0.12	4.58	-0.98	8.02	0.13	8.62	0.28	7.70	0.02	
	5	8.09	0.11	3.39	-1.19	8.15	0.13	8.91	0.29	7.72	0.02	
	6	8.21	0.12	2.01	-1.38	8.28	0.13	9.21	0.30	7.74	0.02	
	7	8.32	0.11	0.42	-1.59	8.42	0.14	9.53	0.32	7.75	0.01	
	8	8.44	0.12	-1.36	-1.78	8.55	0.13	9.86	0.33	7.76	0.01	
	9	8.56	0.12	-3.34	-1.98	8.69	0.14	10.19	0.33	7.76	0.00	
	10	8.67	0.11	-5.53	-2.19	8.84	0.15	10.54	0.35	7.77	0.01	
	11	8.79	0.12	-7.91	-2.38	8.98	0.14	10.90	0.36	7.78	0.01	
	12	8.90	0.11	-10.50	-2.59	9.13	0.15	11.26	0.36	7.78	0.00	
	13	9.02	0.12	-13.28	-2.78	9.28	0.15	11.64	0.38	7.78	0.00	
	14	9.14	0.12	-16.26	-2.98	9.43	0.15	12.02	0.38	7.79	0.01	
	15	9.25	0.11	-19.45	-3.19	9.58	0.15	12.41	0.39	7.79	0.00	
	16	9.37	0.12	-22.83	-3.38	9.74	0.16	12.81	0.40	7.79	0.00	
採 用		○										
予 測 式	Yt =	$a+bt$	$a+bt+ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0+a(t-t_0)^b$	$K/(1+EXP(a-bt))$						
	a =	-226.58	-406,651.97	0.00	0.09	406.10						
	b =	0.12	403.32	1.02	1.38	0.20						
	c =		-0.10									
	Y ₀ =				6.97							
	t ₀ =				2,014							
	K =					7.80						
r =		0.523509	0.743818	0.505365	0.445340	0.237124						

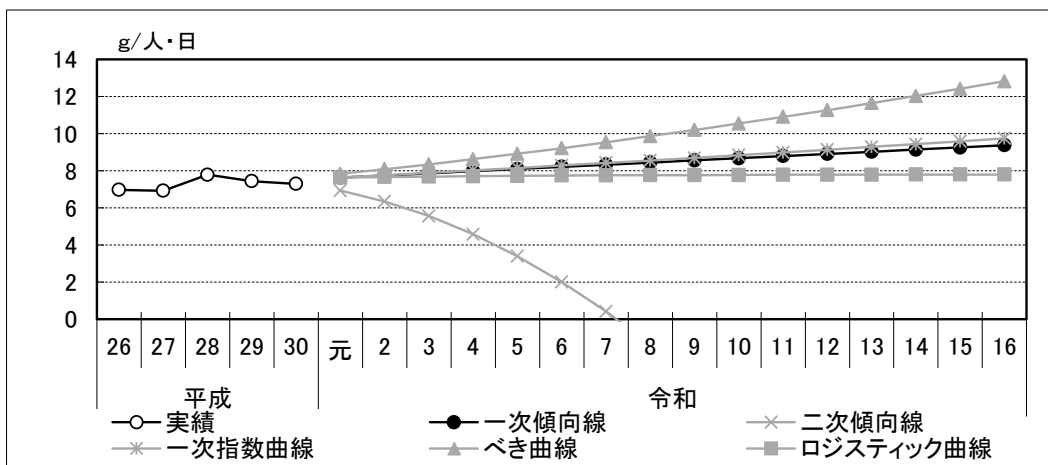


表 7-13 紙類

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
平成	26	69.60	—	69.60	—	69.60	—	69.60	—	69.60	—	69.60
	27	60.96	-8.64	60.96	-8.64	60.96	-8.64	60.96	-8.64	60.96	-8.64	60.96
	28	53.42	-7.54	53.42	-7.54	53.42	-7.54	53.42	-7.54	53.42	-7.54	53.42
	29	46.98	-6.44	46.98	-6.44	46.98	-6.44	46.98	-6.44	46.98	-6.44	46.98
	30	45.56	-1.42	45.56	-1.42	45.56	-1.42	45.56	-1.42	45.56	-1.42	45.56
令和	元	36.69	-8.87	44.46	-1.10	39.16	-6.40	100.69	55.13	21.93	-23.63	55.30
	2	30.48	-6.21	46.02	1.56	35.05	-4.11	105.38	4.69	11.50	-10.43	55.30
	3	24.27	-6.21	49.80	3.78	31.37	-3.68	109.89	4.51	5.46	-6.04	55.30
	4	18.07	-6.20	55.81	6.01	28.08	-3.29	114.25	4.36	2.46	-3.00	55.30
	5	11.86	-6.21	64.03	8.22	25.14	-2.94	118.49	4.24	1.08	-1.38	55.30
	6	5.66	-6.20	74.48	10.45	22.50	-2.64	122.62	4.13	0.47	-0.61	55.30
	7	-0.55	-6.21	87.14	12.66	20.14	-2.36	126.66	4.04	0.20	-0.27	55.30
	8	-6.76	-6.21	102.02	14.88	18.03	-2.11	130.61	3.95	0.09	-0.11	55.30
	9	-12.96	-6.20	119.13	17.11	16.14	-1.89	134.49	3.88	0.04	-0.05	55.30
	10	-19.17	-6.21	138.45	19.32	14.45	-1.69	138.29	3.80	0.02	-0.02	55.30
	11	-25.37	-6.20	160.00	21.55	12.93	-1.52	142.04	3.75	0.01	-0.01	55.30
	12	-31.58	-6.21	183.76	23.76	11.57	-1.36	145.73	3.69	0.00	-0.01	55.30
	13	-37.79	-6.21	209.74	25.98	10.36	-1.21	149.37	3.64	0.00	0.00	55.30
	14	-43.99	-6.20	237.95	28.21	9.27	-1.09	152.96	3.59	0.00	0.00	55.30
	15	-50.20	-6.21	268.37	30.42	8.30	-0.97	156.50	3.54	0.00	0.00	55.30
	16	-56.40	-6.20	301.02	32.65	7.43	-0.87	160.00	3.50	0.00	0.00	55.30
採 用												○
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t - t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a - bt))$						
	a =	12566.60	4,523,888.52	5.54195E+98	9.01	-1,701.21						
	b =	-6.21	-4,481.73	0.90	0.77	-0.84						
	c =		1.11									
	$Y_0 =$				69.60							
	$t_0 =$				2,014							
	K =					69.60						
r =	0.976218	0.997811	0.987465	-0.302046	0.881735							

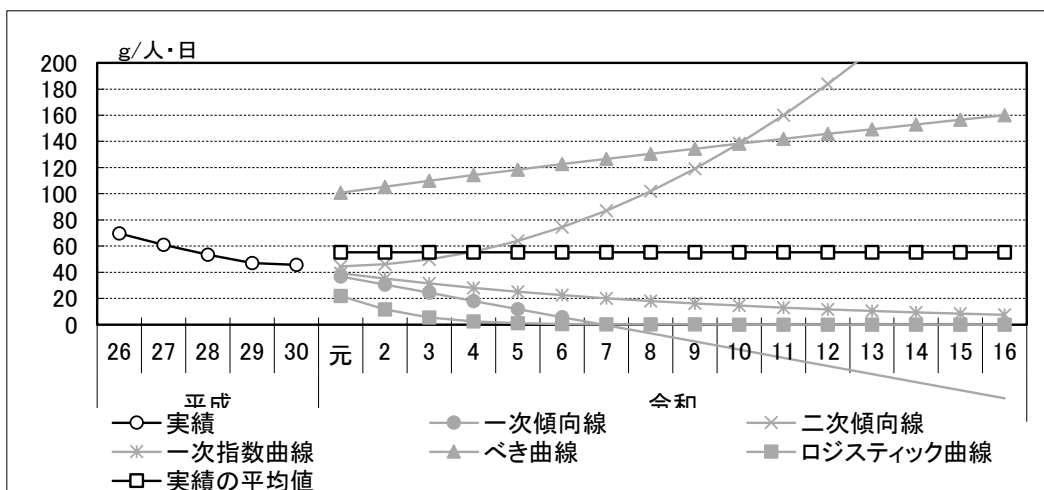


表 7-14 布類

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
平成	26	6.03	—	6.03	—	6.03	—	6.03	—	6.03	—	6.03
	27	5.49	-0.54	5.49	-0.54	5.49	-0.54	5.49	-0.54	5.49	-0.54	5.49
	28	4.66	-0.83	4.66	-0.83	4.66	-0.83	4.66	-0.83	4.66	-0.83	4.66
	29	4.55	-0.11	4.55	-0.11	4.55	-0.11	4.55	-0.11	4.55	-0.11	4.55
	30	4.20	-0.35	4.20	-0.35	4.20	-0.35	4.20	-0.35	4.20	-0.35	4.20
令和	元	3.61	-0.59	4.16	-0.04	3.76	-0.44	8.43	4.23	2.17	-2.03	4.99
	2	3.15	-0.46	4.25	0.09	3.43	-0.33	8.84	0.41	1.17	-1.00	4.99
	3	2.69	-0.46	4.49	0.24	3.13	-0.30	9.24	0.40	0.56	-0.61	4.99
	4	2.23	-0.46	4.90	0.41	2.86	-0.27	9.63	0.39	0.26	-0.30	4.99
	5	1.77	-0.46	5.46	0.56	2.61	-0.25	10.02	0.39	0.11	-0.15	4.99
	6	1.31	-0.46	6.18	0.72	2.38	-0.23	10.39	0.37	0.05	-0.06	4.99
	7	0.85	-0.46	7.05	0.87	2.18	-0.20	10.77	0.38	0.02	-0.03	4.99
	8	0.39	-0.46	8.09	1.04	1.99	-0.19	11.14	0.37	0.01	-0.01	4.99
	9	-0.07	-0.46	9.28	1.19	1.81	-0.18	11.50	0.36	0.00	-0.01	4.99
	10	-0.53	-0.46	10.62	1.34	1.66	-0.15	11.86	0.36	0.00	0.00	4.99
	11	-0.99	-0.46	12.13	1.51	1.51	-0.15	12.22	0.36	0.00	0.00	4.99
	12	-1.45	-0.46	13.79	1.66	1.38	-0.13	12.57	0.35	0.00	0.00	4.99
	13	-1.91	-0.46	15.61	1.82	1.26	-0.12	12.93	0.36	0.00	0.00	4.99
	14	-2.37	-0.46	17.58	1.97	1.15	-0.11	13.27	0.34	0.00	0.00	4.99
	15	-2.83	-0.46	19.72	2.14	1.05	-0.10	13.62	0.35	0.00	0.00	4.99
	16	-3.29	-0.46	22.01	2.29	0.96	-0.09	13.96	0.34	0.00	0.00	4.99
採 用												○
予 測 式	$Y_t =$	$a+bt$	$a+bt+ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0+a(t-t_0)^b$	$K/(1+EXP(a-bt))$						
	a =	932.35	320,266.59	2.92699E+80	0.60	-1,704.63						
	b =	-0.46	-317.26	0.91	0.86	-0.84						
	c =		0.08									
	$Y_0 =$				6.03							
	$t_0 =$				2,014							
	K =					6.10						
r =		0.968020	0.987819	0.977225	-0.309513	0.867465						

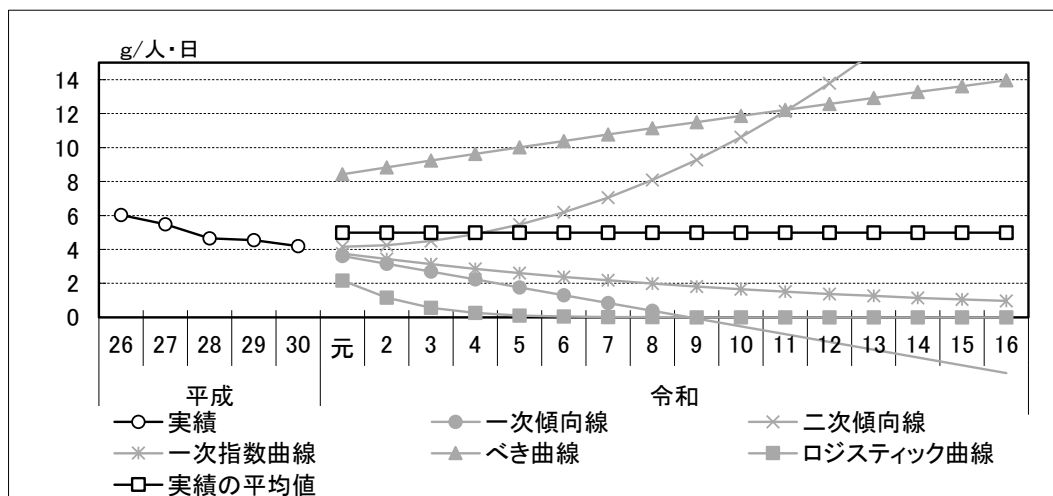


表 7-15 金属類

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	26	5.34	—	5.34	—	5.34	—	5.34	—	5.34	—	5.34
	27	5.72	0.38	5.72	0.38	5.72	0.38	5.72	0.38	5.72	0.38	5.72
	28	5.77	0.05	5.77	0.05	5.77	0.05	5.77	0.05	5.77	0.05	5.77
	29	5.68	-0.09	5.68	-0.09	5.68	-0.09	5.68	-0.09	5.68	-0.09	5.68
	30	6.13	0.45	6.13	0.45	6.13	0.45	6.13	0.45	6.13	0.45	6.13
令和	元	6.19	0.06	6.19	0.06	6.20	0.07	5.95	-0.18	6.12	-0.01	5.73
	2	6.34	0.15	6.34	0.15	6.37	0.17	5.99	0.04	6.15	0.03	
	3	6.50	0.16	6.50	0.16	6.55	0.18	6.03	0.04	6.17	0.02	
	4	6.65	0.15	6.65	0.15	6.72	0.17	6.06	0.03	6.18	0.01	
	5	6.81	0.16	6.81	0.16	6.91	0.19	6.09	0.03	6.19	0.01	
	6	6.96	0.15	6.96	0.15	7.10	0.19	6.12	0.03	6.19	0.00	
	7	7.11	0.15	7.11	0.15	7.29	0.19	6.15	0.03	6.20	0.01	
	8	7.27	0.16	7.27	0.16	7.49	0.20	6.18	0.03	6.20	0.00	
	9	7.42	0.15	7.42	0.15	7.69	0.20	6.20	0.02	6.20	0.00	
	10	7.58	0.16	7.58	0.16	7.90	0.21	6.22	0.02	6.20	0.00	
	11	7.73	0.15	7.73	0.15	8.12	0.22	6.25	0.03	6.20	0.00	
	12	7.88	0.15	7.88	0.15	8.34	0.22	6.27	0.02	6.20	0.00	
	13	8.04	0.16	8.04	0.16	8.57	0.23	6.29	0.02	6.20	0.00	
	14	8.19	0.15	8.19	0.15	8.80	0.23	6.31	0.02	6.20	0.00	
	15	8.35	0.16	8.35	0.16	9.04	0.24	6.33	0.02	6.20	0.00	
	16	8.50	0.15	8.50	0.15	9.29	0.25	6.34	0.01	6.20	0.00	
採用								○				
予 測 式	$Y_t =$	$a+bt$	$a+bt+ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0+a(t-t_0)^b$	$K/(1+EXP(a-bt))$						
	a =	-304.74	-304.75	0.00	0.34	1,046.73						
	b =	0.15	0.15	1.03	0.36	0.52						
	c =		-0.00									
	$Y_0 =$				5.34							
	$t_0 =$				2,014							
	K =					6.20						
r =	0.866896	0.866896	0.865264	0.868698	0.853625							

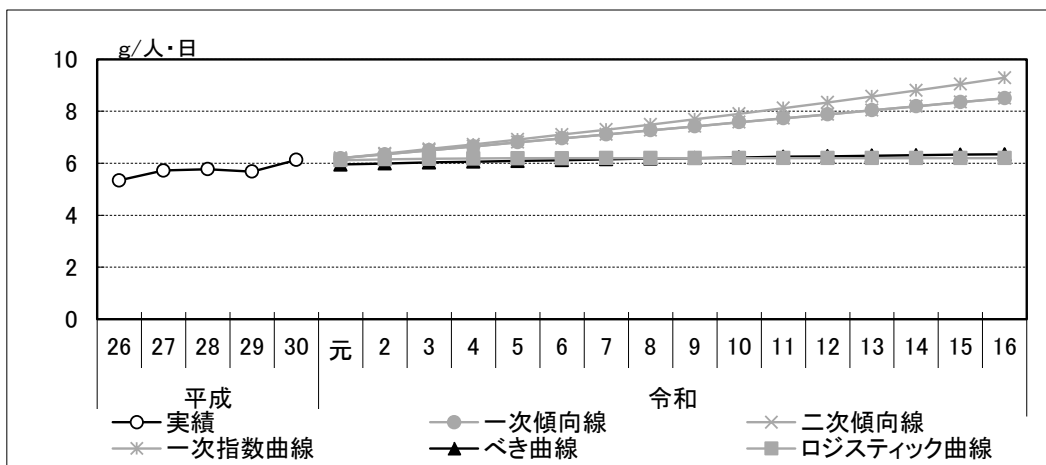


表 7-16 小型家電

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	26	0.83	—	0.83	—	0.83	—	0.83	—	0.83	—	0.83
	27	1.07	0.24	1.07	0.24	1.07	0.24	1.07	0.24	1.07	0.24	1.07
	28	1.04	-0.03	1.04	-0.03	1.04	-0.03	1.04	-0.03	1.04	-0.03	1.04
	29	1.10	0.06	1.10	0.06	1.10	0.06	1.10	0.06	1.10	0.06	1.10
	30	1.68	0.58	1.68	0.58	1.68	0.58	1.68	0.58	1.68	0.58	1.68
令和	元	1.66	-0.02	2.05	0.37	1.71	0.03	1.43	-0.25	1.68	0.00	1.14
	2	1.84	0.18	2.61	0.56	1.98	0.27	1.51	0.08	1.86	0.18	
	3	2.01	0.17	3.27	0.66	2.28	0.30	1.60	0.09	2.03	0.17	
	4	2.18	0.17	4.05	0.78	2.64	0.36	1.67	0.07	2.19	0.16	
	5	2.36	0.18	4.94	0.89	3.04	0.40	1.75	0.08	2.34	0.15	
	6	2.53	0.17	5.94	1.00	3.52	0.48	1.82	0.07	2.47	0.13	
	7	2.70	0.17	7.05	1.11	4.06	0.54	1.90	0.08	2.58	0.11	
	8	2.87	0.17	8.26	1.21	4.69	0.63	1.97	0.07	2.68	0.10	
	9	3.05	0.18	9.59	1.33	5.41	0.72	2.04	0.07	2.76	0.08	
	10	3.22	0.17	11.03	1.44	6.25	0.84	2.10	0.06	2.82	0.06	
	11	3.39	0.17	12.58	1.55	7.22	0.97	2.17	0.07	2.88	0.06	
	12	3.57	0.18	14.24	1.66	8.33	1.11	2.24	0.07	2.92	0.04	
	13	3.74	0.17	16.00	1.76	9.62	1.29	2.30	0.06	2.96	0.04	
	14	3.91	0.17	17.88	1.88	11.11	1.49	2.36	0.06	2.99	0.03	
	15	4.09	0.18	19.87	1.99	12.82	1.71	2.43	0.07	3.01	0.02	
	16	4.26	0.17	21.97	2.10	14.81	1.99	2.49	0.06	3.03	0.02	
採用										○		
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t-t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$						
	a =	-347.62	223,186.35	0.00	0.18	482.13						
	b =	0.17	-221.59	1.15	0.74	0.24						
	c =		0.06									
	$Y_0 =$				0.83							
	$t_0 =$				2,014							
	K =					3.10						
r =	0.859760	0.921456	0.885748	0.817883	0.870440							

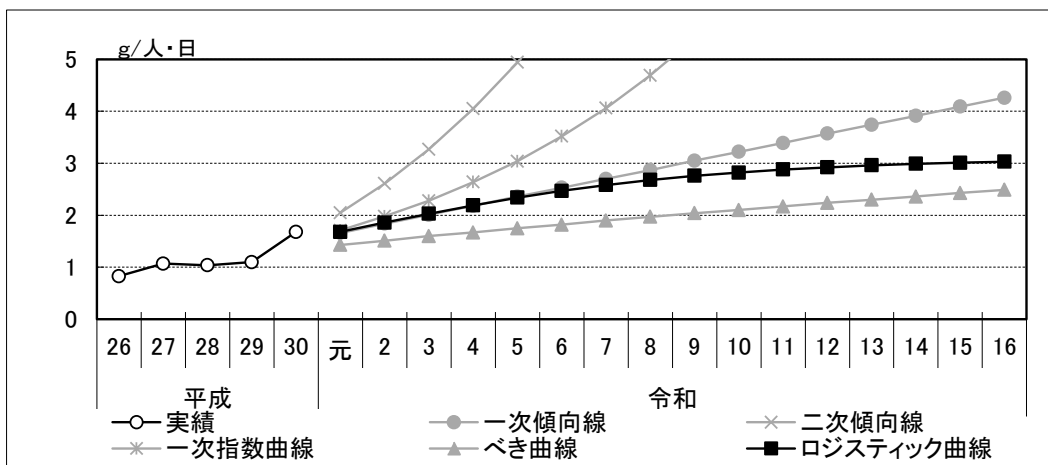


表 7-17 蛍光灯・電球

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	t	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
平成 26	0.467	—	0.467	—	0.467	—	0.467	—	0.467	—	0.467
27	0.517	0.050	0.517	0.050	0.517	0.050	0.517	0.050	0.517	0.050	0.517
28	0.502	-0.015	0.502	-0.015	0.502	-0.015	0.502	-0.015	0.502	-0.015	0.502
29	0.463	-0.039	0.463	-0.039	0.463	-0.039	0.463	-0.039	0.463	-0.039	0.463
30	0.450	-0.013	0.450	-0.013	0.450	-0.013	0.450	-0.013	0.450	-0.013	0.450
令和 元	0.453	0.003	0.378	-0.072	0.453	0.003	0.474	0.024	0.447	-0.003	0.480
2	0.445	-0.008	0.295	-0.083	0.445	-0.008	0.472	-0.002	0.421	-0.026	
3	0.436	-0.009	0.189	-0.106	0.437	-0.008	0.471	-0.001	0.388	-0.033	
4	0.427	-0.009	0.063	-0.126	0.429	-0.008	0.471	0.000	0.349	-0.039	
5	0.418	-0.009	-0.085	-0.148	0.421	-0.008	0.470	-0.001	0.304	-0.045	
6	0.409	-0.009	-0.255	-0.170	0.413	-0.008	0.470	0.000	0.257	-0.047	
7	0.401	-0.008	-0.446	-0.191	0.406	-0.007	0.469	-0.001	0.209	-0.048	
8	0.392	-0.009	-0.658	-0.212	0.398	-0.008	0.469	0.000	0.165	-0.044	
9	0.383	-0.009	-0.892	-0.234	0.391	-0.007	0.469	0.000	0.127	-0.038	
10	0.374	-0.009	-1.147	-0.255	0.384	-0.007	0.469	0.000	0.095	-0.032	
11	0.365	-0.009	-1.424	-0.277	0.377	-0.007	0.469	0.000	0.069	-0.026	
12	0.357	-0.008	-1.722	-0.298	0.370	-0.007	0.469	0.000	0.050	-0.019	
13	0.348	-0.009	-2.041	-0.319	0.363	-0.007	0.468	-0.001	0.036	-0.014	
14	0.339	-0.009	-2.382	-0.341	0.357	-0.006	0.468	0.000	0.025	-0.011	
15	0.330	-0.009	-2.745	-0.363	0.350	-0.007	0.468	0.000	0.018	-0.007	
16	0.321	-0.009	-3.129	-0.384	0.344	-0.006	0.468	0.000	0.012	-0.006	
採 用	○										
予 測 式	$Y_t =$	$a+bt$	$a+bt+ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0+a(t-t_0)^b$	$K/(1+EXP(a-bt))$					
	a =	18.22	-43,527.36	6.79684E+15	0.05	-745.88					
	b =	-0.01	43.19	0.98	-1.26	-0.37					
	c =		-0.01								
	$Y_0 =$				0.47						
	$t_0 =$				2,014						
	K =					0.52					
r =	0.510254	0.857849	0.482685	-0.225893	0.486020						

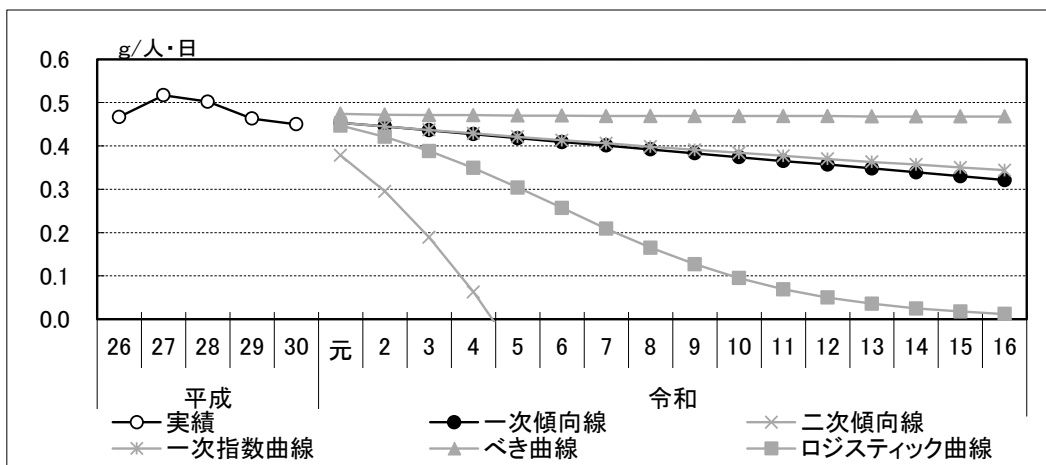


表 7-18 乾電池

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	26	0.372	—	0.372	—	0.372	—	0.372	—	0.372	—	0.372
	27	0.429	0.057	0.429	0.057	0.429	0.057	0.429	0.057	0.429	0.057	0.429
	28	0.393	-0.036	0.393	-0.036	0.393	-0.036	0.393	-0.036	0.393	-0.036	0.393
	29	0.520	0.127	0.520	0.127	0.520	0.127	0.520	0.127	0.520	0.127	0.520
	30	0.489	-0.031	0.489	-0.031	0.489	-0.031	0.489	-0.031	0.489	-0.031	0.489
令和	元	0.538	0.049	0.532	0.043	0.546	0.057	0.497	0.008	0.431	-0.058	0.441
	2	0.571	0.033	0.558	0.026	0.587	0.041	0.515	0.018	0.442	0.011	
	3	0.603	0.032	0.582	0.024	0.633	0.046	0.533	0.018	0.451	0.009	
	4	0.636	0.033	0.604	0.022	0.681	0.048	0.550	0.017	0.459	0.008	
	5	0.668	0.032	0.624	0.020	0.733	0.052	0.566	0.016	0.467	0.008	
	6	0.701	0.033	0.643	0.019	0.790	0.057	0.582	0.016	0.473	0.006	
	7	0.733	0.032	0.660	0.017	0.850	0.060	0.598	0.016	0.479	0.006	
	8	0.766	0.033	0.675	0.015	0.915	0.065	0.613	0.015	0.484	0.005	
	9	0.798	0.032	0.688	0.013	0.986	0.071	0.628	0.015	0.489	0.005	
	10	0.831	0.033	0.699	0.011	1.061	0.075	0.643	0.015	0.493	0.004	
	11	0.863	0.032	0.708	0.009	1.143	0.082	0.657	0.014	0.497	0.004	
	12	0.896	0.033	0.715	0.007	1.230	0.087	0.672	0.015	0.500	0.003	
	13	0.928	0.032	0.721	0.006	1.325	0.095	0.686	0.014	0.502	0.002	
	14	0.961	0.033	0.725	0.004	1.426	0.101	0.699	0.013	0.505	0.003	
	15	0.993	0.032	0.727	0.002	1.536	0.110	0.713	0.014	0.507	0.002	
	16	1.026	0.033	0.727	0.000	1.654	0.118	0.726	0.013	0.508	0.001	
採用				○								
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t - t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a - bt))$						
	a =	-65.08	-3,839.03	0.00	0.04	294.98						
	b =	0.03	3.78	1.08	0.75	0.15						
	c =		-0.00									
	$Y_0 =$				0.37							
	$t_0 =$				2,014							
K =					0.52							
r =		0.816200	0.820564	0.817815	0.780856	0.317209						

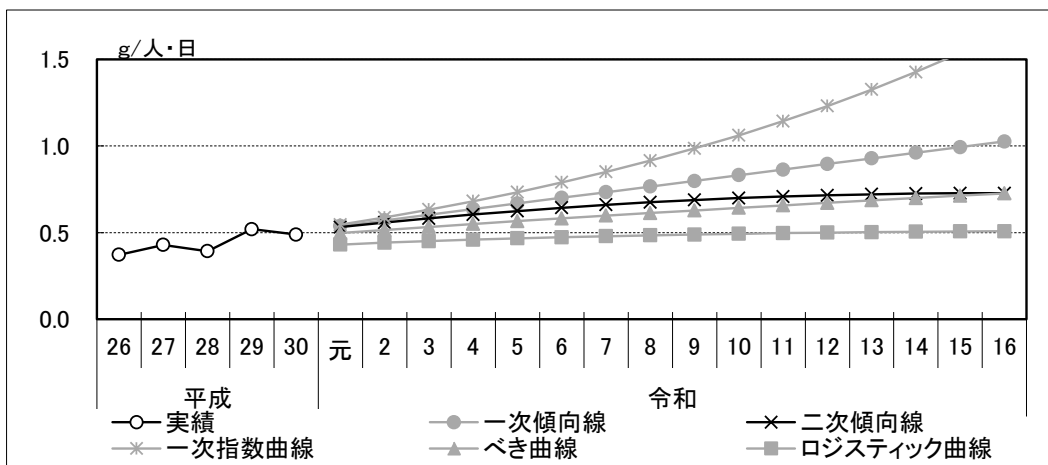
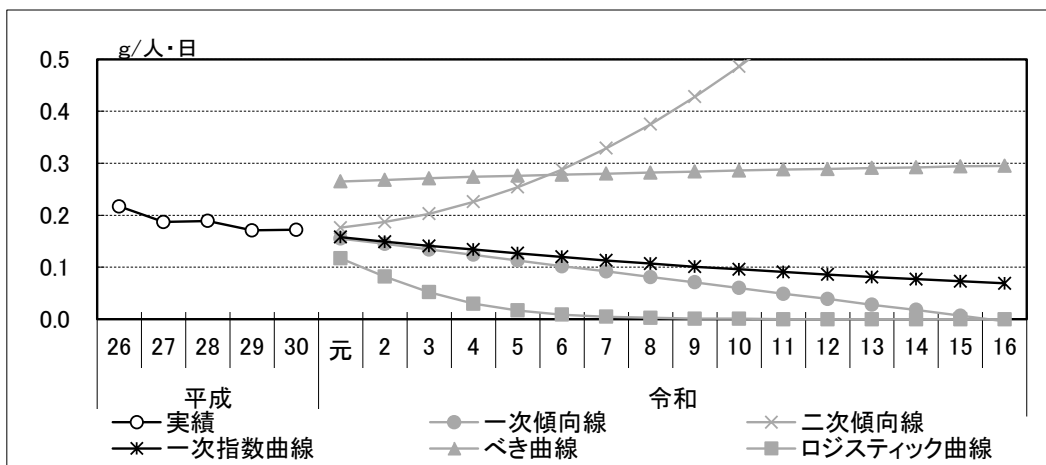


表 7-19 ライター

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
	t	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
平成 26		0.217	—	0.217	—	0.217	—	0.217	—	0.217	0.217	
27	実 績	0.187	-0.030	0.187	-0.030	0.187	-0.030	0.187	-0.030	0.187	0.187	
28		0.189	0.002	0.189	0.002	0.189	0.002	0.189	0.002	0.189	0.189	
29		0.171	-0.018	0.171	-0.018	0.171	-0.018	0.171	-0.018	0.171	0.171	
30		0.172	0.001	0.172	0.001	0.172	0.001	0.172	0.001	0.172	0.172	
令和 元			0.155	-0.017	0.176	0.004	0.158	-0.014	0.265	0.093	0.117	-0.055
2	見 通 し	0.145	-0.010	0.187	0.011	0.149	-0.009	0.268	0.003	0.082	-0.035	
3		0.134	-0.011	0.203	0.016	0.141	-0.008	0.271	0.003	0.052	-0.030	
4		0.124	-0.010	0.226	0.023	0.134	-0.007	0.274	0.003	0.030	-0.022	
5		0.113	-0.011	0.254	0.028	0.127	-0.007	0.276	0.002	0.017	-0.013	
6		0.102	-0.011	0.288	0.034	0.120	-0.007	0.278	0.002	0.009	-0.008	
7		0.092	-0.010	0.329	0.041	0.113	-0.007	0.280	0.002	0.005	-0.004	
8		0.081	-0.011	0.375	0.046	0.107	-0.006	0.282	0.002	0.003	-0.002	
9		0.071	-0.010	0.428	0.053	0.101	-0.006	0.284	0.002	0.001	-0.002	
10		0.060	-0.011	0.486	0.058	0.096	-0.005	0.286	0.002	0.001	0.000	
11		0.049	-0.011	0.550	0.064	0.091	-0.005	0.288	0.002	0.000	-0.001	
12		0.039	-0.010	0.621	0.071	0.086	-0.005	0.289	0.001	0.000	0.000	
13		0.028	-0.011	0.697	0.076	0.081	-0.005	0.291	0.002	0.000	0.000	
14		0.018	-0.010	0.780	0.083	0.077	-0.004	0.292	0.001	0.000	0.000	
15		0.007	-0.011	0.868	0.088	0.073	-0.004	0.294	0.002	0.000	0.000	
16		-0.004	-0.011	0.962	0.094	0.069	-0.004	0.295	0.001	0.000	0.000	
採 用						○						
予 測 式	$Y_t =$	$a+bt$	$a+bt+ct^2$		$a \cdot b^t$	$Y_0+a(t-t_0)^b$	$K/(1+EXP(a-bt))$					
	a =	21.56	12,214.32		6.27198E+47	0.03	-1,311.41					
	b =	-0.01	-12.11		0.95	0.35	-0.65					
	c =		0.00									
	$Y_0 =$					0.22						
	$t_0 =$					2,014						
	K =						0.22					
r =	0.894009	0.945837	0.909840		-0.249176	0.800655						



(4) 事業系ごみ排出量の個別予測

表 7-20 事業系・可燃ごみ

単位: t/日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
平成	26	63.473	—	63.473	—	63.473	—	63.473	—	63.473	—	63.473
	27	62.346	-1.128	62.346	-1.128	62.346	-1.128	62.346	-1.128	62.346	-1.128	62.346
	28	63.399	1.053	63.399	1.053	63.399	1.053	63.399	1.053	63.399	1.053	63.399
	29	64.056	0.657	64.056	0.657	64.056	0.657	64.056	0.657	64.056	0.657	64.056
	30	64.909	0.853	64.909	0.853	64.909	0.853	64.909	0.853	64.909	0.853	64.909
令和	元	65.011	0.102	66.794	1.885	65.017	0.108	64.079	-0.830	64.908	-0.001	63.637
	2	65.470	0.459	69.035	2.241	65.485	0.468	64.102	0.023	64.910	0.002	
	3	65.928	0.458	71.785	2.750	65.957	0.472	64.122	0.020	64.910	0.000	
	4	66.386	0.458	75.045	3.260	66.433	0.476	64.140	0.018	64.910	0.000	
	5	66.844	0.458	78.814	3.769	66.911	0.478	64.156	0.016	64.910	0.000	
	6	67.303	0.459	83.093	4.279	67.394	0.483	64.170	0.014	64.910	0.000	
	7	67.761	0.458	87.880	4.787	67.879	0.485	64.184	0.014	64.910	0.000	
	8	68.219	0.458	93.177	5.297	68.369	0.490	64.196	0.012	64.910	0.000	
	9	68.677	0.458	98.984	5.807	68.861	0.492	64.208	0.012	64.910	0.000	
	10	69.136	0.459	105.299	6.315	69.358	0.497	64.219	0.011	64.910	0.000	
	11	69.594	0.458	112.125	6.826	69.857	0.499	64.229	0.010	64.910	0.000	
	12	70.052	0.458	119.459	7.334	70.361	0.504	64.239	0.010	64.910	0.000	
	13	70.510	0.458	127.303	7.844	70.868	0.507	64.249	0.010	64.910	0.000	
	14	70.969	0.459	135.656	8.353	71.379	0.511	64.258	0.009	64.910	0.000	
	15	71.427	0.458	144.519	8.863	71.893	0.514	64.266	0.008	64.910	0.000	
	16	71.885	0.458	153.890	9.371	72.411	0.518	64.274	0.008	64.910	0.000	
採 用						○						
予 測 式	Yt =	a+bt		a+bt+ct ²		a・b ^t		Yo+a(t-to) ^b		K/(1+EXP(a-bt))		
	a =	-860.20		1,034,200.68		0.00		0.44		3,314.77		
	b =	0.46		-1,026.39		1.01		0.20		1.65		
	c =			0.25								
	Yo =							63.47				
	to =							2,014				
	K =									64.91		
r =	0.769623		0.920998		0.771796		0.202286		0.268938			

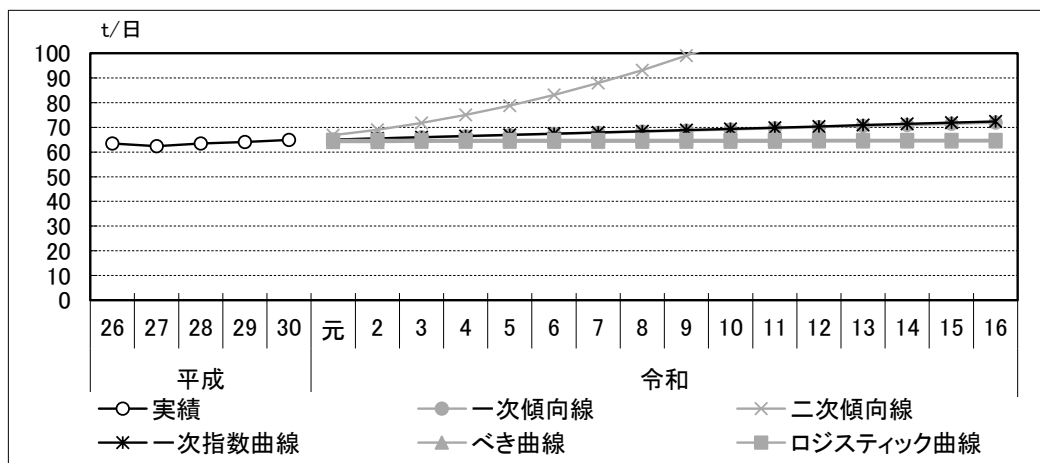
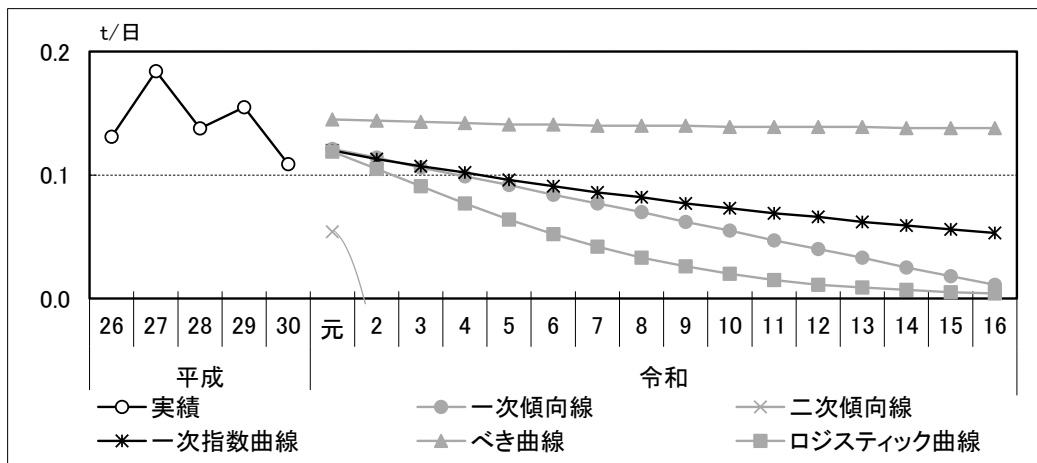


表 7-21 事業系・不燃ごみ

単位: t/日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
平成	26	0.131	—	0.131	—	0.131	—	0.131	—	0.131	—	0.131
	27	0.184	0.053	0.184	0.053	0.184	0.053	0.184	0.053	0.184	0.053	0.184
	28	0.138	-0.046	0.138	-0.046	0.138	-0.046	0.138	-0.046	0.138	-0.046	0.138
	29	0.155	0.017	0.155	0.017	0.155	0.017	0.155	0.017	0.155	0.017	0.155
	30	0.109	-0.046	0.109	-0.046	0.109	-0.046	0.109	-0.046	0.109	-0.046	0.109
令和	元	0.121	0.012	0.054	-0.055	0.120	0.011	0.145	0.036	0.119	0.010	0.143
	2	0.114	-0.007	-0.020	-0.074	0.113	-0.007	0.144	-0.001	0.105	-0.014	
	3	0.106	-0.008	-0.114	-0.094	0.107	-0.006	0.143	-0.001	0.091	-0.014	
	4	0.099	-0.007	-0.227	-0.113	0.102	-0.005	0.142	-0.001	0.077	-0.014	
	5	0.092	-0.007	-0.359	-0.132	0.096	-0.006	0.141	-0.001	0.064	-0.013	
	6	0.084	-0.008	-0.510	-0.151	0.091	-0.005	0.141	0.000	0.052	-0.012	
	7	0.077	-0.007	-0.680	-0.170	0.086	-0.005	0.140	-0.001	0.042	-0.010	
	8	0.070	-0.007	-0.870	-0.190	0.082	-0.004	0.140	0.000	0.033	-0.009	
	9	0.062	-0.008	-1.079	-0.209	0.077	-0.005	0.140	0.000	0.026	-0.007	
	10	0.055	-0.007	-1.306	-0.227	0.073	-0.004	0.139	-0.001	0.020	-0.006	
	11	0.047	-0.008	-1.553	-0.247	0.069	-0.004	0.139	0.000	0.015	-0.005	
	12	0.040	-0.007	-1.820	-0.267	0.066	-0.003	0.139	0.000	0.011	-0.004	
	13	0.033	-0.007	-2.105	-0.285	0.062	-0.004	0.139	0.000	0.009	-0.002	
	14	0.025	-0.008	-2.410	-0.305	0.059	-0.003	0.138	-0.001	0.007	-0.002	
	15	0.018	-0.007	-2.733	-0.323	0.056	-0.003	0.138	0.000	0.005	-0.002	
	16	0.011	-0.007	-3.076	-0.343	0.053	-0.003	0.138	0.000	0.004	-0.001	
採用						○						
予 測 式	$Y_t =$	$a+bt$	$a+bt+ct^2$		$a \cdot b^t$		$Y_0+a(t-t_0)^b$		$K/(1+EXP(a-bt))$			
	a =	15.00	-38,946.17		7.18098E+46		0.03		-596.93			
	b =	-0.01	38.64		0.95		-0.50		-0.30			
	c =		-0.01									
	$Y_0 =$						0.13					
	$t_0 =$						2,014					
	K =								0.19			
r =		0.419871	0.761418		0.393776		-0.216461		0.410289			



一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

令和元年10月発行

発行：西濃環境整備組合

〒501-0534

岐阜県揖斐郡大野町下座倉 1375-1

電話：0585-32-4153

FAX：0585-32-4154

URL：<http://www.seino-kankyo.jp/>



この計画書の本文は古紙パルプ配合率 100%・白色度 72%の
エコマーク事務局認定・環境保全型商品を使用しています。